

みなかみ町観光協会様

**『町内イベントにおけるアンケート調査
並びに経済波及効果推計結果』**

報 告 書

平成31年3月

目次

I. 調査の概要	2
II. 天空のナイトクルージング〔5月〕	4
III. アウトドアフェスティバル	29
IV. ホタル鑑賞の夕べ	51
V. 谷川岳山の日イベント	71
VI. 赤谷湖花火大会	92
VII. 天空のナイトクルージング〔10月〕	112
VIII. 藤原雪まつり	138
IX. II～VIIIのイベントの主な指標一覧	158

I . 調査の概要

I. 調査の概要

調査目的：みなかみ町で開催される各種イベントの来訪者の満足度などを把握するとともに、開催による経済効果を算定し、イベントの開催効果を検証することを目的とする

調査対象：みなかみ町で開催されたイベントの来訪者。対象イベントと、それぞれの回答者数は以下のとおり

- ①奈良俣・藤原ダム点検放流（193人）
- ②矢木沢ダム点検放流（181人）

調査方法：記入式（無記名式）

調査時期：2017年5月

調査内容：調査内容は以下の通りである

- ①みなかみ町への来訪経験
- ②本イベントの情報源
- ③本イベントへの同行者
- ④日帰り・宿泊の状況
- ⑤本イベント来訪に要した費用
- ⑥本イベントに対する評価と再来訪意向
- ⑦回答者の属性（性別、年代、現住所、職業）

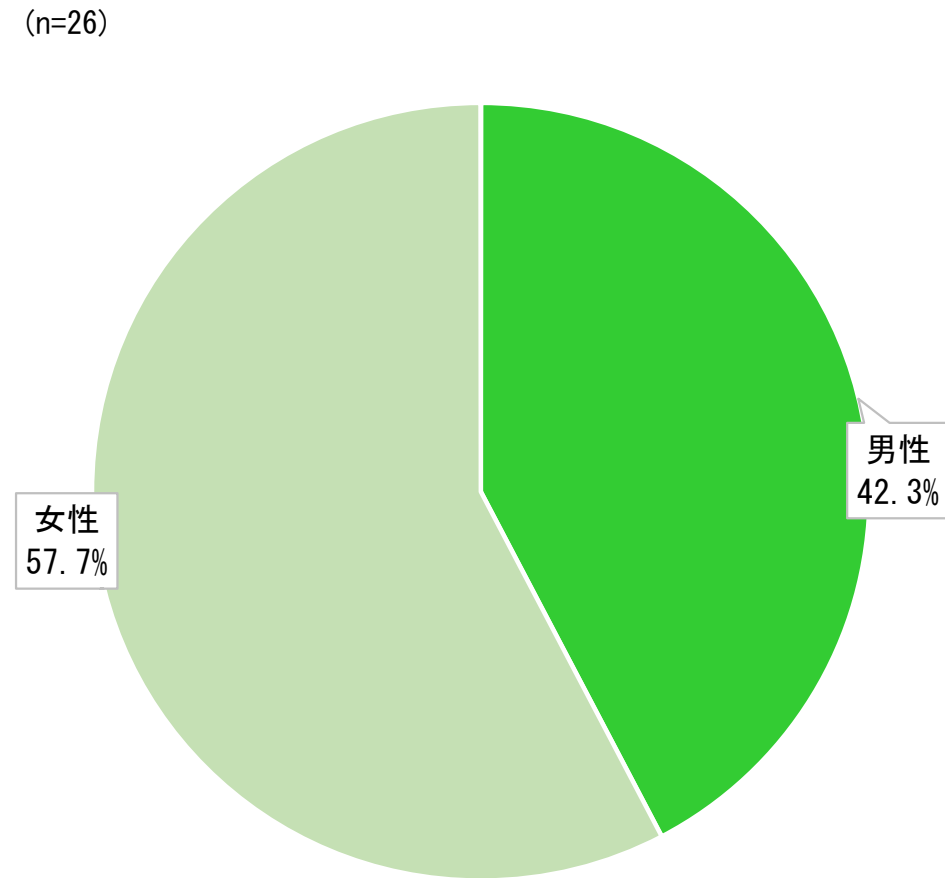
注 意 点：本報告書の図表の数字は四捨五入をしているため、回答割合の合計が100.0%とならない場合や、内訳と合計が合わない場合がある

Ⅱ. 天空のナイトクルージング〔5月〕

1. 回答者の属性

(1) 性別

回答者を性別で見ると、「男性」(42.3%)が4割台前半、「女性」(57.7%)が5割台後半となっている。



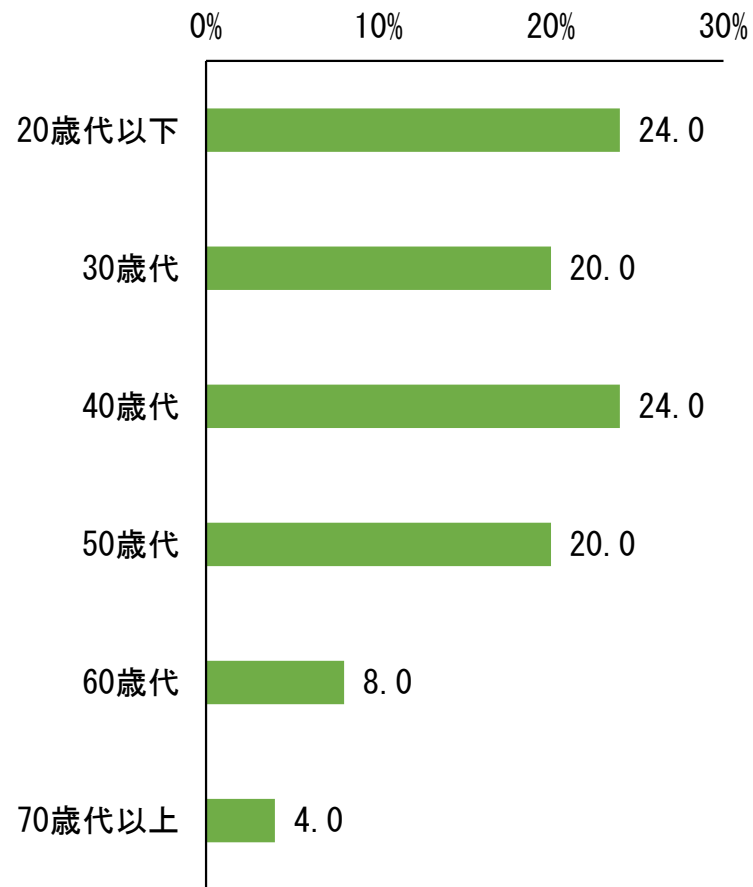
※無回答がある場合、無回答を除く

1. 回答者の属性

(2) 年代別

回答者を年代別で見ると、「20歳代以下」と「40歳代」（各24.0%）の割合が2割台半ば、「30歳代」と「50歳代」（20.0%）が2割、「60歳代」（8.0%）が約1割などとなっている。

(n=25)



※無回答がある場合、無回答を除く

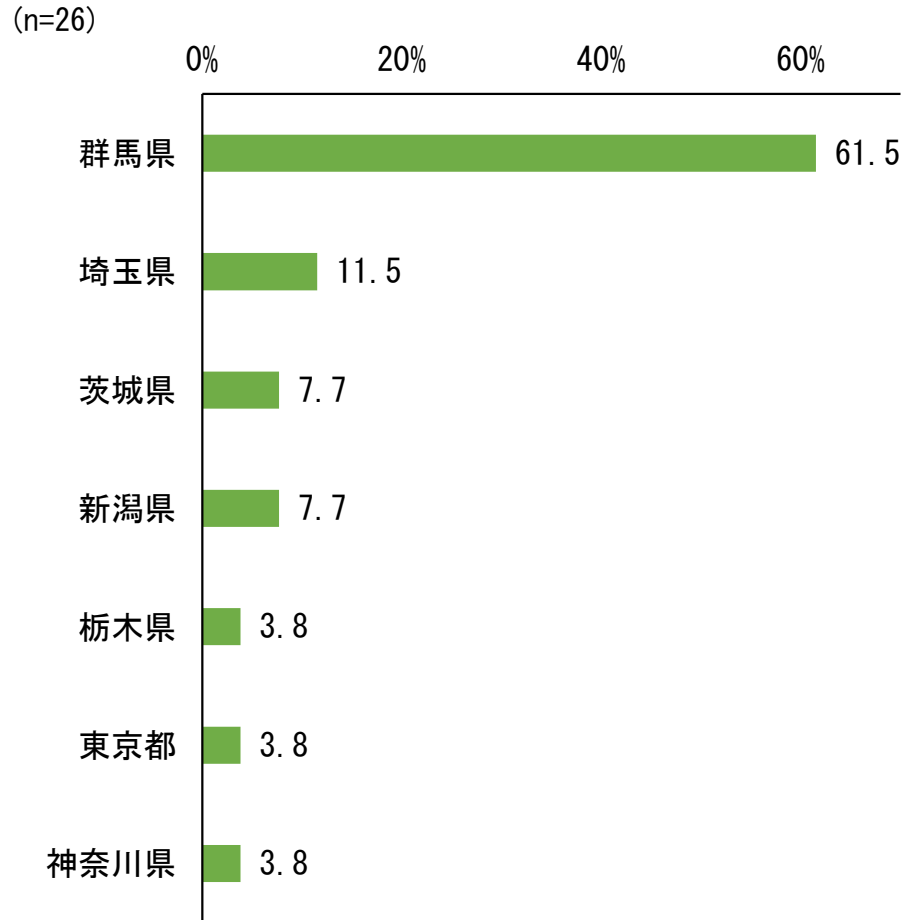
1. 回答者の属性

(3) 現住所

回答者を現住所別にみると、「群馬県」(61.5%)の割合が約6割と特に高く、以下「埼玉県」(11.5%)、「茨城県」と「新潟県」(各7.7%)、「栃木県」「東京都」「神奈川県」(各3.8%)となっている。

また、市町村別の状況は次頁のとおりとなっている。

都道府県	市町村	度数
茨城県	つくば市	2
栃木県	足利市	1
群馬県	みなかみ町	4
	前橋市	1
	高崎市	5
	渋川市	2
	太田市	2
	伊勢崎市	2
埼玉県	本庄市	1
	さいたま市	2
東京都	江戸川区	1
神奈川県	綾瀬市	1
新潟県	魚沼市	2

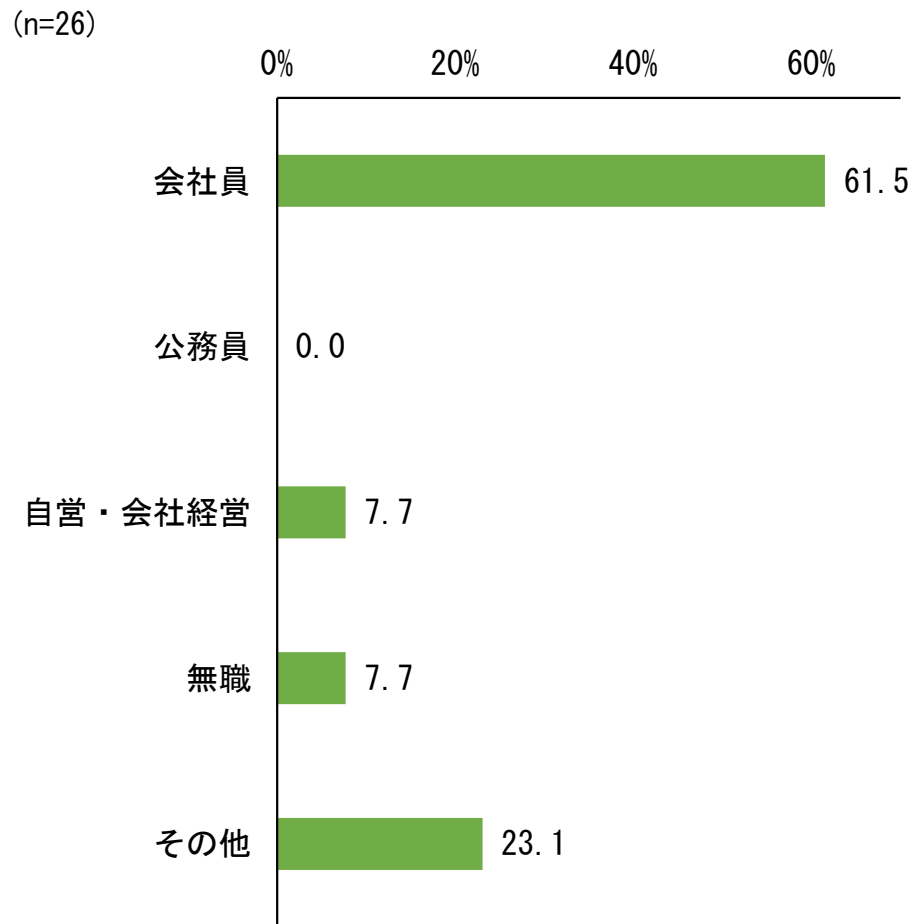


※無回答がある場合、無回答を除く

1. 回答者の属性

(4) 職業

回答者を職業別にみると、「会社員」(61.5%)の割合が約6割で特に高く、以下「その他」(23.1%)、「自営・会社経営」と「無職」(各7.7%)などとなっている。



※無回答がある場合、無回答を除く

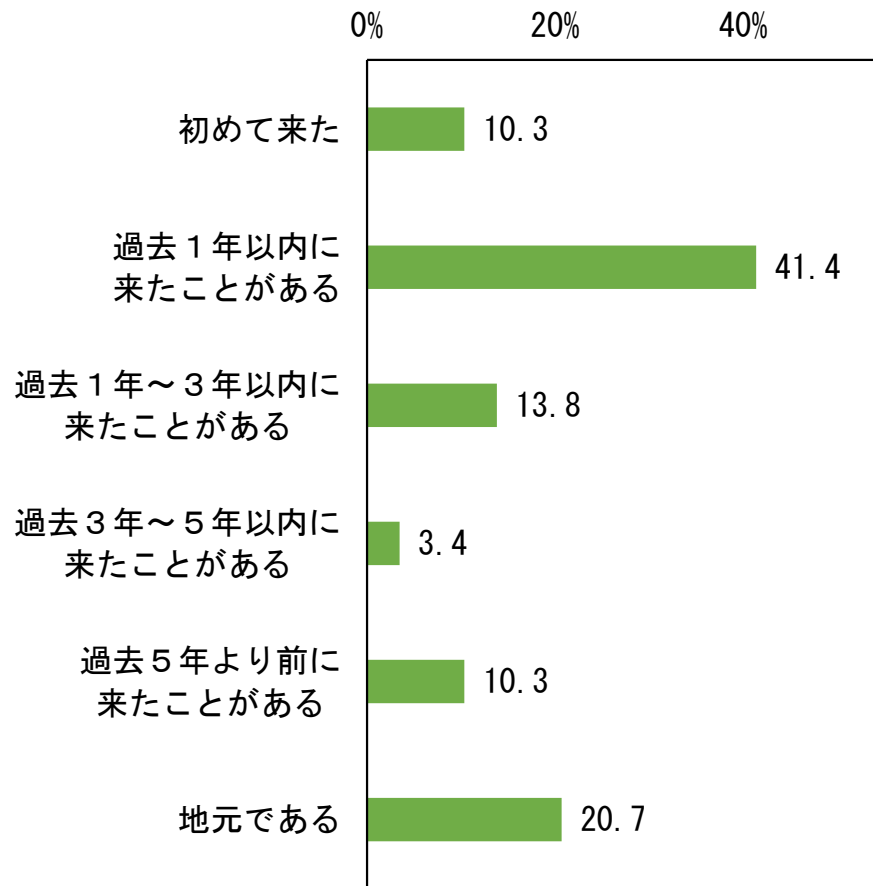
2. みなかみ町への来訪経験

これまでの“みなかみ町”への来訪経験を尋ねたところ、「初めて来た」（10.3%）とする割合が約1割となっている。

一方、「過去1年以内に来たことがある」（41.4%）の割合が約4割となっており、以下「過去1年～3年以内に来たことがある」（13.8%）、「過去5年より前に来たことがある」（10.3%）、「過去3年～5年以内に来たことがある」（3.4%）と続いている。

また、「地元である」（20.7%）が約2割となっている。

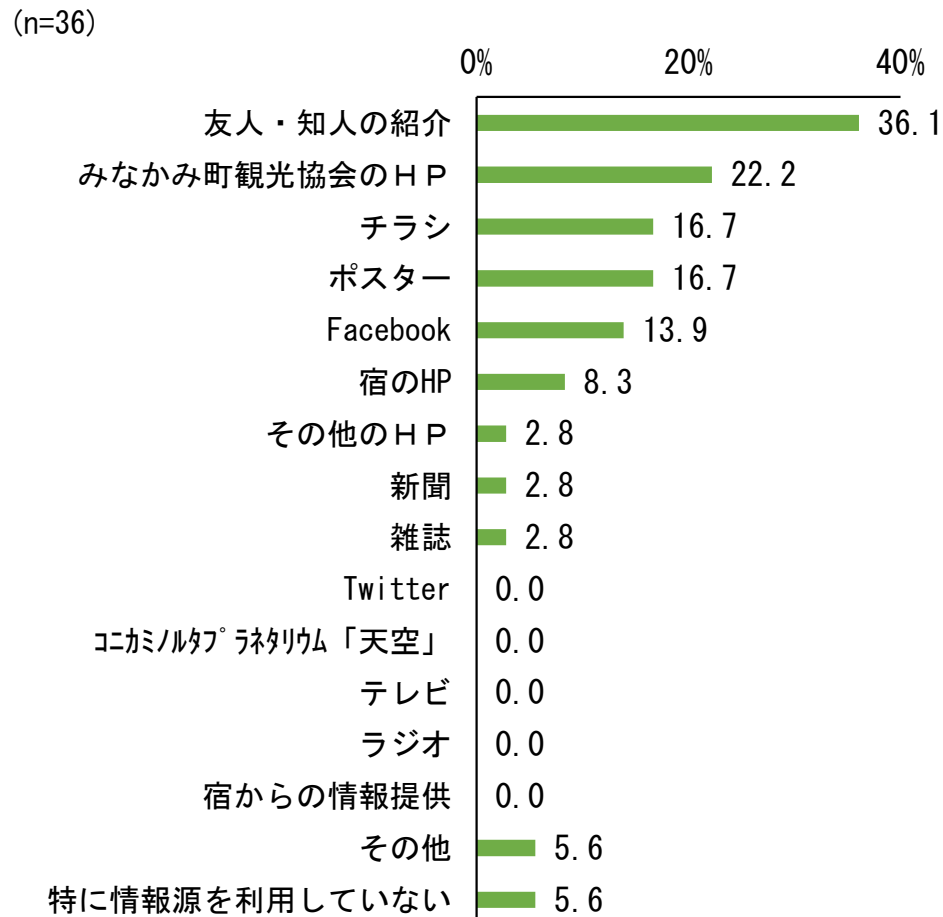
(n=29)



※無回答がある場合、無回答を除く

3. 本イベントの情報源

本イベントの開催を知るきっかけとなった情報源を尋ねたところ（複数回答）、「友人・知人の紹介」（36.1%）の割合が最も高く、以下「みなかみ町観光協会のHP」（22.2%）、「チラシ」と「ポスター」（各16.7%）、「Facebook」（13.9%）などとなっている。

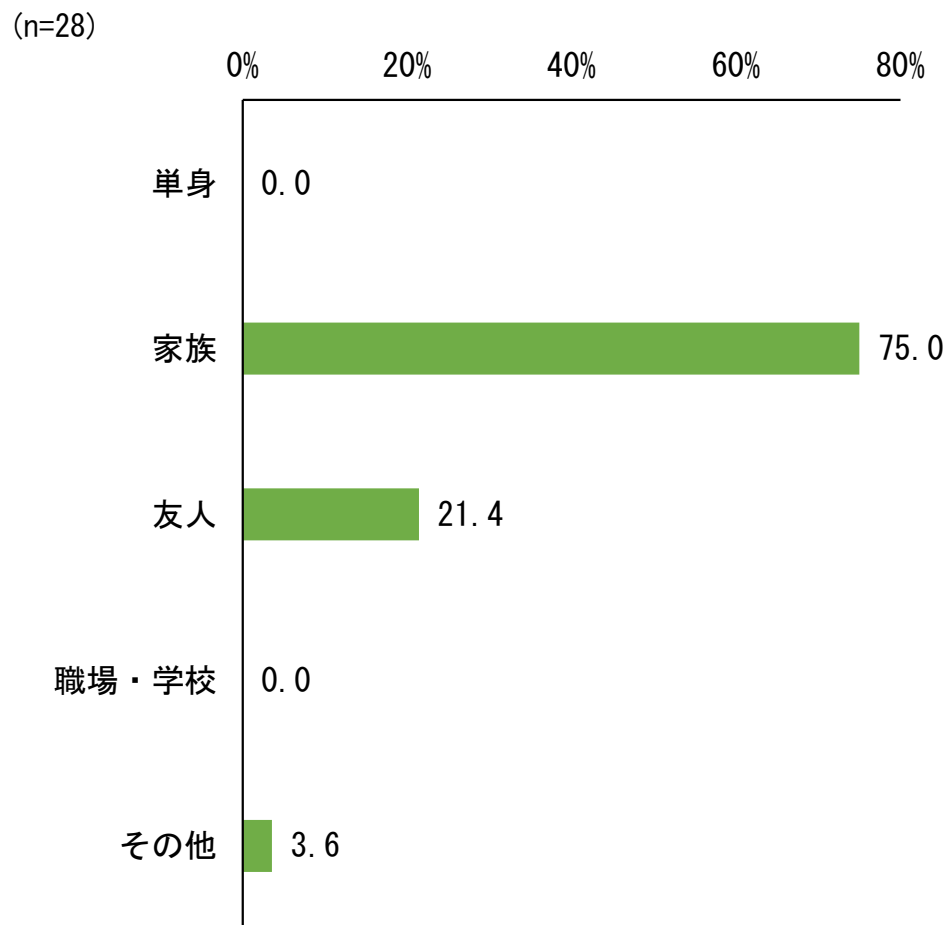


※無回答がある場合、無回答を除く

4. 本イベントへの同行者

(1) 同行者の属性

本イベントへの同行者の属性を尋ねたところ（複数回答）、「家族」（75.0%）の割合が7割代半ばで特に高く、以下「友人」（21.4%）、「その他」（3.6%）などとなっている。



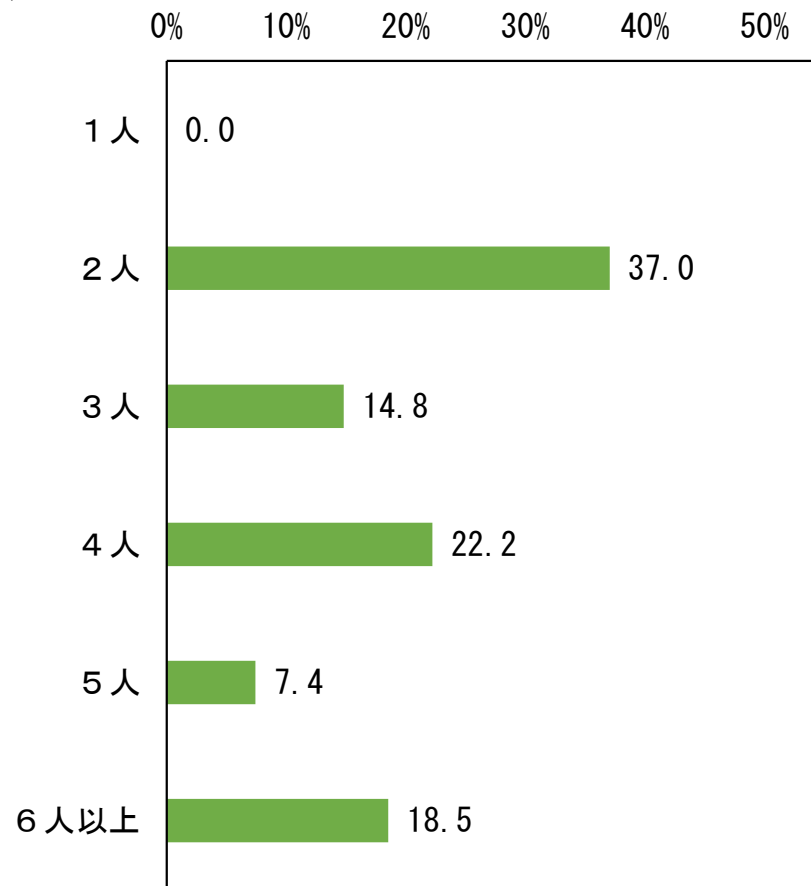
※無回答がある場合、無回答を除く

4. 本イベントへの同行者

(2) 同行者の人数

本イベントへの同行者の人数（回答者を含む）を尋ねたところ、「2人」（37.0%）の割合が3割台後半で最も高く、以下「4人」（22.2%）、「6人以上」（18.5%）、「3人」（14.8%）、「5人」（7.4%）、「1人」（0.0%）などとなっている。

(n=27)

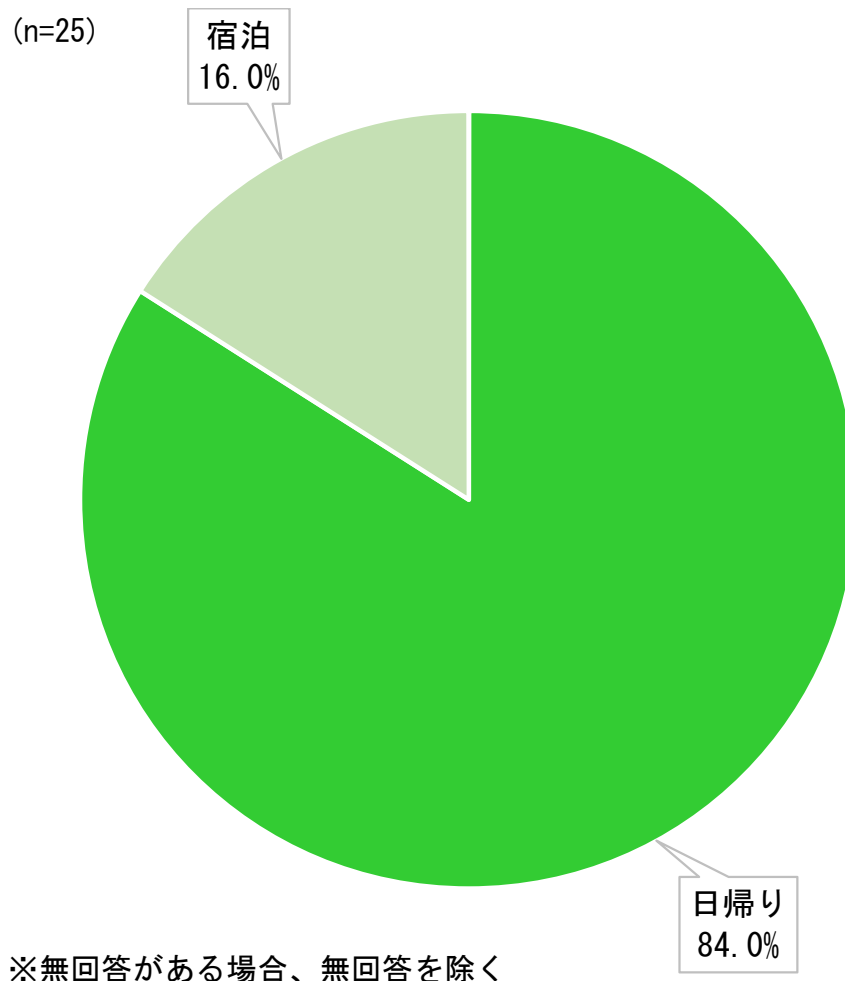


※無回答がある場合、無回答を除く

5. 日帰り・宿泊の状況

(1) 日帰り・宿泊の別

日帰り・宿泊の別を尋ねたところ、「日帰り」(84.0%)の割合が8割台半ば、「宿泊」(16.0%)の割合が1割台半ばとなっている。

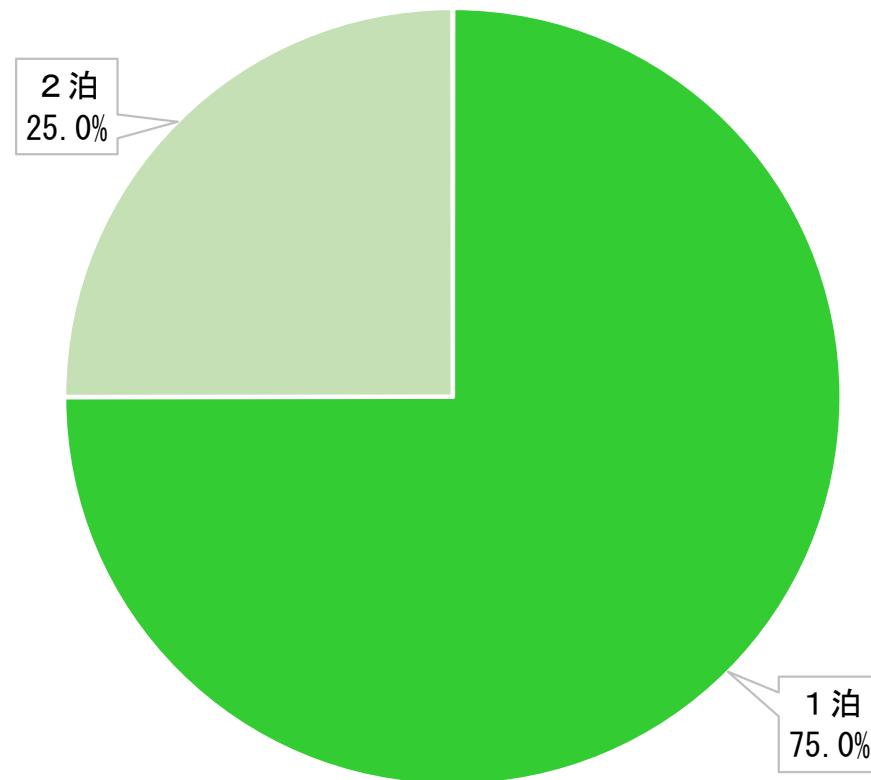


5. 日帰り・宿泊の状況

(2) 宿泊数

(1) で『宿泊』と回答した人に対し、宿泊数を尋ねたところ、「1泊」(75.0%)の割合が7割台半ば、「2泊」(25.0%)が2割台半ばとなっている。

(n=4)



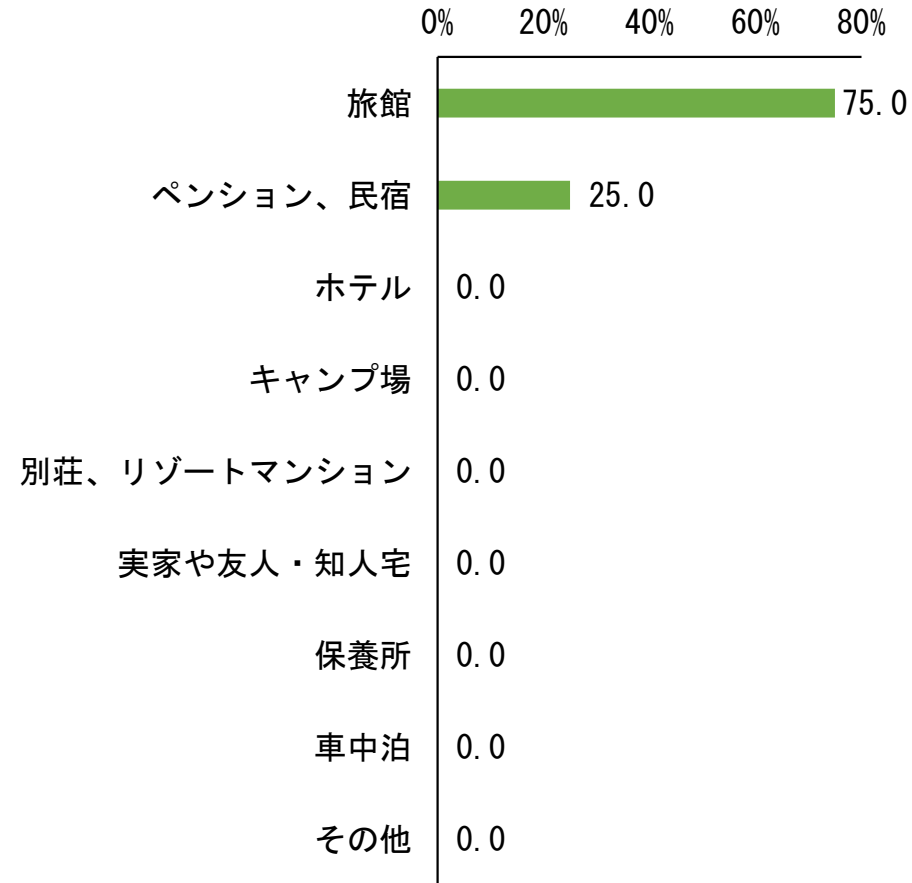
※無回答がある場合、無回答を除く

5. 日帰り・宿泊の状況

(3) 宿泊した施設

(1) で『宿泊』と回答した人に対し、宿泊した施設を尋ねたところ（複数回答）、「旅館」（75.0%）の割合が7割台半ば、「ペンション、民宿」（25.0%）が2割台半ばとなっている。

(n=4)



※無回答がある場合、無回答を除く

6. 本イベント来訪に要した費用

本イベントに要した旅行費用を尋ねたところ、1人あたりの平均額で『日帰り客』が4,174円、『宿泊客』が27,900円、『日帰り客』と『宿泊客』を合わせた合計（参考）が7,824円となっている。

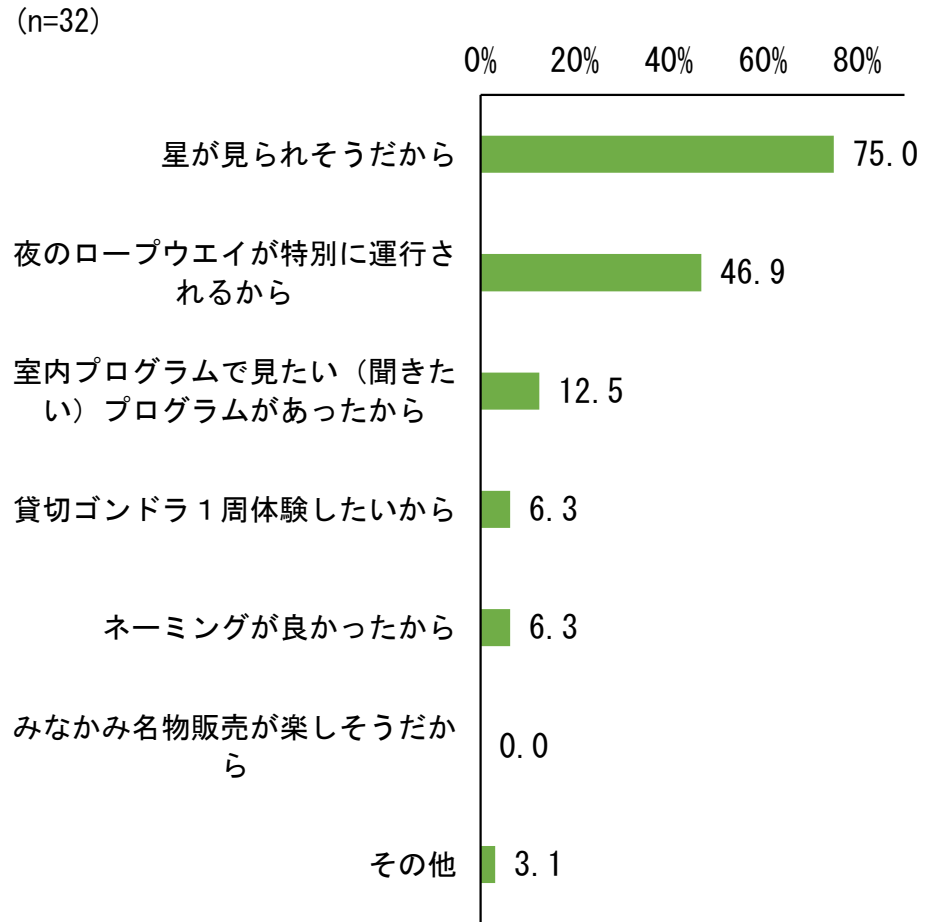
	日帰り客 (n=11)	宿泊客 (n=2)	合計（参考） (n=13)
交通費	1,378	4,000	1,781
宿泊費	-	12,900	1,985
土産代	61	2,500	436
飲食費	1,038	5,000	1,647
入場料	1,243	3,500	1,590
その他	455	0	385
合計	4,174	27,900	7,824

※無回答を除く。合計（参考）の宿泊費は宿泊客の平均である

7. 本イベントへの参加理由

本イベントへの参加理由を尋ねたところ（複数回答）、「星が見られそうだから」（75.0%）の割合が7割台半ばで最も高く、次いで「夜のロープウェイが特別に運行されるから」（46.9%）が4割台半ばを占め、この2つの理由が高くなっている。

それら以外では「室内プログラムで見たい（聞きたい）プログラムがあったから」（12.5%）、「貸切ゴンドラ1周体験したいから」「ネーミングが良かったから」（各6.3%）などとなっている。

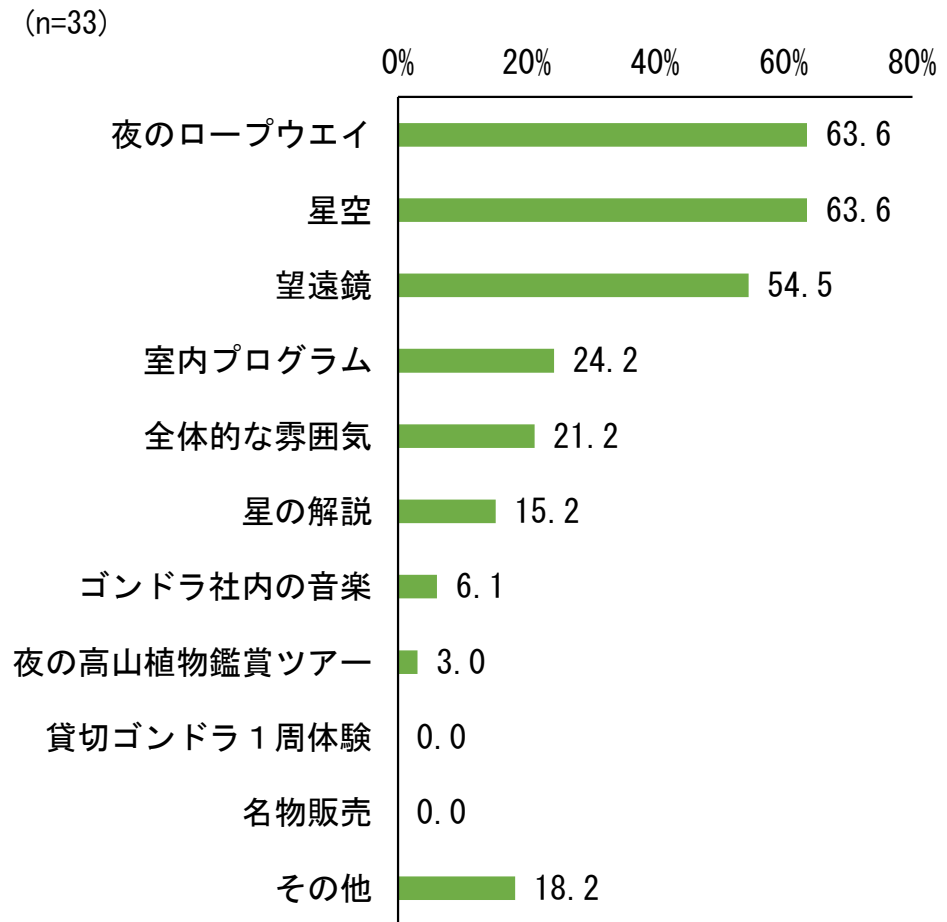


※無回答がある場合、無回答を除く

8. 本イベントで楽しかったプログラム

本イベントで楽しかったプログラムを尋ねたところ（複数回答）、「夜のロープウェイ」と「星空」（各63.6%）の割合がそれぞれ約6割台前半で高く、次いで「望遠鏡」（54.5%）が5割台半ばとなっている。以下「室内プログラム」（24.2%）、「全体的な雰囲気」（21.2%）、「星の解説」（15.2%）などとなっている。

また、「その他」（18.2%）では「天達氏の講演」という回答が多くなっている。



※無回答がある場合、無回答を除く

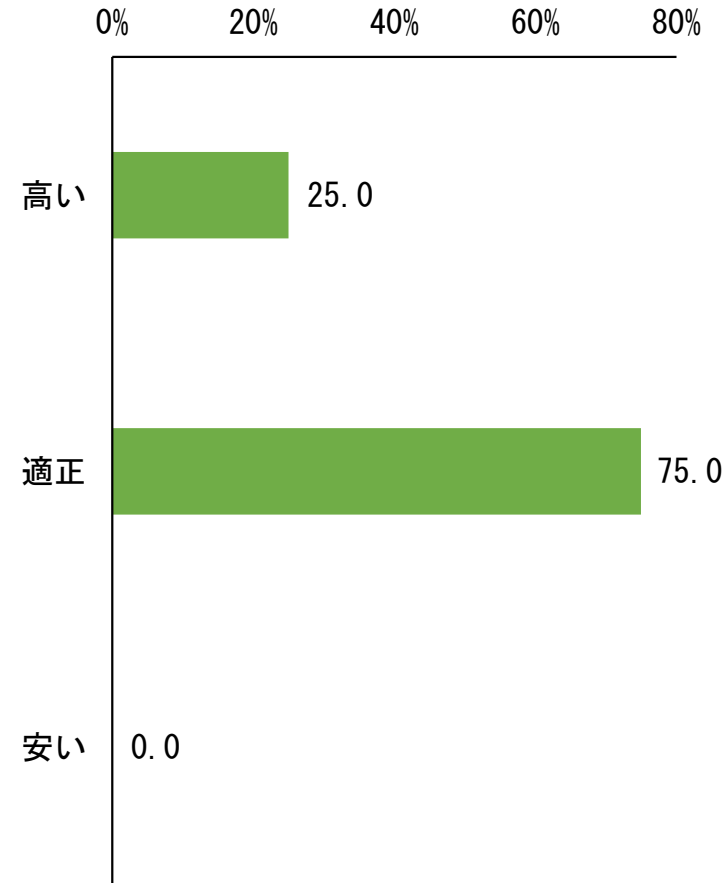
9. 参加費に対する感想

(1) 参加費に対する評価

参加費に対する評価を尋ねたところ、「適正」(75.0%)の割合が7割台半ばで特に高くなっている。

一方、「高い」(25.0%)の割合が2割台半ばとなっているのに対し、「安い」(0.0%)は皆無となっている。

(n=32)

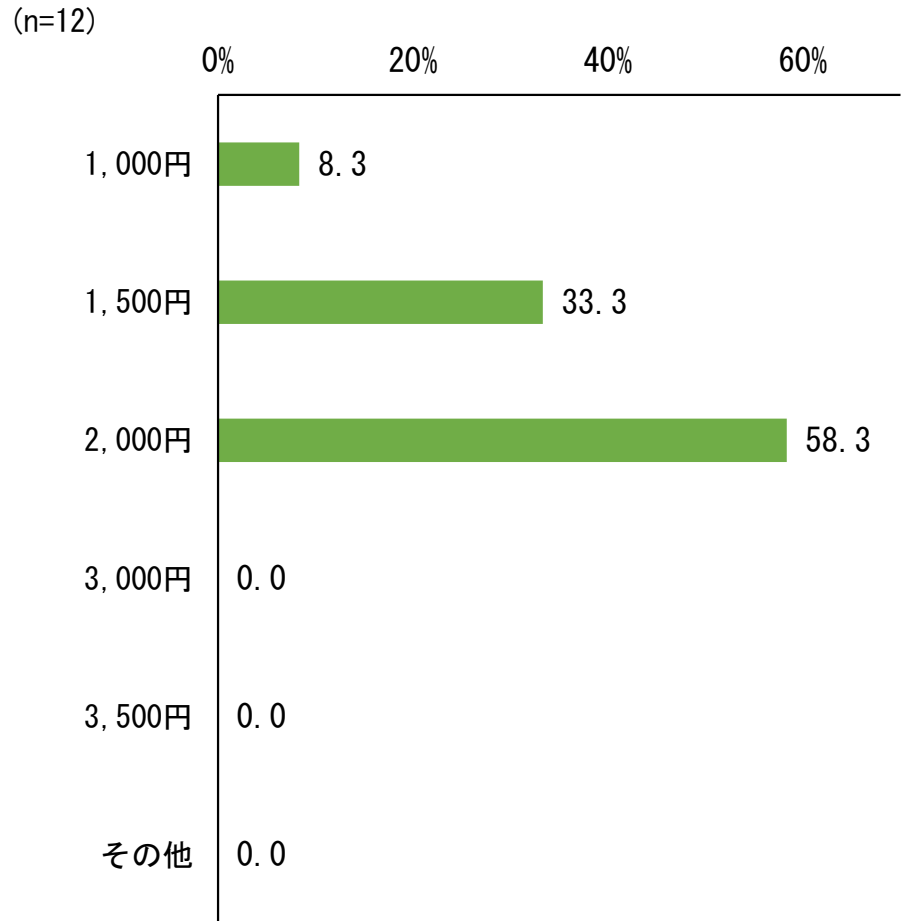


※無回答がある場合、無回答を除く

9. 参加費に対する感想

(2) 適正と思う価格

適正と思う参加費の価格を尋ねたところ、「2,000円」(58.3%)の割合が5割台後半で最も高く、以下「1,500円」(33.3%)、「1,000円」(8.3%)となっている。

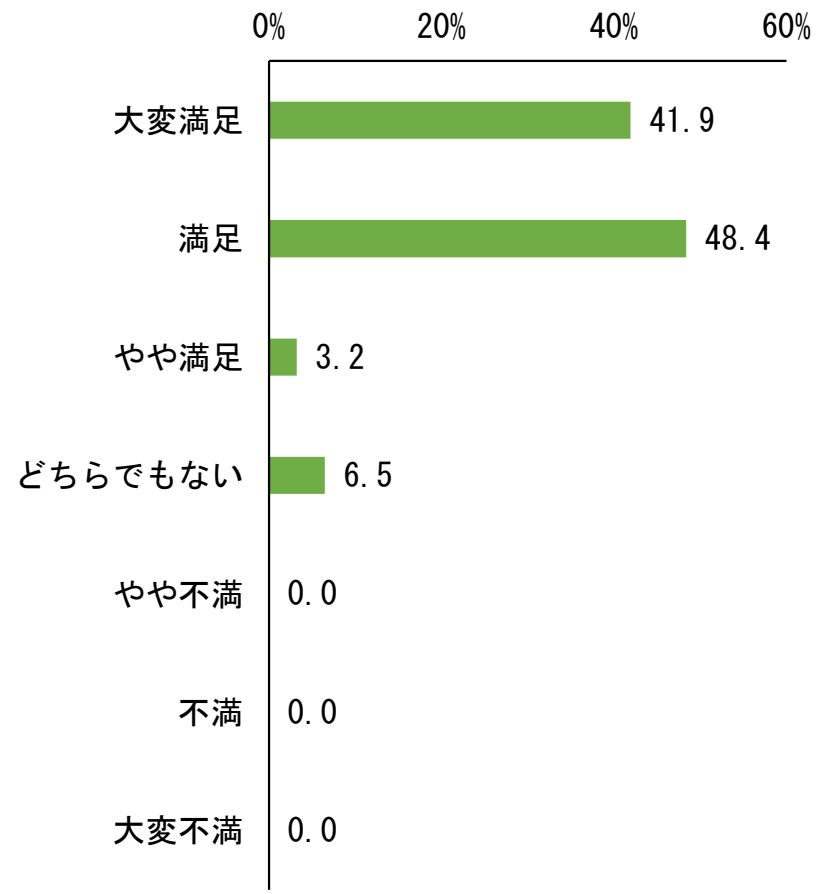


※無回答がある場合、無回答を除く

10. スタッフに対する評価

スタッフの対応についての評価を尋ねたところ、「大変満足」(41.9%)と「満足」(48.4%)の割合がそれぞれ4割台となっている。残りは「やや満足」(3.2%)、「どちらでもない」(6.5%)となっている。

(n=31)



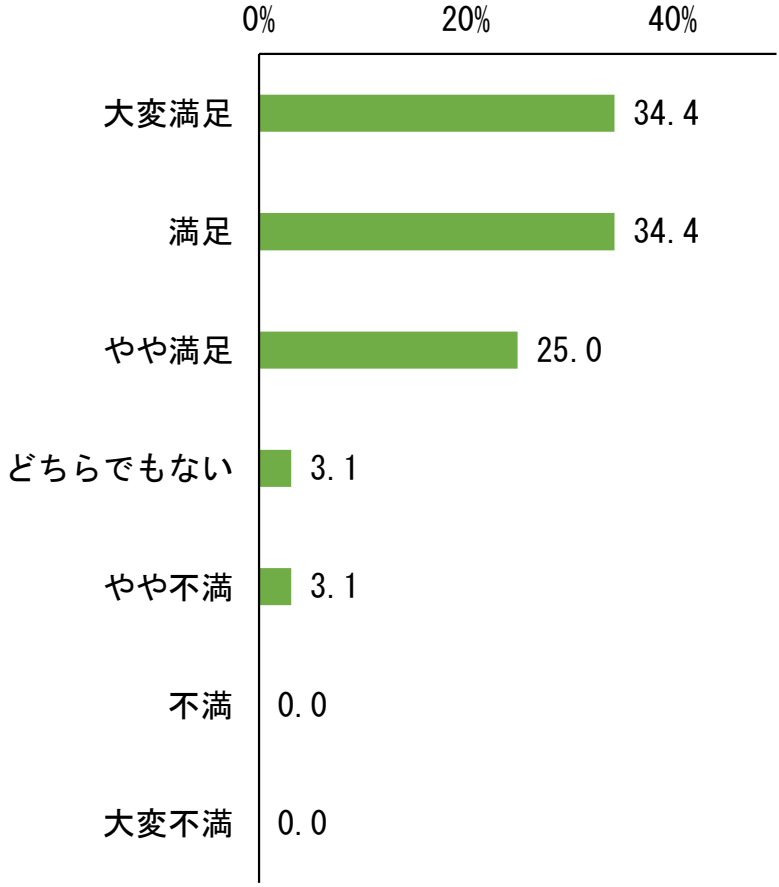
※無回答がある場合、無回答を除く

11. 本イベントに対する評価と再来訪意向

(1) 本イベントに対する評価

回答者全員に、本イベントに対する評価を尋ねたところ、「大変満足」と「満足」（各34.4%）の割合が、合わせて7割近くを占めているほか、「やや満足」（25.0%）が2割台半ばとなっている。残りは「どちらでもない」（3.1%）、「やや不満」（3.1%）となっている。

(n=32)

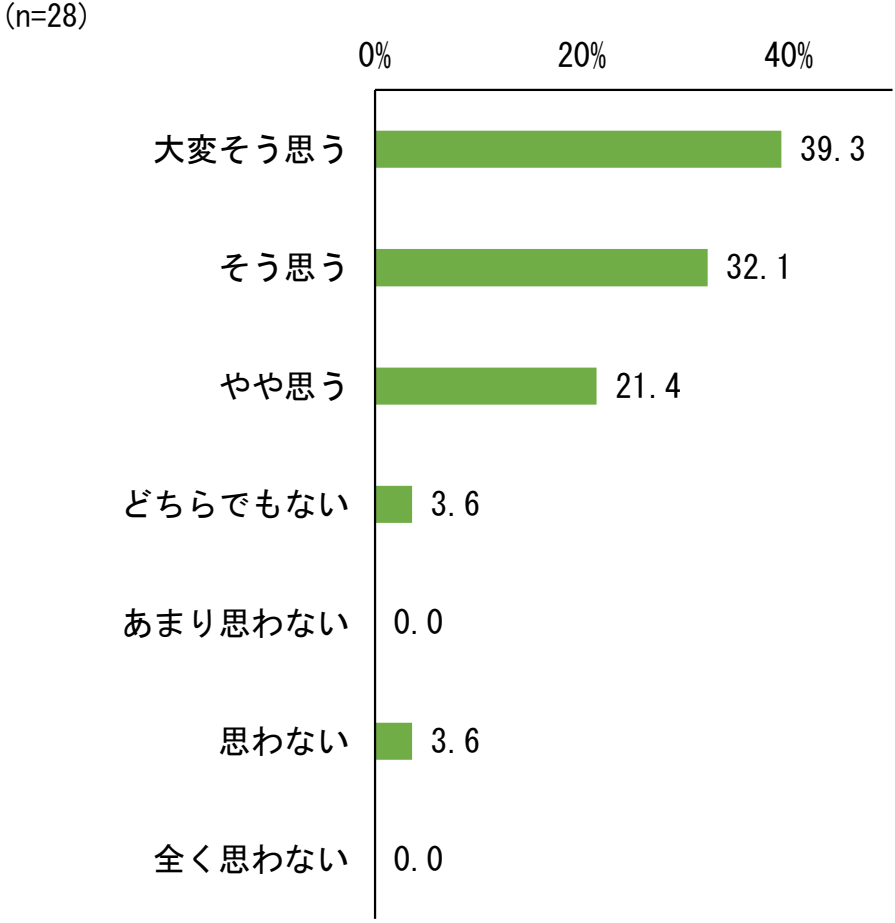


※無回答がある場合、無回答を除く

11. 本イベントに対する評価と再来訪意向

(2) 再来訪意向

本イベントへの再来訪意向を尋ねたところ、「大変そう思う」(39.3%)が約4割、「そう思う」(32.1%)の割合が3割台前半となり、合わせて約7割を占めているほか、「やや思う」(21.4%)が約2割を占めている。残りは「どちらでもない」と「思わない」(各3.6%)となっている。



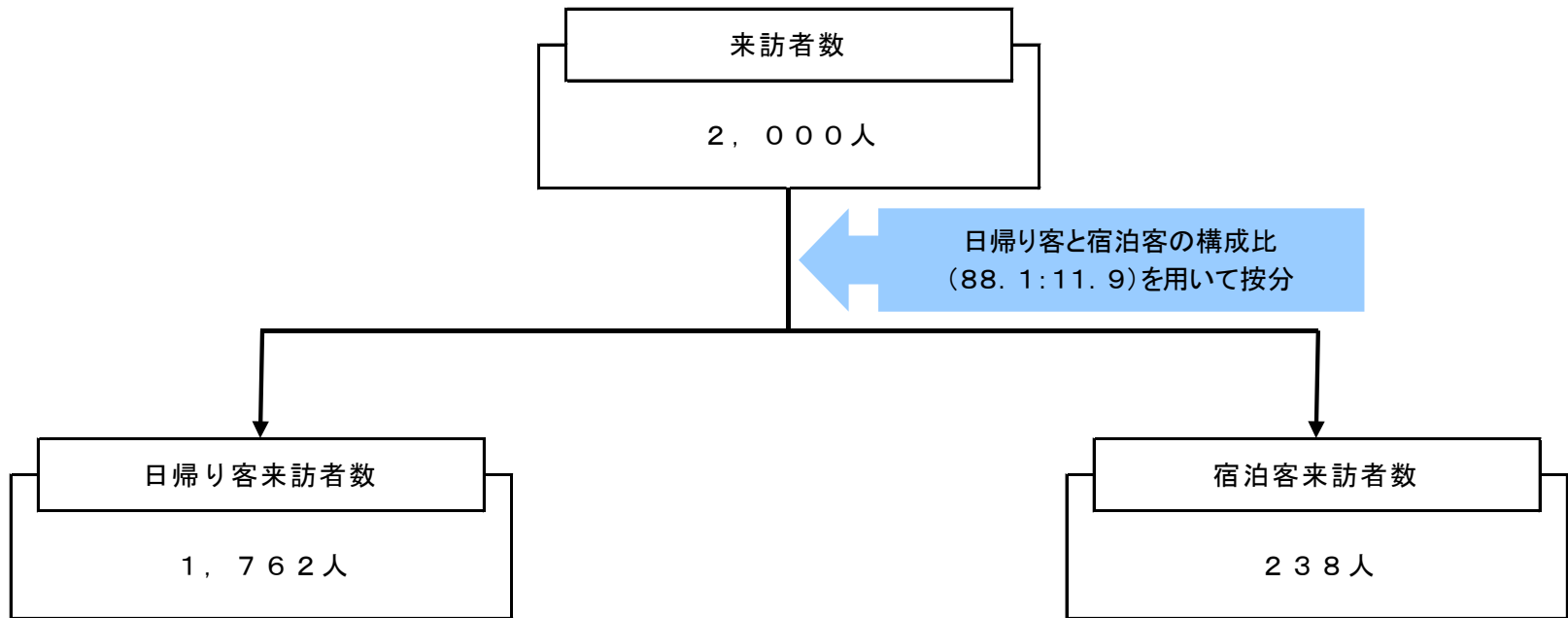
※無回答がある場合、無回答を除く

12. 経済波及効果の推計結果

(1) 消費支出額の推計

① 日帰り客と宿泊客の来訪者数の推計

本イベントの来訪者数は2,000人となっている。この来訪者数を群馬県観光局観光物産課「平成28年 観光客数・消費額調査（推計）結果」で公表されている群馬県内の観光入込客数の『日帰り客』と『宿泊客』の構成比（88.1：11.9）を用いて按分すると、『日帰り客』の来訪者数は1,762人、『宿泊客』の来訪者数は238人と推計される。



12. 経済波及効果の推計結果

② 来訪者 1 人あたりの消費支出額の推計（16頁の再掲）

来訪者 1 人あたりの消費支出には、交通費、宿泊費、土産代等が考えられる。来訪者へのアンケート調査の結果をもとに『日帰り客』『宿泊客』それぞれについて、費目ごとの 1 人あたりの消費支出額を推計する。

『日帰り客』『宿泊客』の費目ごとの消費支出額は以下の通りである。

	日帰り客 (n=11)	宿泊客 (n=2)	合計（参考） (n=13)
交通費	1,378	4,000	1,781
宿泊費	-	12,900	1,985
土産代	61	2,500	436
飲食費	1,038	5,000	1,647
入場料	1,243	3,500	1,590
その他	455	0	385
合計	4,174	27,900	7,824

※無回答を除く。合計（参考）の宿泊費は宿泊客の平均である。（再掲）

12. 経済波及効果の推計結果

③ 来訪者全体の消費支出額の推計

①で算定した『日帰り客』『宿泊客』それぞれの来訪者数に、②で算定した費目ごとの単価をそれぞれ乗じ、来訪者全体の費目ごとの消費支出額を推計する。『日帰り客』『宿泊客』それぞれの費目ごとの消費支出額は以下の通りで、来訪者全体の消費支出額は13,995千円と推計される。

(単位：千円)

	日帰り客 (1,762人)	宿泊客 (238人)
交通費	2,428	952
宿泊費	-	3,070
土産代	107	595
飲食費	1,829	1,190
入場料	2,190	833
その他	801	0
合計	7,355	6,640
消費支出額	13,995	

12. 経済波及効果の推計結果

(2) 推計モデルを使った経済波及効果の推計

(1)の③で算定された消費支出額を群馬県産業連関表の推計モデルに投入し、最終需要増加額と直接効果、1次・2次間接波及効果を推計し、経済波及効果を推計した。産業ごとの波及効果は以下の通りである。

なお、(1)の③で算定された消費支出額は13,995千円となるが、消費支出額から流通マージン(商業マージン及び国内貨物運賃)と、県外での交通費(交通費の1/2を県外で支出したとみなす)を控除した12,305千円が最終需要増加額となる。また、推計の計算手順は参考資料に掲載している。

(単位：千円)

部門分類	最終需要増加額	生産誘発額			
		直接効果	1次間接波及効果	2次間接波及効果	経済波及効果
農林水産業	131	33	76	16	126
鉱業	0	0	3	1	4
飲食料品	443	57	189	55	302
繊維製品	71	1	1	1	2
パルプ・紙・木製品	8	1	25	5	31
化学製品	8	1	8	5	13
石油・石炭製品	333	9	11	3	23
プラスチック・ゴム	0	0	18	6	23
窯業・土石製品	12	1	3	1	5
鉄鋼	0	0	1	1	2
非鉄金属	0	0	1	1	2
金属製品	0	0	8	2	11
はん用機械	0	0	1	0	2
生産用機械	0	0	2	0	2
業務用機械	0	0	2	1	3
電子部品	0	0	6	3	9
電気機械	5	1	2	5	7
情報・通信機器	8	0	0	0	0
輸送機械	0	0	12	34	47

部門分類	最終需要増加額	生産誘発額			
		直接効果	1次間接波及効果	2次間接波及効果	経済波及効果
その他の製造工業製品	63	13	29	12	54
建設	0	0	97	42	139
電力・ガス・熱供給	0	0	243	72	315
水道	0	0	101	24	124
廃棄物処理	0	0	94	7	101
商業	0	170	421	273	865
金融・保険	0	0	95	164	259
不動産	0	0	196	667	863
運輸・郵便	1,514	1,123	412	131	1,666
情報通信	5	2	135	87	224
公務	0	0	13	8	21
教育・研究	403	319	15	46	381
医療・福祉	95	95	5	127	227
その他の非営利団体サービス	65	65	40	33	138
対事業所サービス	108	66	465	114	645
対個人サービス	9,033	7,665	106	325	8,095
事務用品	0	0	24	4	28
分類不明	0	0	56	13	69
全産業合計	12,305	9,622	2,918	2,289	14,829

12. 経済波及効果の推計結果

(3) 経済波及効果の推計結果

推計の手順としては、はじめに消費支出額から直接効果の推計を行ない、その直接効果に基づいて産業連関表を利用した1次間接波及効果(直接効果によって生じた原材料の他産業への経済波及効果)と2次間接波及効果(直接効果と1次間接波及効果によって生じた雇用者所得が消費に向かうことによる経済波及効果)を算出した。

群馬県産業連関表を利用した推計の結果、本イベントの開催がもたらした群馬県内への経済波及効果は、1次間接波及効果2,918千円、2次間接波及効果が2,289千円となり、直接効果9,622千円と合わせた経済波及効果の総額は14,829千円と算定された。

ただし、経済波及効果の推計結果における注意点として、アンケート調査の回答者(特に宿泊客)のサンプル数が少ないため、来訪者全体の傾向を反映していない可能性があることに留意する必要がある。

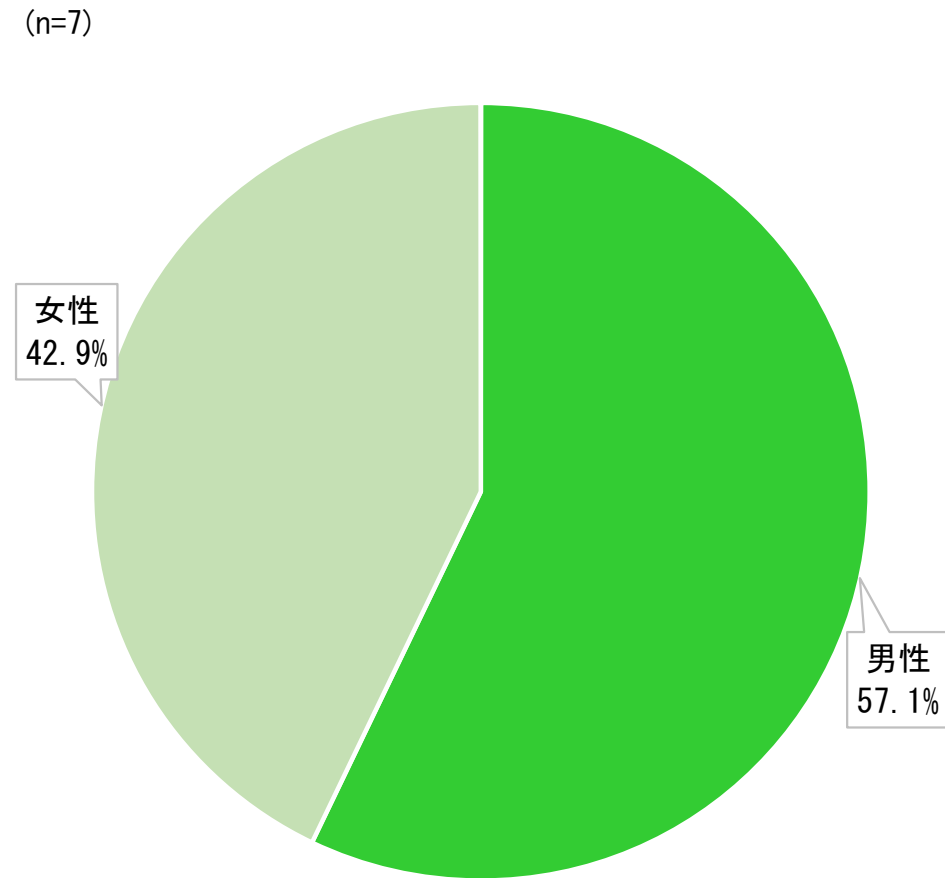
	推計金額
①直接効果	9,622 千円
②1次間接波及効果	2,918 千円
③2次間接波及効果	2,289 千円
④経済波及効果 総額 (①+②+③)	14,829 千円
⑤生産誘発倍率 (④÷①)	1.54 倍

Ⅲ. アウトドアフェスティバル

1. 回答者の属性

(1) 性別

回答者を性別で見ると、「男性」(57.1%)が5割台後半、「女性」(42.9%)が4割台前半となっている。



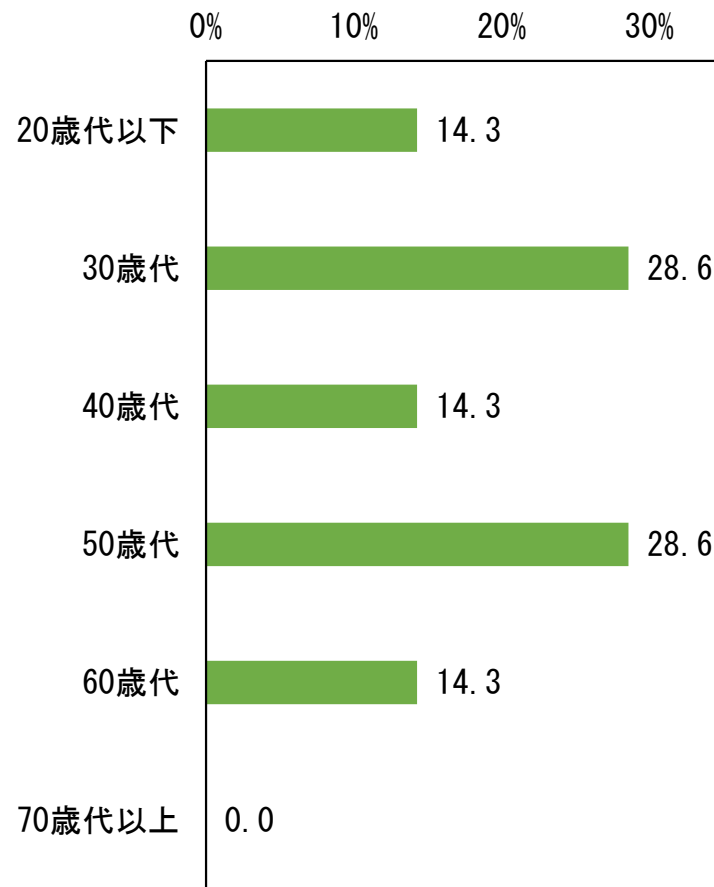
※無回答がある場合、無回答を除く

1. 回答者の属性

(2) 年代別

回答者を年代別で見ると、「30歳代」と「50歳代」（各28.6%）の割合が約3割で最も高く、以下「20歳代以下」「40歳代」「60歳代」（各14.3%）となっている。

(n=7)



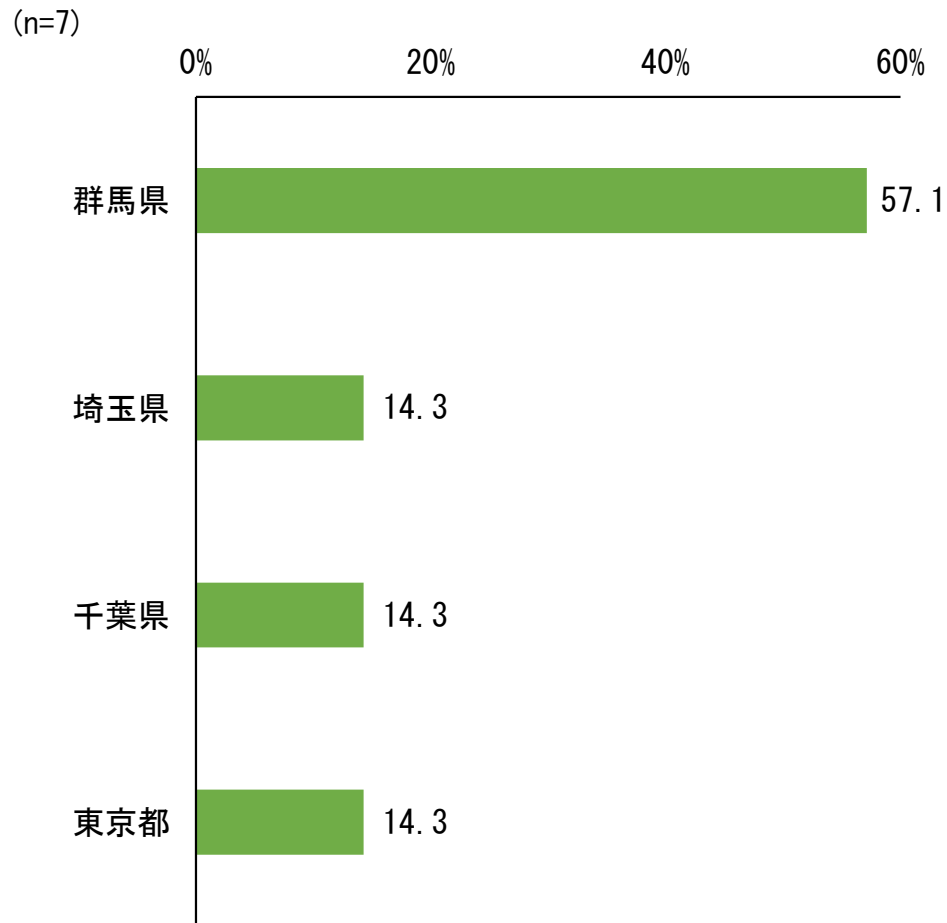
※無回答がある場合、無回答を除く

1. 回答者の属性

(3) 現住所

回答者を現住所別にみると、「群馬県」(57.1%)の割合が約5割台後半、残りは「埼玉県」「千葉県」「東京都」(各14.3%)となっている。

また、市町村別の状況は、「群馬県」の「沼田市」「高崎市」「伊勢崎市」「渋川市」が各1件、「埼玉県」の「本庄市」が1件、「千葉県」の「船橋市」が1件となっている。

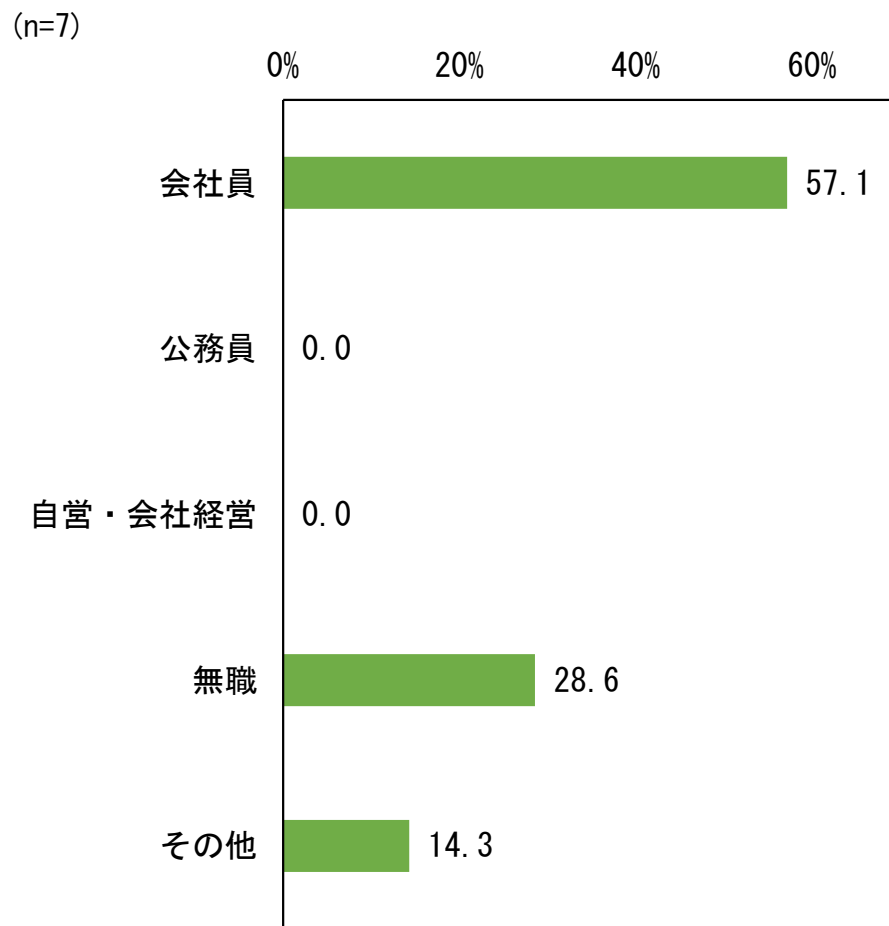


※無回答がある場合、無回答を除く

1. 回答者の属性

(4) 職業

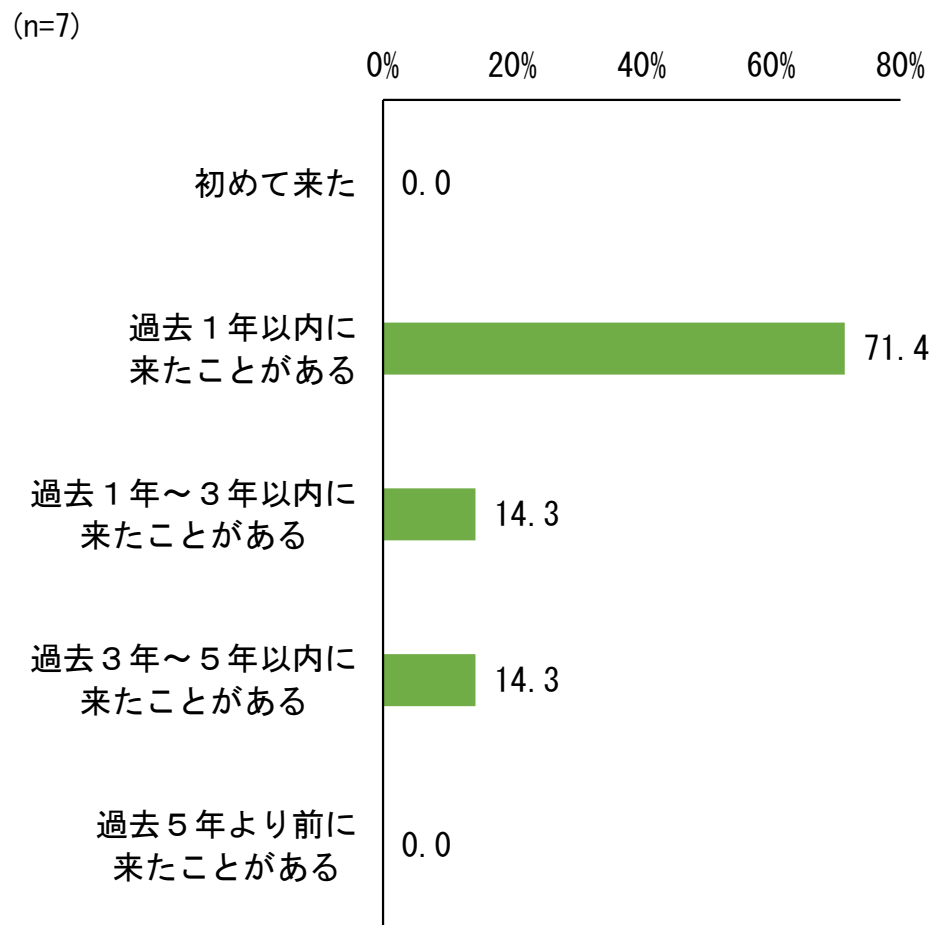
回答者を職業別にみると、「会社員」(57.1%)の割合が最も高く、以下「無職」(28.6%)、「その他」(14.3%)となっている。



※無回答がある場合、無回答を除く

2. みなかみ町への来訪経験

これまでの“みなかみ町”への来訪経験を尋ねたところ、「過去1年以内に来たことがある」（71.4%）の割合が約7割となっており、以下「過去1年～3年以内に来たことがある」「過去3年～5年以内に来たことがある」（各14.3%）となっている。

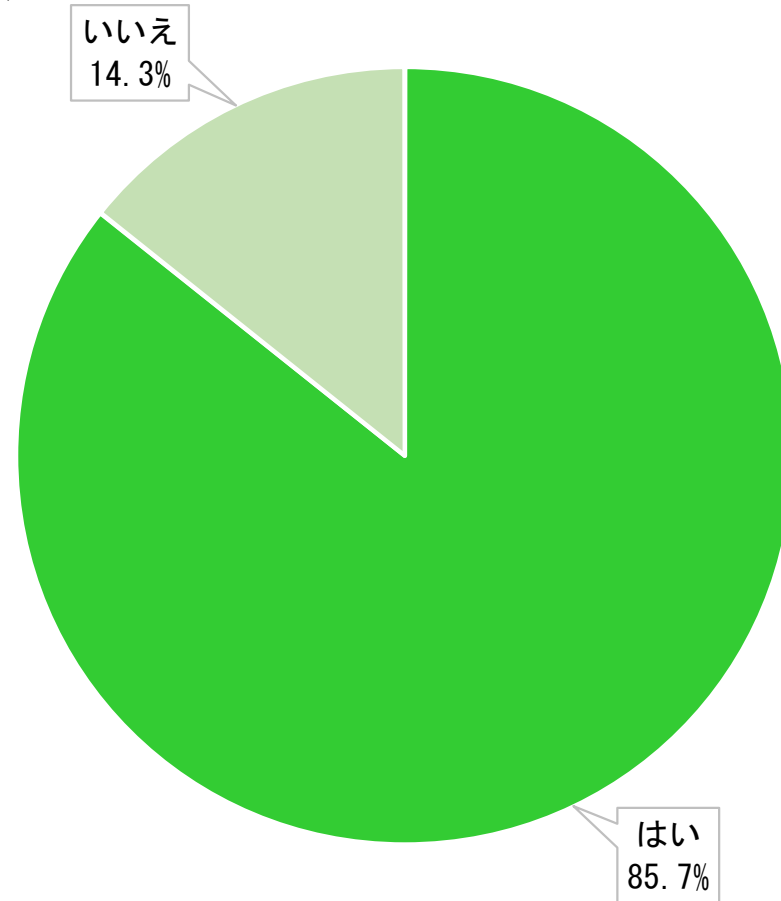


※無回答がある場合、無回答を除く

3. 今回のみなかみ町への来訪目的

今回のみなかみ町への来訪は、本イベントが目的か否かを尋ねたところ、「はい」(85.7%)との回答割合が8割台半ばとなっている。

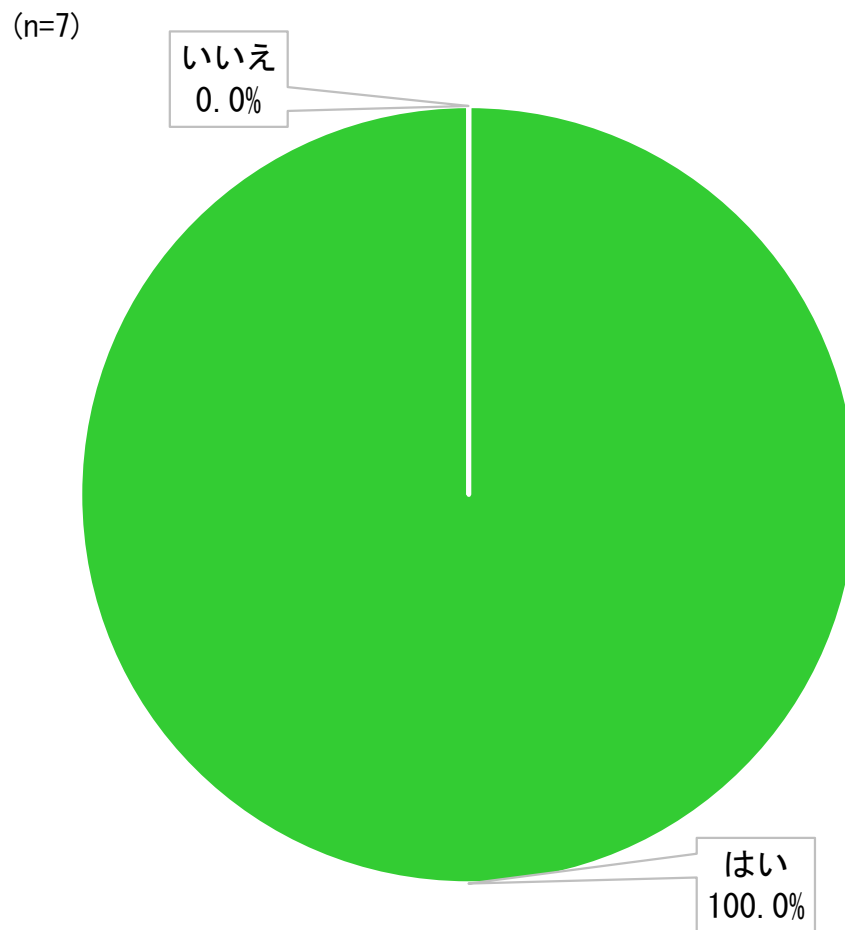
(n=7)



※無回答がある場合、無回答を除く

4. 本イベントへの訪問経験

本イベントへの訪問は初めてか否かを尋ねたところ、「はい」(100.0%)のみとなっている。

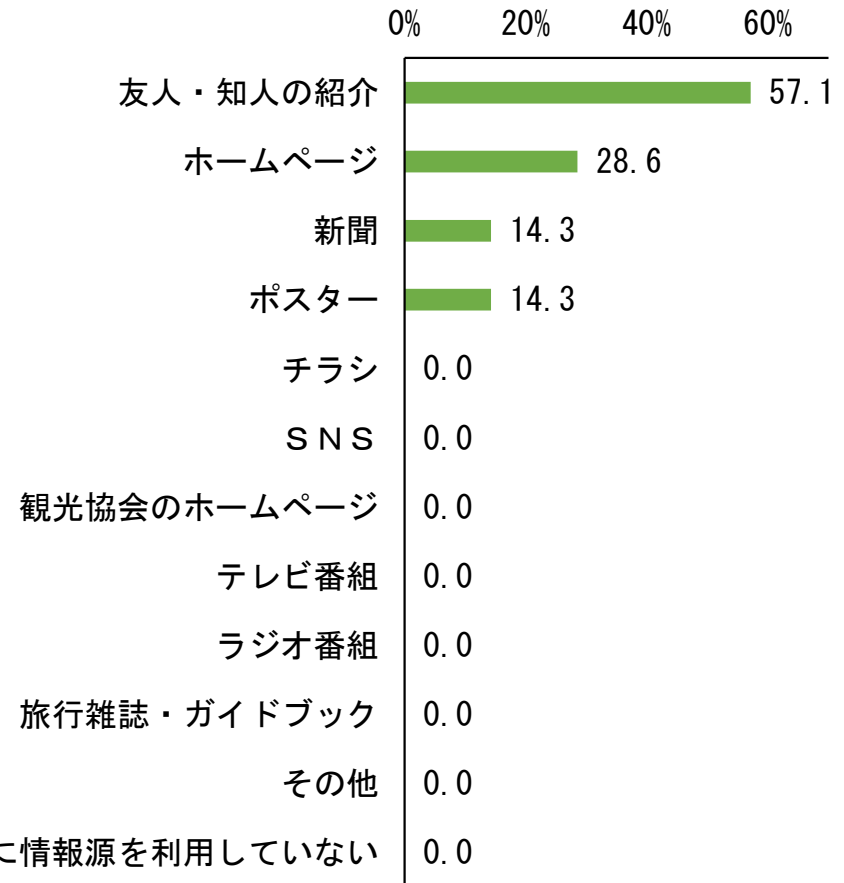


※無回答がある場合、無回答を除く

5. 本イベントの情報源

本イベントの開催を知るきっかけとなった情報源を尋ねたところ（複数回答）、「友人・知人の紹介」（57.1%）の割合が最も高く、以下「ホームページ」（28.6%）、「新聞」と「ポスター」（各14.3%）となっている。

(n=7)

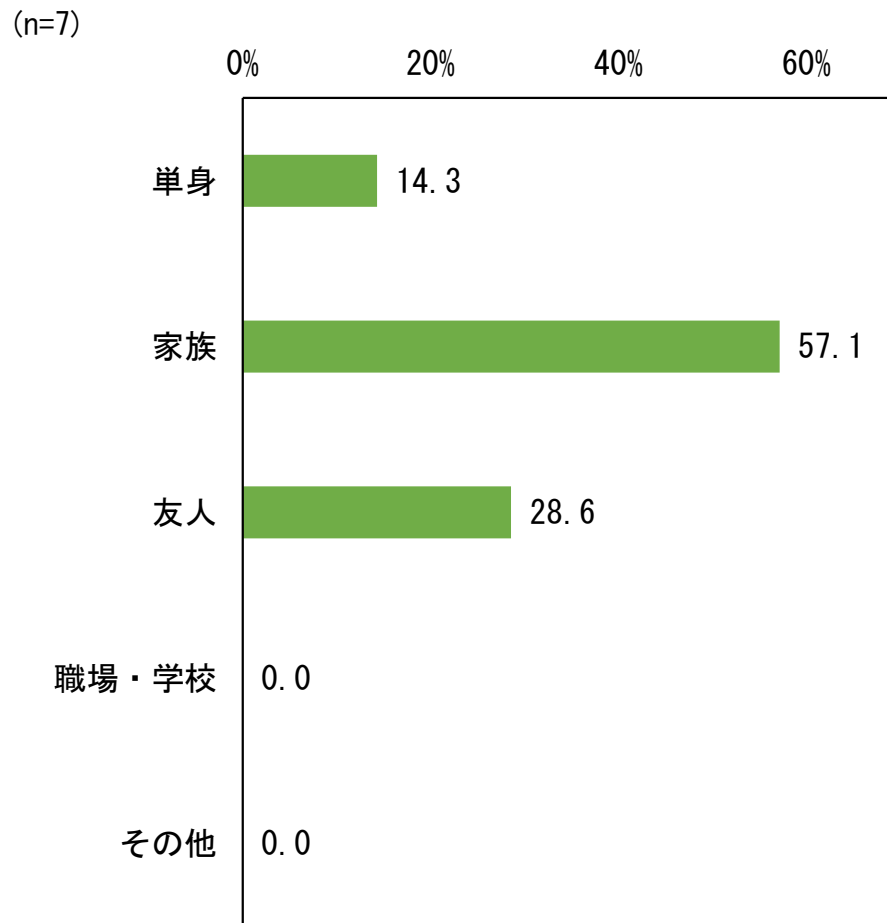


※無回答がある場合、無回答を除く

6. 本イベントへの同行者

(1) 同行者の属性

本イベントへの同行者の属性を尋ねたところ（複数回答）、「家族」（57.1%）とする割合が最も高く、以下「友人」（28.6%）、「单身」（14.3%）となっている。

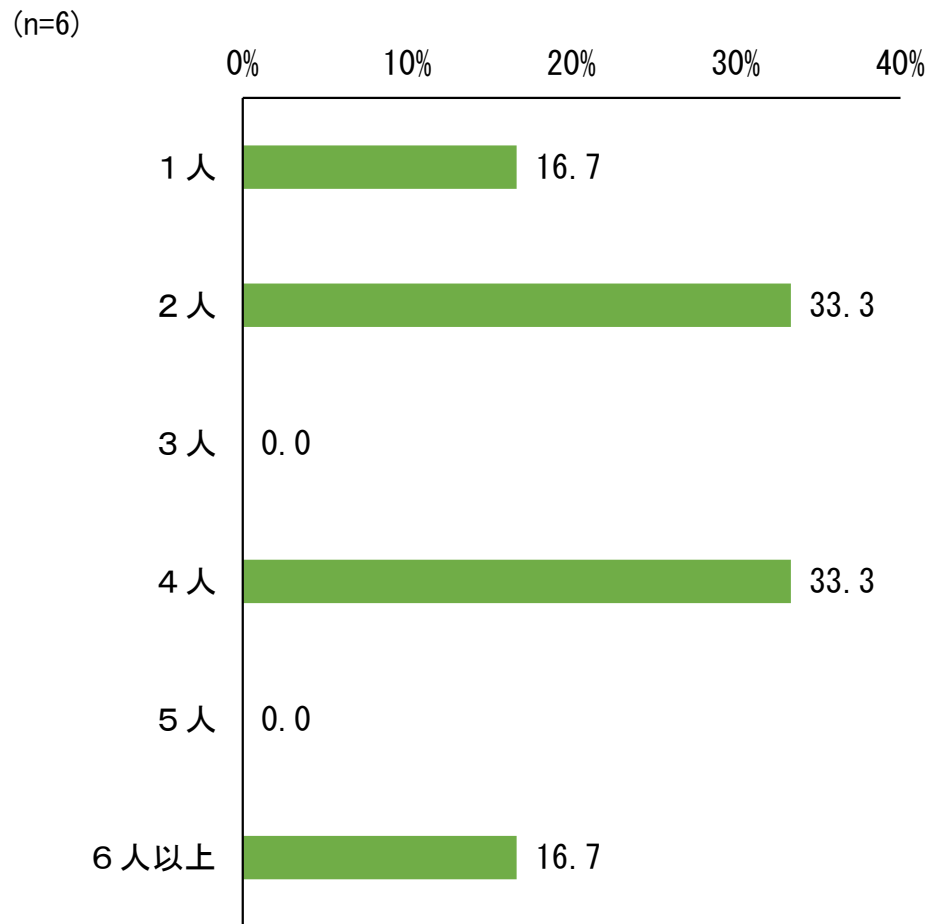


※無回答がある場合、無回答を除く

6. 本イベントへの同行者

(2) 同行者の人数

本イベントへの同行者の人数（回答者を含む）を尋ねたところ、「2人」と「4人」（各33.3%）の割合が3割台前半で最も高く、以下「1人」と「6人以上」（各16.7%）となっている。



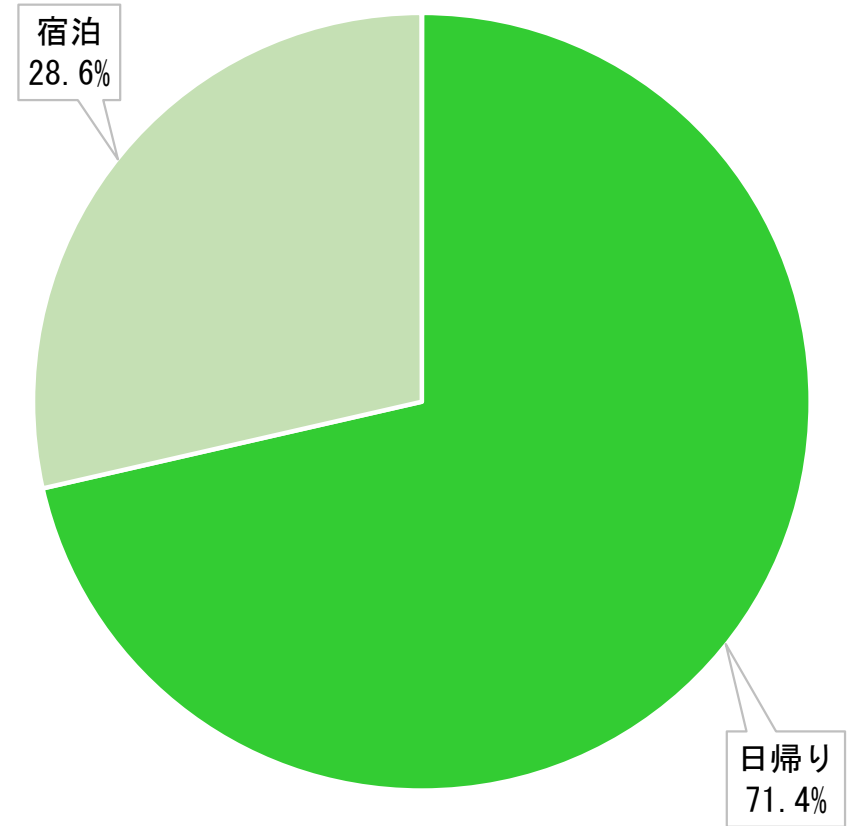
※無回答がある場合、無回答を除く

7. 日帰り・宿泊の状況

(1) 日帰り・宿泊の別

日帰り・宿泊の別を尋ねたところ、「日帰り」(71.4%)の割合が約7割、「宿泊」(28.6%)の割合が約3割となっている。

(n=7)

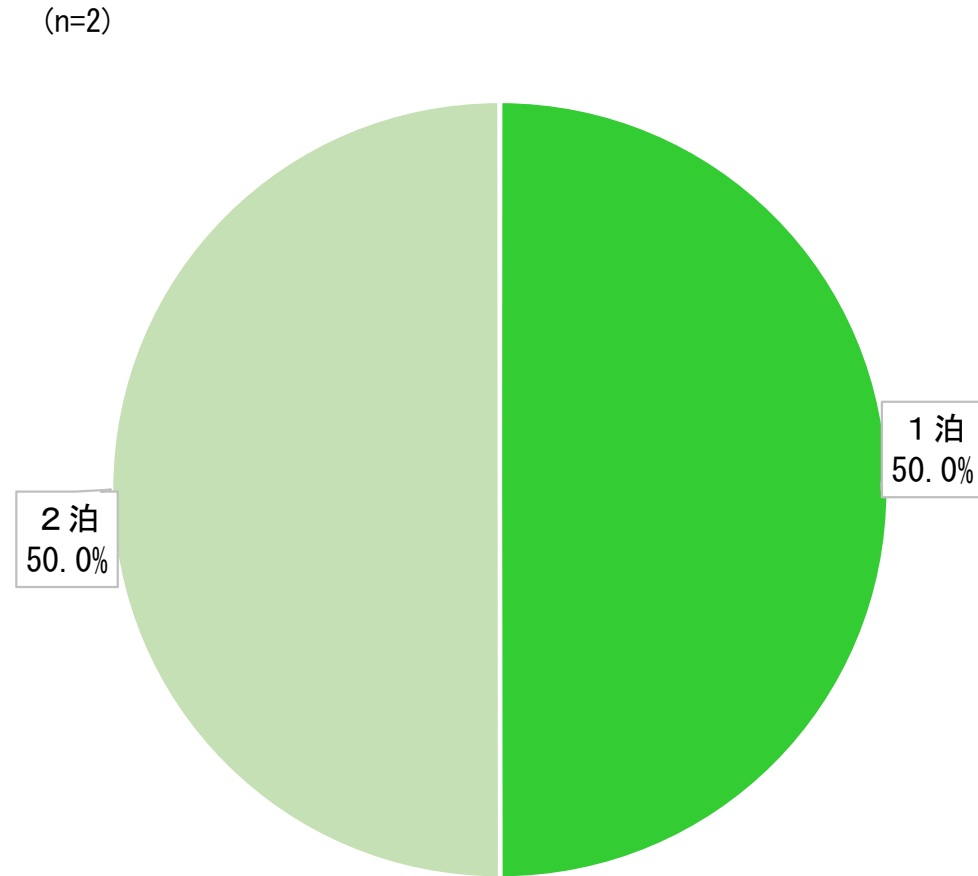


※無回答がある場合、無回答を除く

5. 日帰り・宿泊の状況

(2) 宿泊数

(1) で『宿泊』と回答した人に対し、宿泊数を尋ねたところ、「1泊」と「2泊」（各50.0%）が、それぞれ5割となっている。



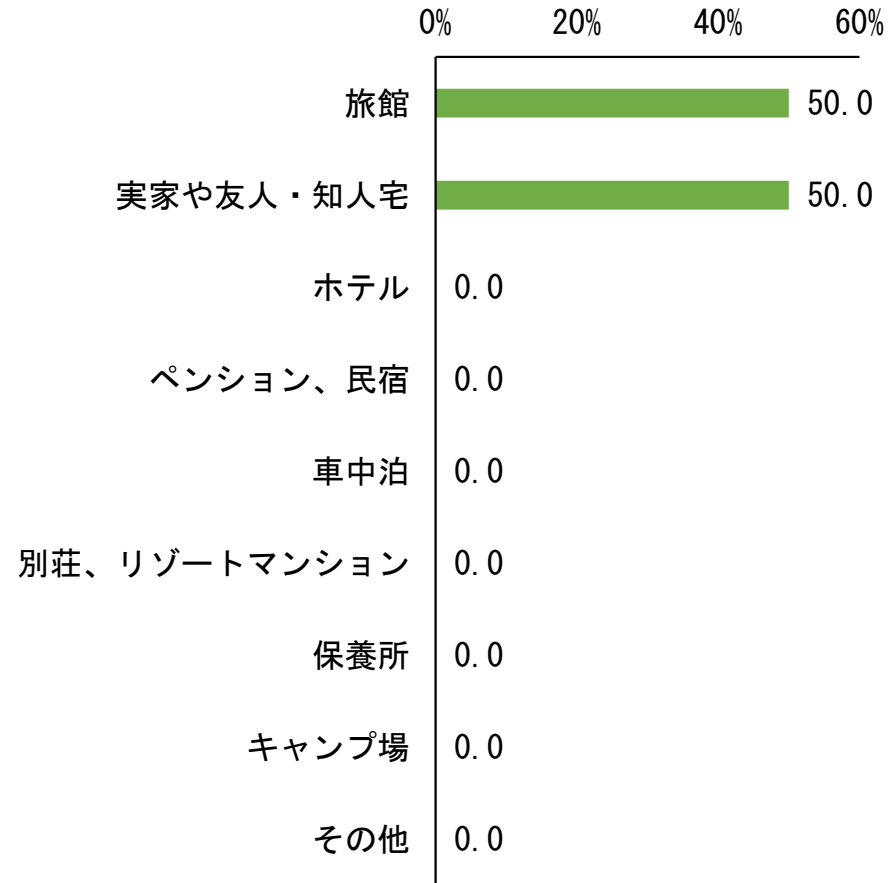
※無回答がある場合、無回答を除く

5. 日帰り・宿泊の状況

(3) 宿泊した施設

(1) で『宿泊』と回答した人に対し、宿泊した施設を尋ねたところ（複数回答）、「旅館」と「実家や友人・知人宅」（50.0%）がそれぞれ5割となっている。

(n=2)



※無回答がある場合、無回答を除く

6. 本イベント来訪に要した費用

本イベントに要した旅行費用を尋ねたところ、1人あたりの平均額で『日帰り客』が3,888円、『宿泊客』が33,333円、『日帰り客』と『宿泊客』を合わせた合計（参考）が33,777円となっている。

	日帰り客 (n=4)	宿泊客 (n=1)	合計（参考） (n=5)
交通費	1,188	3,333	1,617
宿泊費	-	30,000	30,000
土産代	1,813	0	1,450
飲食費	813	0	650
入場料	0	0	0
その他	75	0	60
合計	3,888	33,333	33,777

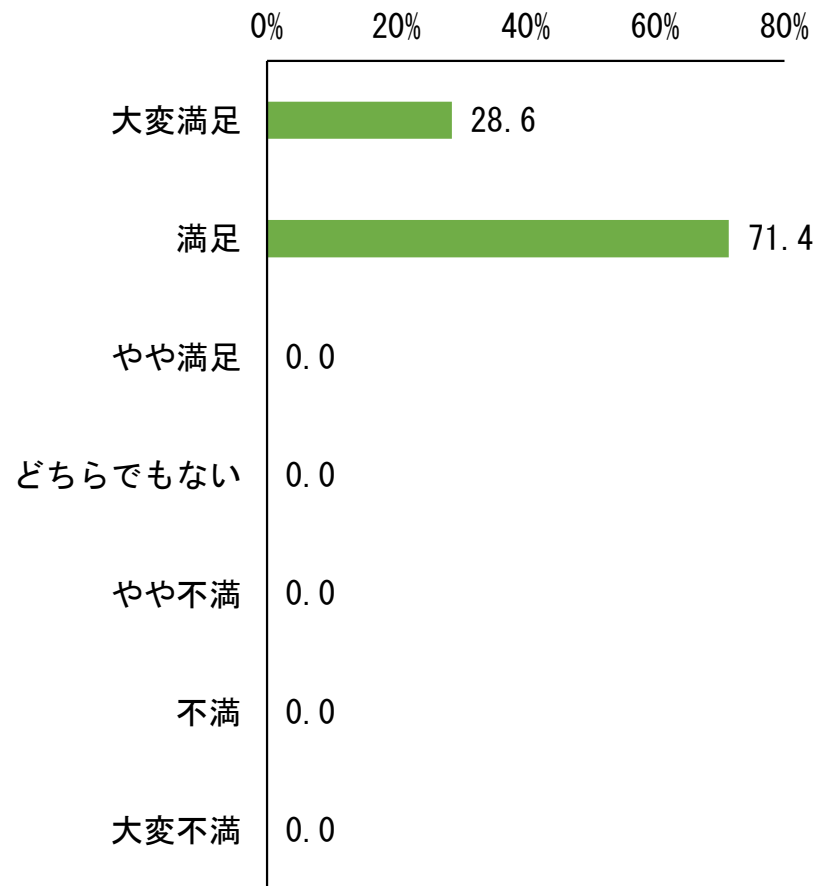
※無回答を除く。合計（参考）の宿泊費は宿泊客の平均である

7. 本イベントに対する評価と再来訪意向

(1) 本イベントに対する評価

本イベントに対する評価を尋ねたところ、「大変満足」(28.6%)が2割台後半、「満足」(71.4%)が約7割となっている。

(n=7)

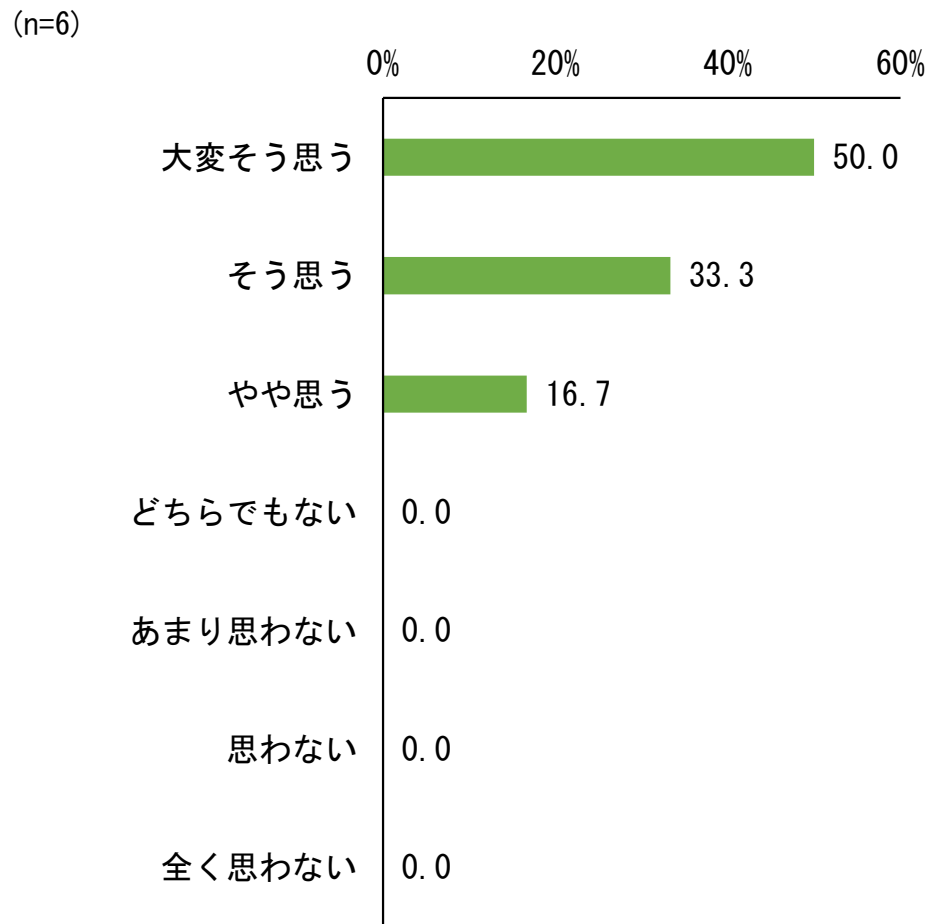


※無回答がある場合、無回答を除く

7. 本イベントに対する評価と再来訪意向

(2) 再来訪意向

本イベントへの再来訪意向を尋ねたところ、「大変そう思う」(50.0%)の割合が5割、「そう思う」(33.3%)の割合が3割台前半で、合わせると8割台前半となっている。残りは「やや思う」(16.7%)となっている。



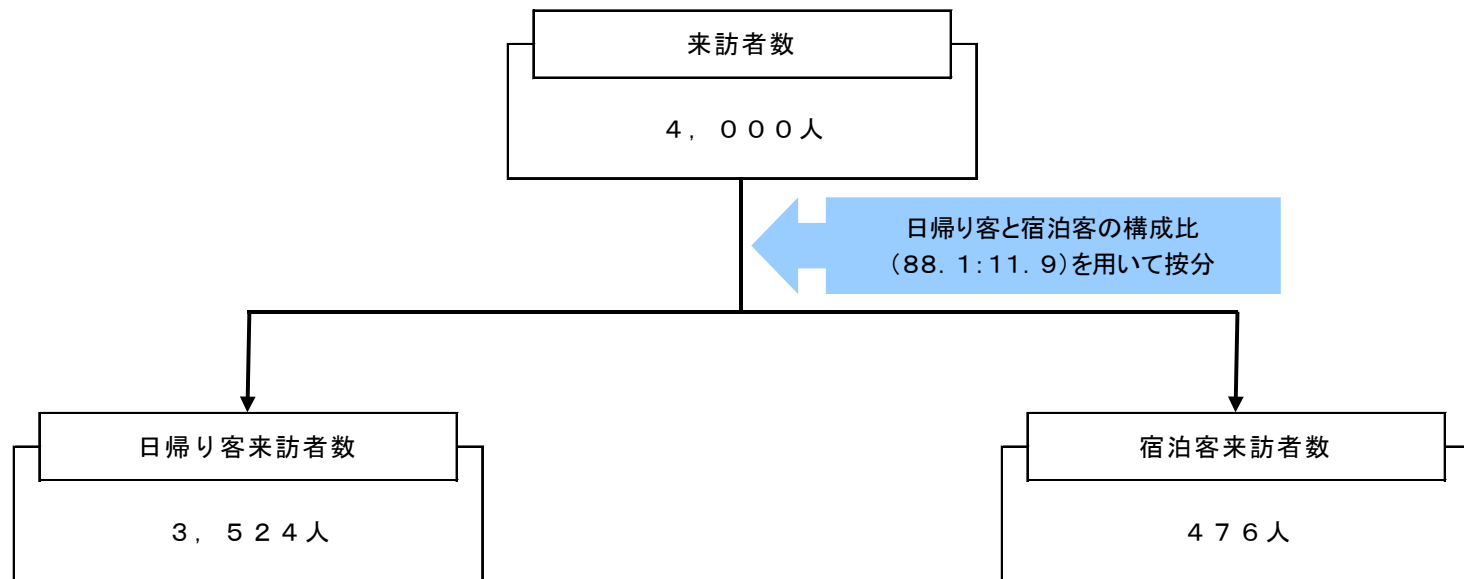
※無回答がある場合、無回答を除く

8. 経済波及効果の推計結果

(1) 消費支出額の推計

① 日帰り客と宿泊客の来訪者数の推計

本イベントの来訪者数は4,000人となっている。この来訪者数を群馬県観光局観光物産課「平成28年 観光客数・消費額調査（推計）結果」で公表されている群馬県内の観光入込客数の『日帰り客』と『宿泊客』の構成比（88.1：11.9）を用いて按分すると、『日帰り客』の来訪者数は3,524人、『宿泊客』の来訪者数は476人と推計される。



8. 経済波及効果の推計結果

②来訪者 1 人あたりの消費支出額の推計（43頁の再掲）

来訪者 1 人あたりの消費支出には、交通費、宿泊費、土産代等が考えられる。来訪者へのアンケート調査の結果をもとに『日帰り客』『宿泊客』それぞれについて、費目ごとの 1 人あたりの消費支出額を推計する。

『日帰り客』『宿泊客』の費目ごとの消費支出額は以下の通りである。

	日帰り客 (n=4)	宿泊客 (n=1)	合計（参考） (n=5)
交通費	1,188	3,333	1,617
宿泊費	-	30,000	30,000
土産代	1,813	0	1,450
飲食費	813	0	650
入場料	0	0	0
その他	75	0	60
合計	3,888	33,333	33,777

※無回答を除く。合計（参考）の宿泊費は宿泊客の平均である。（再掲）

8. 経済波及効果の推計結果

③ 来訪者全体の消費支出額の推計

①で算定した『日帰り客』『宿泊客』それぞれの来訪者数に、②で算定した費目ごとの単価をそれぞれ乗じ、来訪者全体の費目ごとの消費支出額を推計する。『日帰り客』『宿泊客』それぞれの費目ごとの消費支出額は以下の通りで、来訪者全体の消費支出額は29,566千円と推計される。

(単位：千円)

	日帰り客 (3,524人)	宿泊客 (476人)
交通費	4,185	1,587
宿泊費	-	14,280
土産代	6,387	0
飲食費	2,863	0
入場料	0	0
その他	264	0
合計	13,700	15,867
消費支出額	29,566	

8. 経済波及効果の推計結果

(2) 推計モデルを使った経済波及効果の推計

(1)の③で算定された消費支出額を群馬県産業連関表の推計モデルに投入し、最終需要増加額と直接効果、1次・2次間接波及効果を推計し、経済波及効果を推計した。産業ごとの波及効果は以下の通りである。

なお、(1)の③で算定された消費支出額は29,566千円となるが、消費支出額から流通マージン(商業マージン及び国内貨物運賃)と、県外での交通費(交通費の1/2を県外で支出したとみなす)を控除した26,681千円が最終需要増加額となる。また、推計の計算手順は参考資料に掲載している。

(単位：千円)

部門分類	最終需要増加額	生産誘発額			
		直接効果	1次間接波及効果	2次間接波及効果	経済波及効果
農林水産業	917	233	171	31	435
鉱業	0	0	6	2	7
飲食物品	3,708	480	384	104	968
繊維製品	872	9	2	2	13
パルプ・紙・木製品	80	13	53	9	75
化学製品	42	3	15	9	27
石油・石炭製品	571	16	19	6	41
プラスチック・ゴム	0	0	39	10	50
窯業・土石製品	77	7	6	1	14
鉄鋼	0	0	3	1	4
非鉄金属	0	0	2	1	3
金属製品	0	0	19	4	23
はん用機械	0	0	3	1	3
生産用機械	0	0	3	1	4
業務用機械	0	0	4	1	5
電子部品	0	0	11	5	16
電気機械	22	3	3	9	14
情報・通信機器	20	0	0	0	0
輸送機械	0	0	22	64	86

部門分類	最終需要増加額	生産誘発額			
		直接効果	1次間接波及効果	2次間接波及効果	経済波及効果
その他の製造工業製品	649	130	56	23	210
建設	0	0	184	79	263
電力・ガス・熱供給	0	0	482	135	617
水道	0	0	189	45	234
廃棄物処理	0	0	179	14	193
商業	0	1,261	827	513	2,602
金融・保険	0	0	187	308	495
不動産	0	0	393	1,253	1,646
運輸・郵便	2,267	1,800	836	247	2,882
情報通信	2	1	270	163	433
公務	0	0	24	15	39
教育・研究	0	0	32	87	119
医療・福祉	32	32	5	238	274
その他の非営利団体サービス	0	0	76	62	139
対事業所サービス	90	55	892	215	1,161
对个人サービス	17,332	14,708	200	609	15,518
事務用品	0	0	46	7	53
分類不明	0	0	107	25	132
全産業合計	26,681	18,751	5,751	4,299	28,801

8. 経済波及効果の推計結果

(3) 経済波及効果の推計結果

推計の手順としては、はじめに消費支出額から直接効果の推計を行ない、その直接効果に基づいて産業連関表を利用した1次間接波及効果(直接効果によって生じた原材料の他産業への経済波及効果)と2次間接波及効果(直接効果と1次間接波及効果によって生じた雇用者所得が消費に向かうことによる経済波及効果)を算出した。

群馬県産業連関表を利用した推計の結果、本イベントの開催がもたらした群馬県内への経済波及効果は、1次間接波及効果5,751千円、2次間接波及効果が4,299千円となり、直接効果18,751千円と合わせた経済波及効果の総額は28,801千円と算定された。

ただし、経済波及効果の推計結果における注意点として、アンケート調査の回答者(特に宿泊客)のサンプル数が少ないため、来訪者全体の傾向を反映していない可能性があることに留意する必要がある。

	推計金額
①直接効果	18,751 千円
②1次間接波及効果	5,751 千円
③2次間接波及効果	4,299 千円
④経済波及効果 総額 (①+②+③)	28,801 千円
⑤生産誘発倍率 (④÷①)	1.54 倍

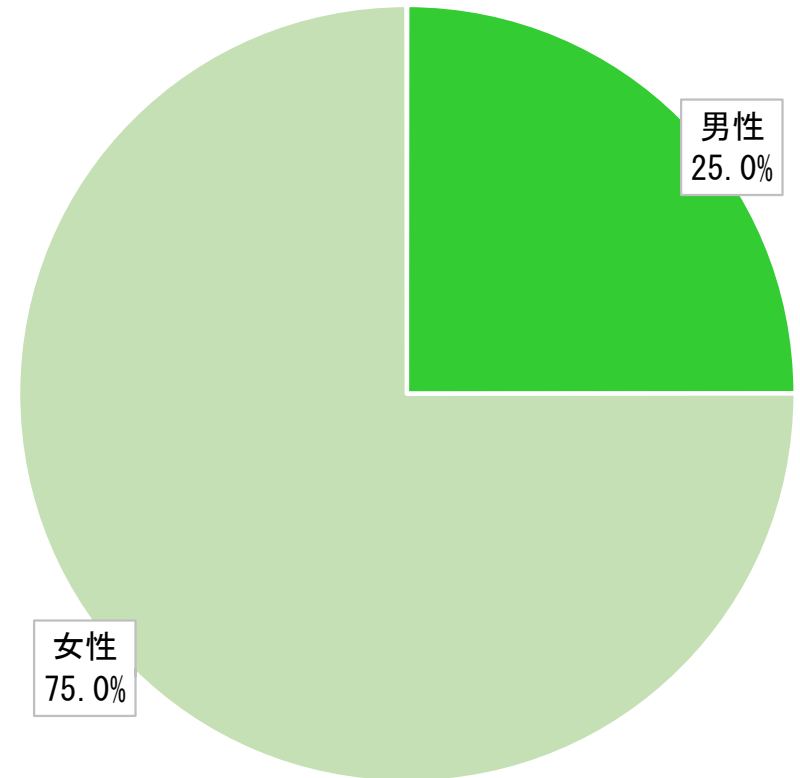
IV. ホタル鑑賞の夕べ

1. 回答者の属性

(1) 性別

回答者を性別で見ると、「男性」(25.0%)が2割台半ば、「女性」(75.0%)が7割台半ばとなっている。

(n=8)



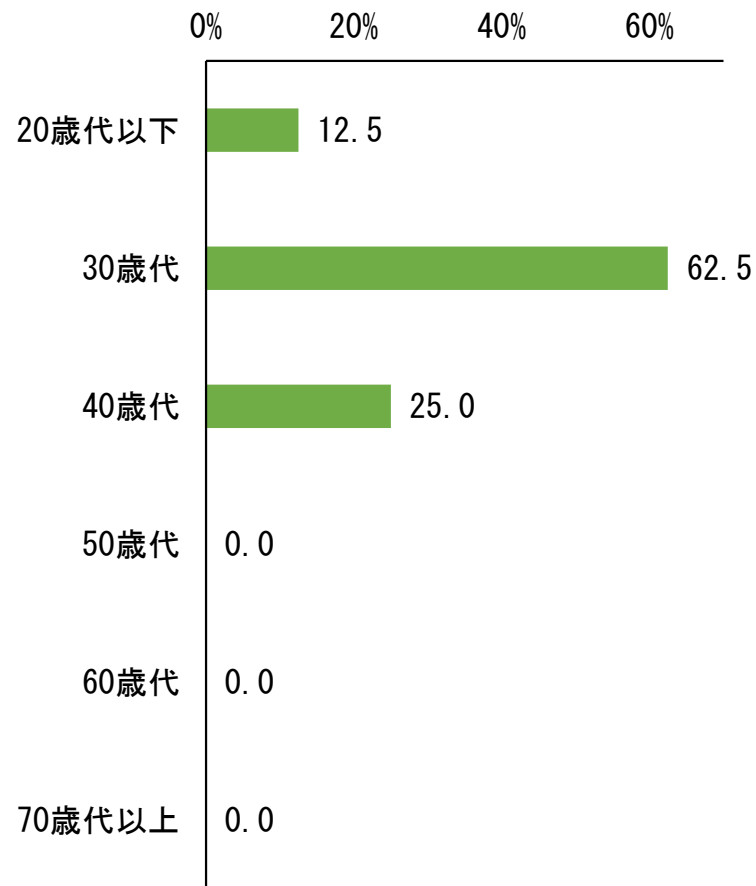
※無回答がある場合、無回答を除く

1. 回答者の属性

(2) 年代別

回答者を年代別で見ると、「30歳代」(62.5%)の割合が約6割で最も高く、以下「40歳代」(25.0%)、「20歳代以下」(12.5%)となっている。

(n=8)



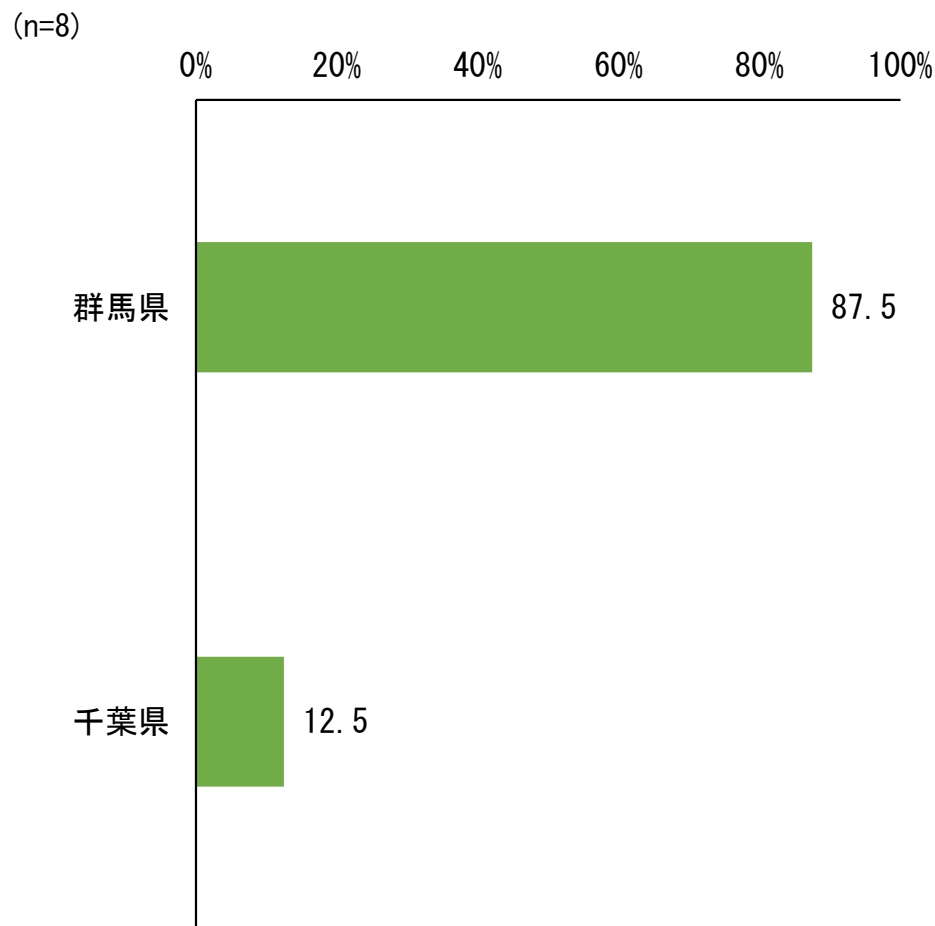
※無回答がある場合、無回答を除く

1. 回答者の属性

(3) 現住所

回答者を現住所別にみると、「群馬県」(87.5%)の割合が約8割台後半、残りは「千葉県」(12.5%)となっている。

また、市町村別の状況は、「群馬県」の「みなかみ町」が3件、「渋川市」が1件で、残りは無回答となっている。

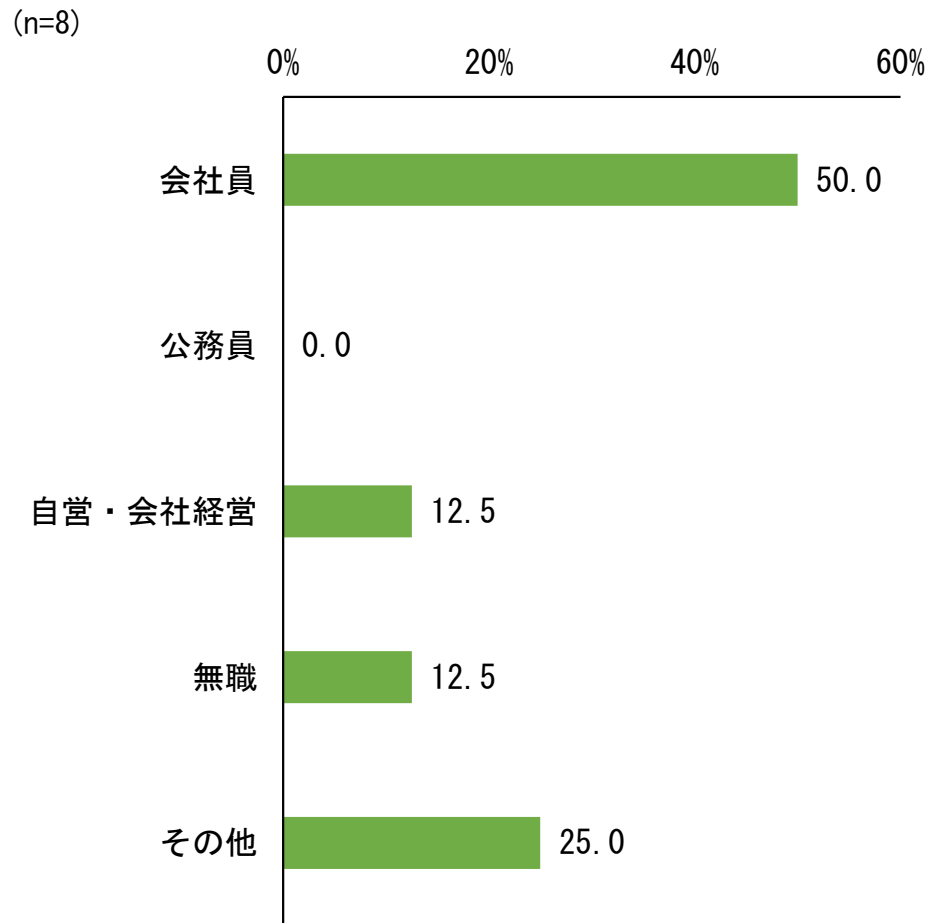


※無回答がある場合、無回答を除く

1. 回答者の属性

(4) 職業

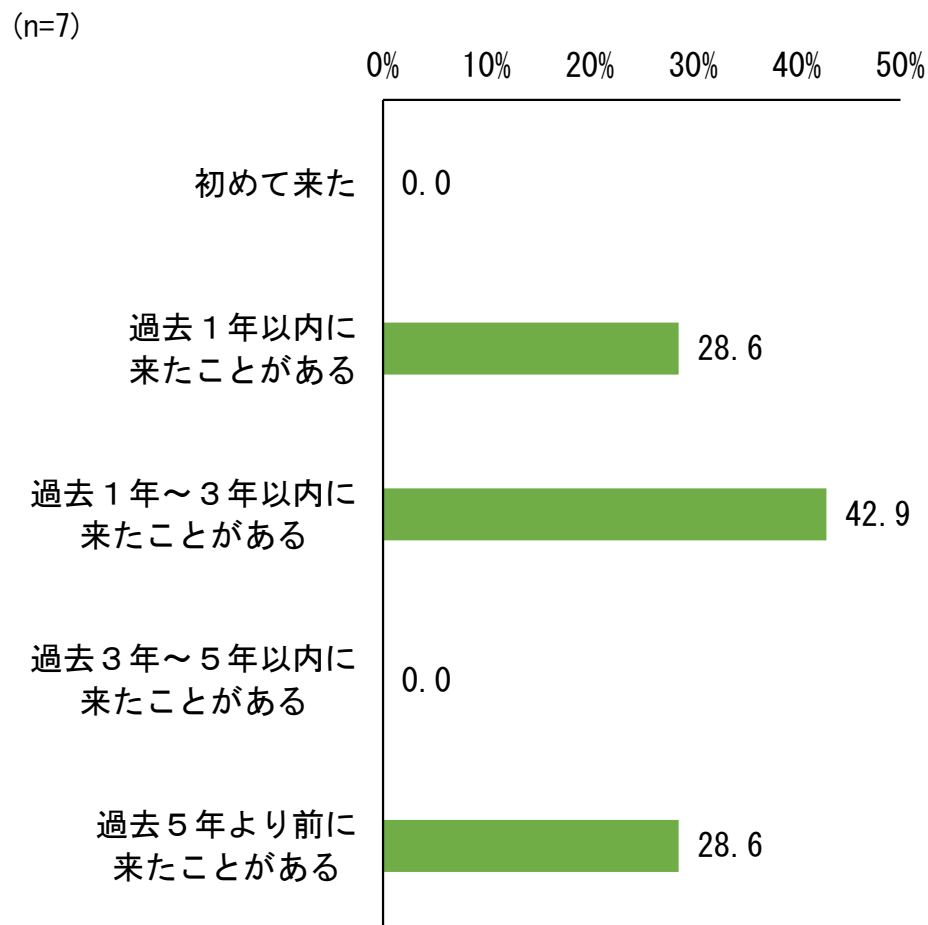
回答者を職業別にみると、「会社員」(50.0%)の割合が最も高く、以下「その他」(25.0%)、「自営・会社経営」と「無職」(各12.5%)となっている。



※無回答がある場合、無回答を除く

2. みなかみ町への来訪経験

これまでの“みなかみ町”への来訪経験を尋ねたところ、「過去1年～3年以内に来たことがある」（42.9％）の割合が4割台前半となっており、以下「過去1年以内に来たことがある」「過去5年より前に来たことがある」（各28.6％）となっている。

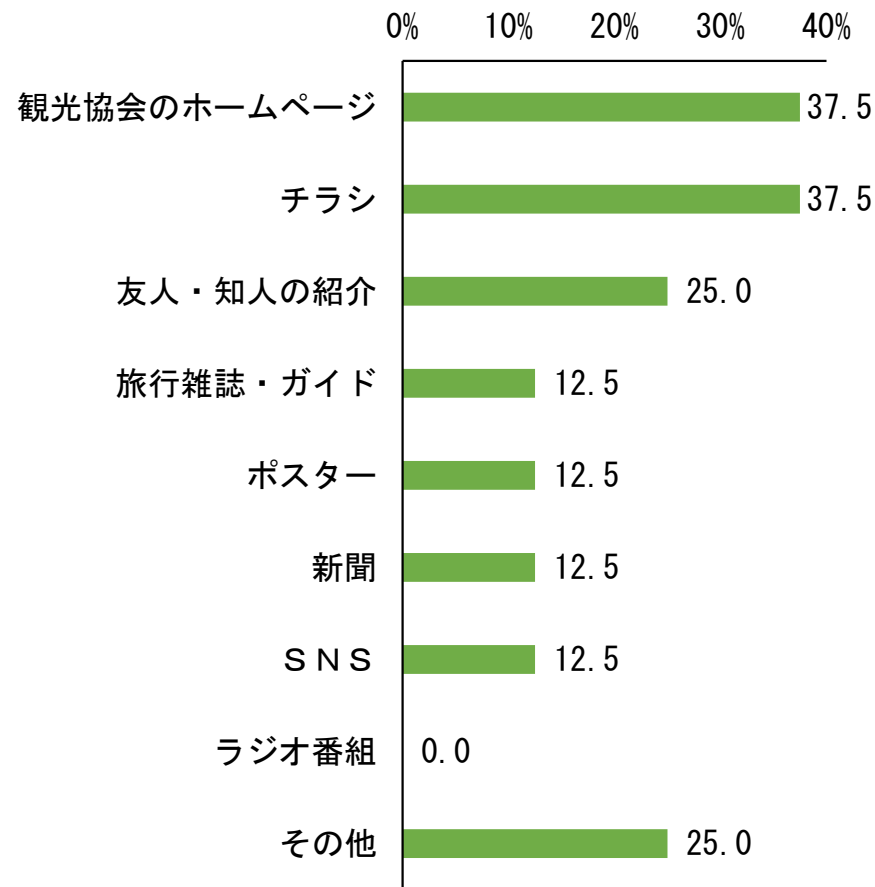


※無回答がある場合、無回答を除く

3. 本イベントの情報源

本イベントの開催を知るきっかけとなった情報源を尋ねたところ（複数回答）、「観光協会のホームページ」と「チラシ」（各37.5%）とする割合が3割台後半で最も高く、次いで「友人・知人の紹介」（25.0%）となっている。

(n=8)

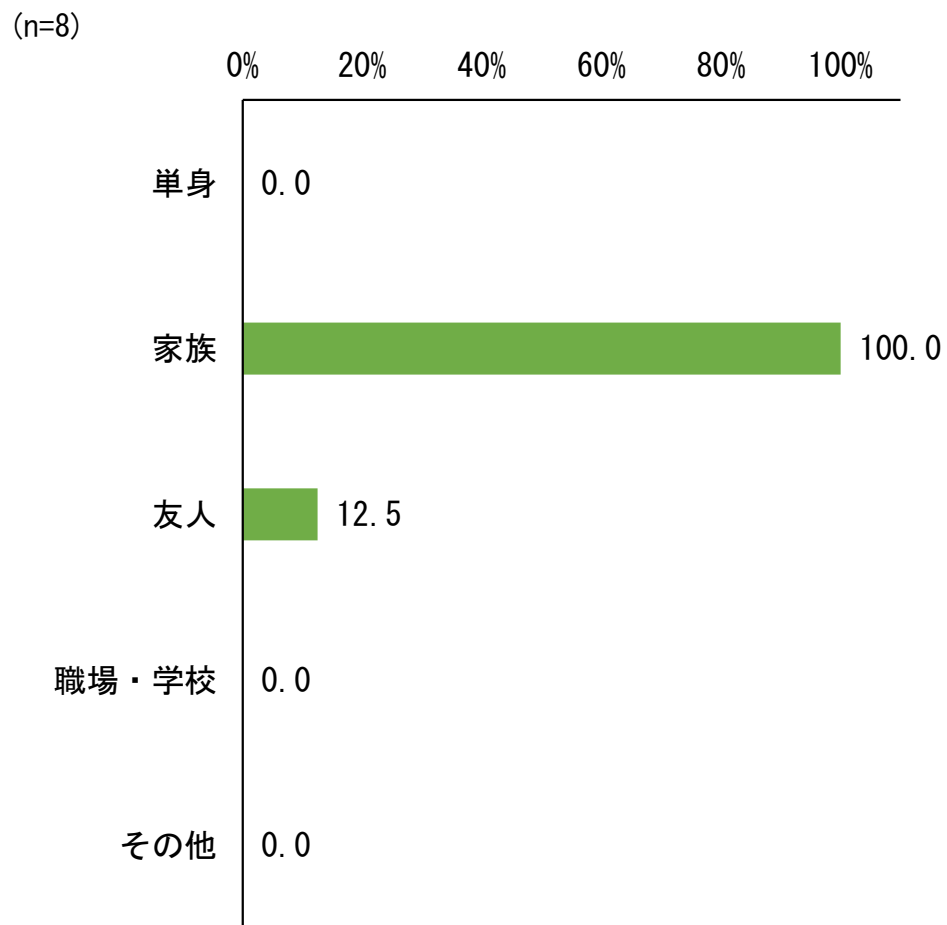


※無回答がある場合、無回答を除く

4. 本イベントへの同行者

(1) 同行者の属性

本イベントへの同行者の属性を尋ねたところ（複数回答）、「家族」（100.0%）と「友人」（12.5%）となっている。

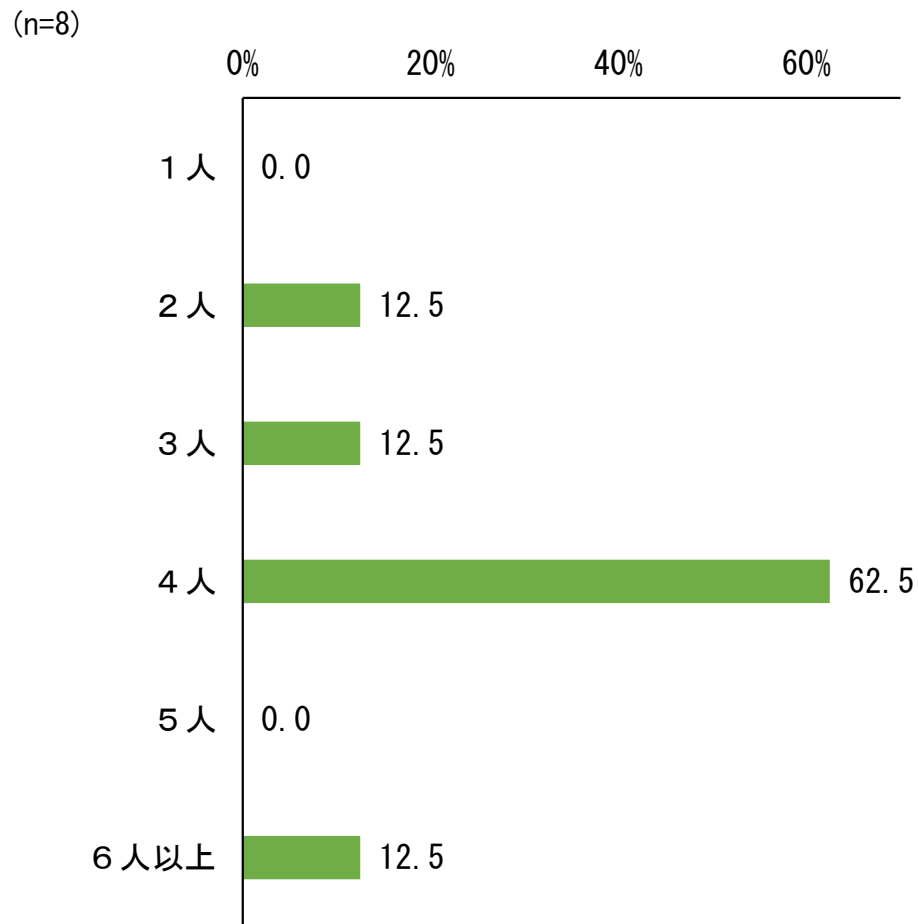


※無回答がある場合、無回答を除く

4. 本イベントへの同行者

(2) 同行者の人数

本イベントへの同行者の人数（回答者を含む）を尋ねたところ、「4人」（62.5%）の割合が6割台前半で最も高く、以下「2人」「3人」「6人以上」（各12.5%）となっている。

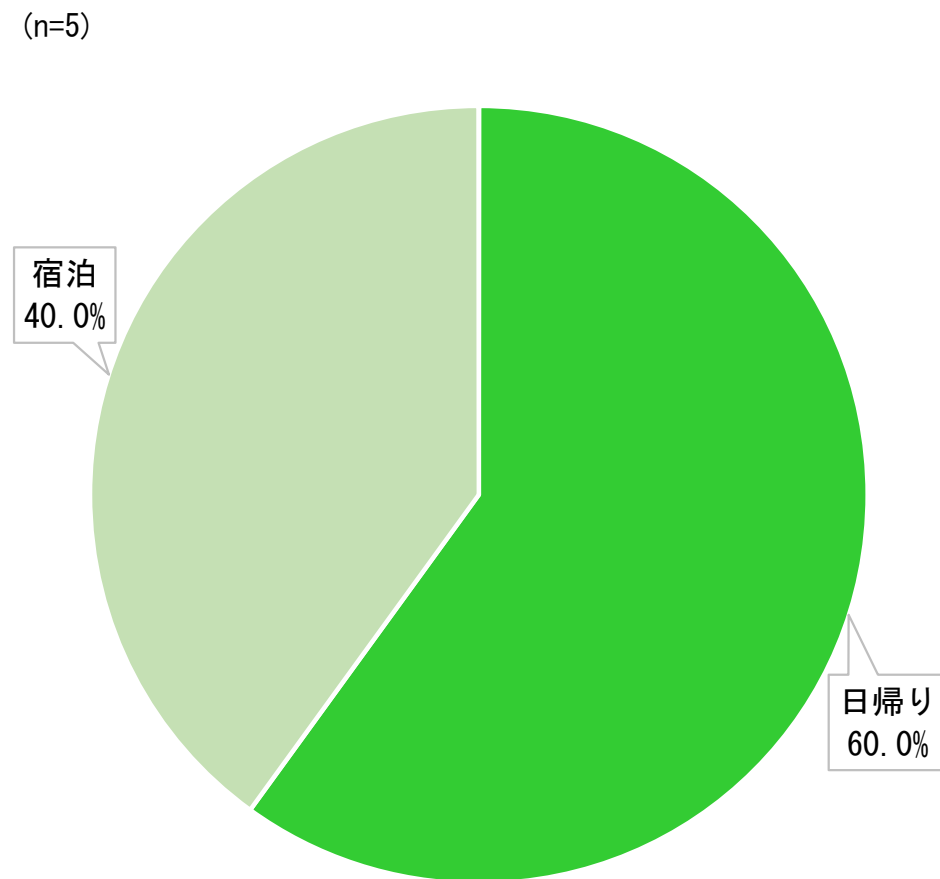


※無回答がある場合、無回答を除く

5. 日帰り・宿泊の状況

(1) 日帰り・宿泊の別

日帰り・宿泊の別を尋ねたところ、「日帰り」(60.0%)の割合が6割、「宿泊」(40.0%)の割合が4割となっている。



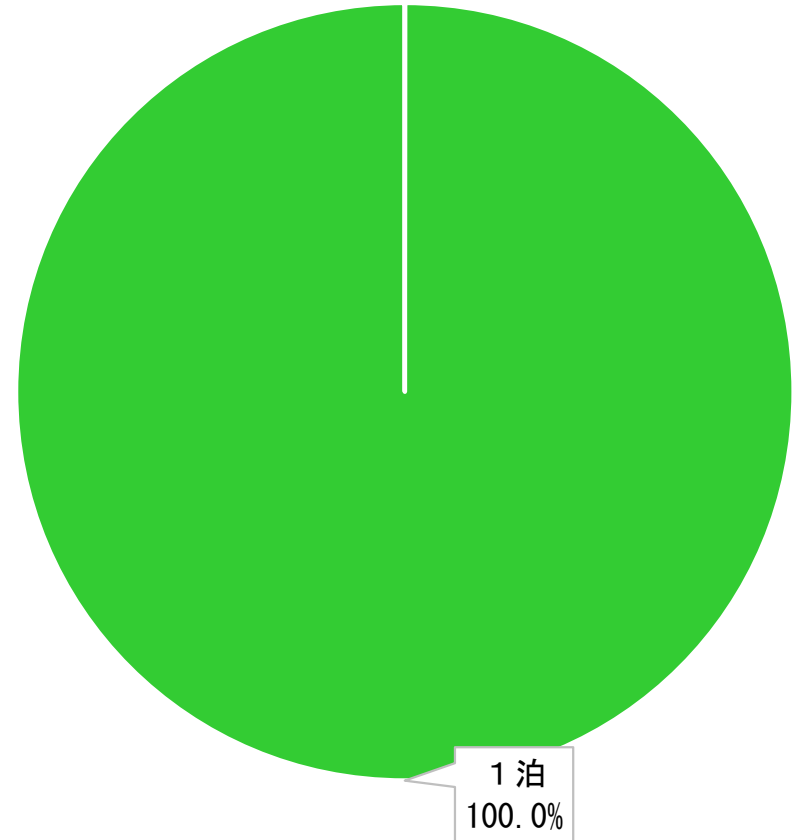
※無回答がある場合、無回答を除く

5. 日帰り・宿泊の状況

(2) 宿泊数

(1) で『宿泊』と回答した人に対し、宿泊数を尋ねたところ、「1泊」(100.0%)のみとなっている。

(n=2)



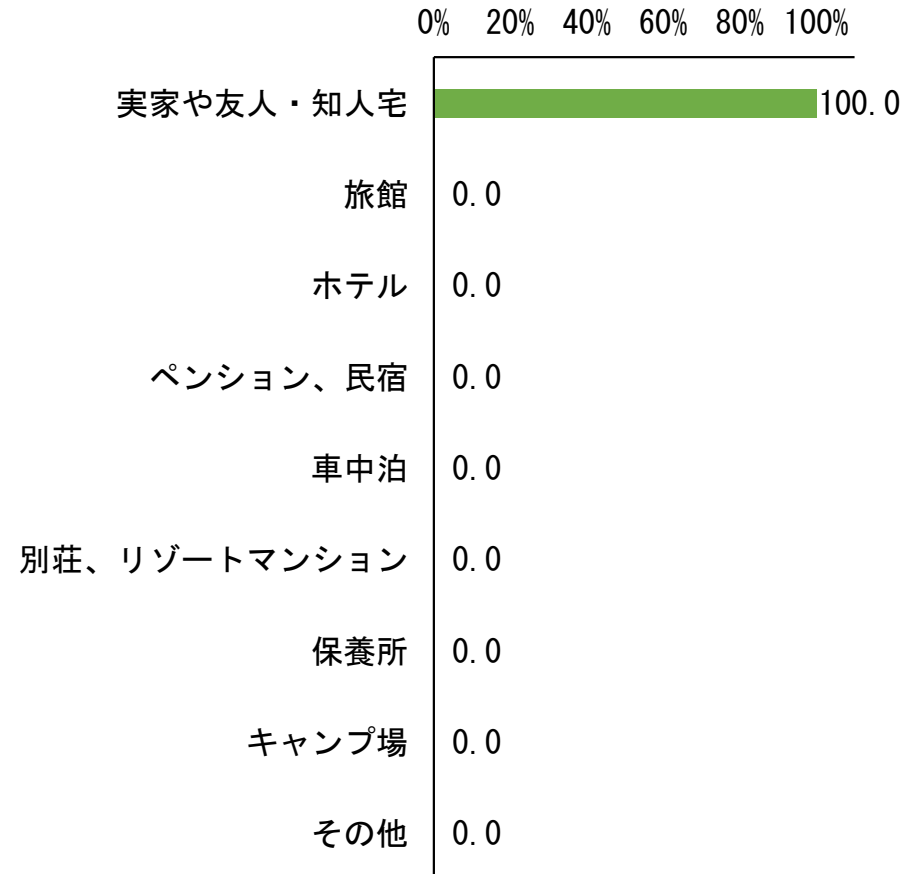
※無回答がある場合、無回答を除く

5. 日帰り・宿泊の状況

(3) 宿泊した施設

(1) で『宿泊』と回答した人に対し、宿泊した施設を尋ねたところ（複数回答）、「実家や友人・知人宅」（100.0%）のみとなっている。

(n=1)



※無回答がある場合、無回答を除く

6. 本イベント来訪に要した費用

本イベントに要した旅行費用を尋ねたところ、1人あたりの平均額で『日帰り客』が3,833円、『宿泊客』が1,750円、『日帰り客』と『宿泊客』を合わせた合計（参考）が3,313円となっている。

	日帰り客 (n=3)	宿泊客 (n=1)	合計（参考） (n=4)
交通費	1,750	500	1,438
宿泊費	-	0	0
土産代	250	750	375
飲食費	1,833	500	1,500
入場料	0	0	0
その他	0	0	0
合計	3,833	1,750	3,313

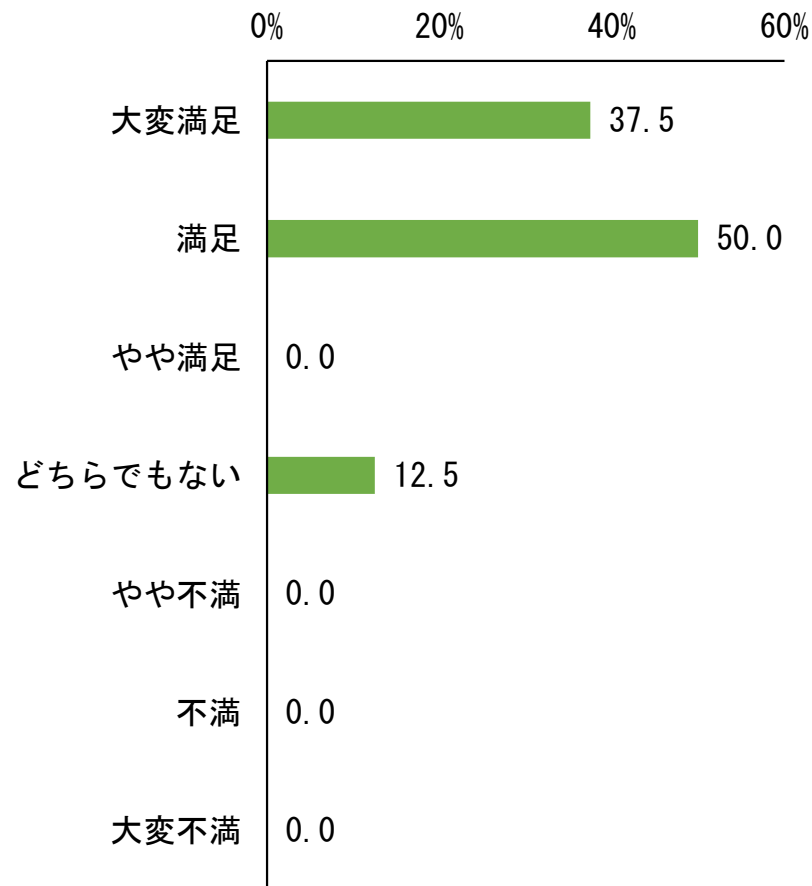
※無回答を除く。合計（参考）の宿泊費は宿泊客の平均である

7. 本イベントに対する評価と再来訪意向

(1) 本イベントに対する評価

本イベントに対する評価を尋ねたところ、「大変満足」(37.5%)と「満足」(50.0%)の割合を合わせると8割台後半となっている。残りは「どちらでもない」(12.5%)となっている。

(n=8)



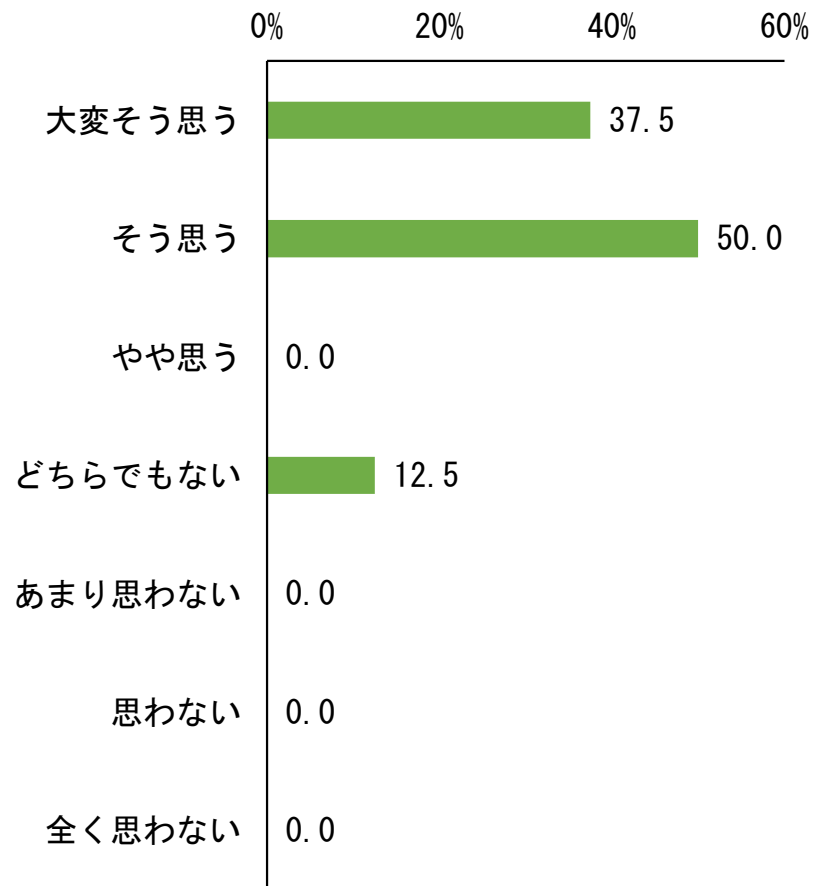
※無回答がある場合、無回答を除く

7. 本イベントに対する評価と再来訪意向

(2) 再来訪意向

本イベントへの再来訪意向を尋ねたところ、「大変満足」(37.5%)と「満足」(50.0%)の割合を合わせると8割台後半となっている。残りは「どちらでもない」(12.5%)となっている。

(n=8)



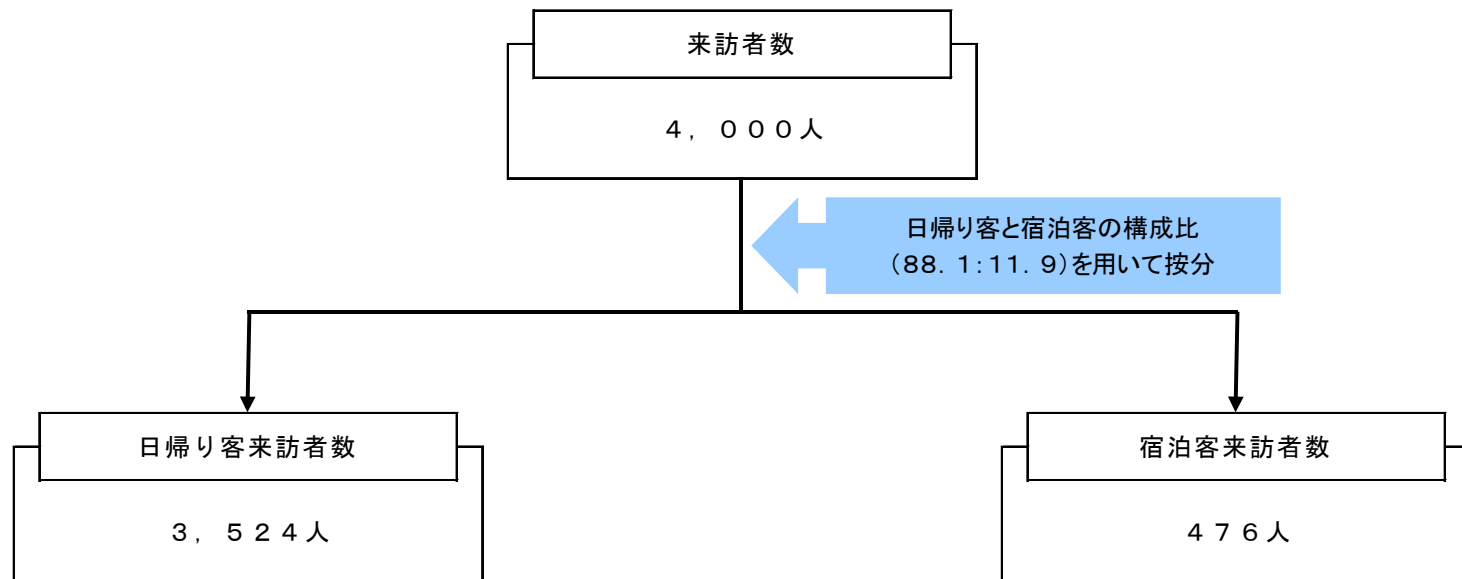
※無回答がある場合、無回答を除く

8. 経済波及効果の推計結果

(1) 消費支出額の推計

① 日帰り客と宿泊客の来訪者数の推計

本イベントの来訪者数は4,000人となっている。この来訪者数を群馬県観光局観光物産課「平成28年 観光客数・消費額調査（推計）結果」で公表されている群馬県内の観光入込客数の『日帰り客』と『宿泊客』の構成比（88.1：11.9）を用いて按分すると、『日帰り客』の来訪者数は3,524人、『宿泊客』の来訪者数は476人と推計される。



8. 経済波及効果の推計結果

② 来訪者 1 人あたりの消費支出額の推計（63頁の再掲）

来訪者 1 人あたりの消費支出には、交通費、宿泊費、土産代等が考えられる。来訪者へのアンケート調査の結果をもとに『日帰り客』『宿泊客』それぞれについて、費目ごとの 1 人あたりの消費支出額を推計する。

『日帰り客』『宿泊客』の費目ごとの消費支出額は以下の通りである。

	日帰り客 (n=3)	宿泊客 (n=1)	合計（参考） (n=4)
交通費	1,750	500	1,438
宿泊費	-	0	0
土産代	250	750	375
飲食費	1,833	500	1,500
入場料	0	0	0
その他	0	0	0
合計	3,833	1,750	3,313

※無回答を除く。合計（参考）の宿泊費は宿泊客の平均である。（再掲）

8. 経済波及効果の推計結果

③ 来訪者全体の消費支出額の推計

①で算定した『日帰り客』『宿泊客』それぞれの来訪者数に、②で算定した費目ごとの単価をそれぞれ乗じ、来訪者全体の費目ごとの消費支出額を推計する。『日帰り客』『宿泊客』それぞれの費目ごとの消費支出額は以下の通りで、来訪者全体の消費支出額は14,342千円と推計される。

(単位：千円)

	日帰り客 (3,524人)	宿泊客 (476人)
交通費	6,167	238
宿泊費	-	0
土産代	881	357
飲食費	6,461	238
入場料	0	0
その他	0	0
合計	13,509	833
消費支出額	14,342	

8. 経済波及効果の推計結果

(2) 推計モデルを使った経済波及効果の推計

(1)の③で算定された消費支出額を群馬県産業連関表の推計モデルに投入し、最終需要増加額と直接効果、1次・2次間接波及効果を推計し、経済波及効果を推計した。産業ごとの波及効果は以下の通りである。

なお、(1)の③で算定された消費支出額は14,342千円となるが、消費支出額から流通マージン(商業マージン及び国内貨物運賃)と、県外での交通費(交通費の1/2を県外で支出したとみなす)を控除した11,139千円が最終需要増加額となる。また、推計の計算手順は参考資料に掲載している。

(単位：千円)

部門分類	最終需要増加額	生産誘発額			
		直接効果	1次間接波及効果	2次間接波及効果	経済波及効果
農林水産業	168	43	60	13	116
鉱業	0	0	3	1	3
飲食品	740	96	143	45	284
繊維製品	154	2	1	1	3
パルプ・紙・木製品	15	2	21	4	28
化学製品	10	1	5	4	10
石油・石炭製品	712	19	13	3	35
プラスチック・ゴム	0	0	16	5	20
窯業・土石製品	17	2	2	1	5
鉄鋼	0	0	1	0	2
非鉄金属	0	0	1	0	1
金属製品	0	0	7	2	9
はん用機械	0	0	1	0	2
生産用機械	0	0	2	0	2
業務用機械	0	0	2	1	2
電子部品	0	0	6	2	8
電気機械	6	1	1	4	6
情報・通信機器	7	0	0	0	0
輸送機械	0	0	12	28	40

部門分類	最終需要増加額	生産誘発額			
		直接効果	1次間接波及効果	2次間接波及効果	経済波及効果
その他の製造工業製品	121	24	22	10	56
建設	0	0	86	34	120
電力・ガス・熱供給	0	0	189	58	248
水道	0	0	78	19	98
廃棄物処理	0	0	71	6	77
商業	0	304	341	223	868
金融・保険	0	0	92	134	225
不動産	0	0	169	544	713
運輸・郵便	2,428	1,803	370	107	2,280
情報通信	0	0	109	71	180
公務	0	0	11	6	18
教育・研究	0	0	13	38	51
医療・福祉	0	0	3	103	106
その他の非営利団体サービス	0	0	31	27	58
対事業所サービス	62	38	457	93	587
对个人サービス	6,699	5,684	77	264	6,026
事務用品	0	0	19	3	23
分類不明	0	0	49	11	60
全産業合計	11,139	8,019	2,485	1,865	12,370

8. 経済波及効果の推計結果

(3) 経済波及効果の推計結果

推計の手順としては、はじめに消費支出額から直接効果の推計を行ない、その直接効果に基づいて産業連関表を利用した1次間接波及効果(直接効果によって生じた原材料の他産業への経済波及効果)と2次間接波及効果(直接効果と1次間接波及効果によって生じた雇用者所得が消費に向かうことによる経済波及効果)を算出した。

群馬県産業連関表を利用した推計の結果、本イベントの開催がもたらした群馬県内への経済波及効果は、1次間接波及効果2,485千円、2次間接波及効果が1,865千円となり、直接効果8,019千円と合わせた経済波及効果の総額は12,370千円と算定された。

ただし、経済波及効果の推計結果における注意点として、アンケート調査の回答者(特に宿泊客)のサンプル数が少ないため、来訪者全体の傾向を反映していない可能性があることに留意する必要がある。

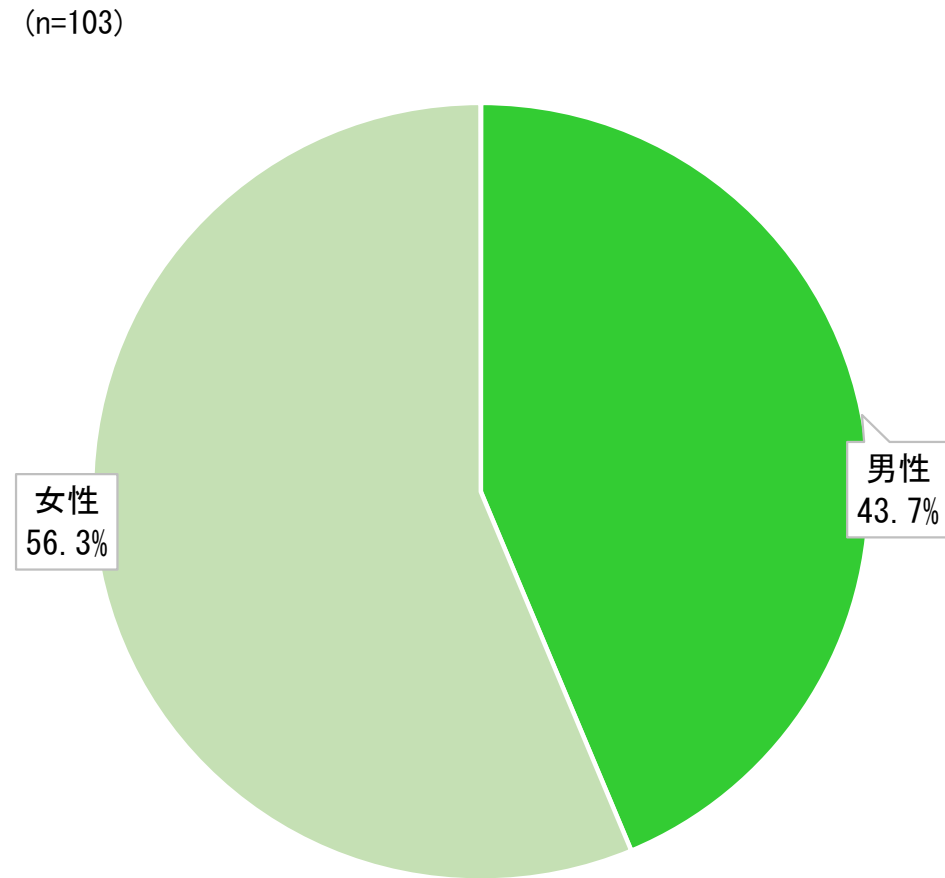
	推計金額
①直接効果	8,019 千円
②1次間接波及効果	2,485 千円
③2次間接波及効果	1,865 千円
④経済波及効果 総額 (①+②+③)	12,370 千円
⑤生産誘発倍率 (④÷①)	1.54 倍

V. 谷川岳山の日イベント

1. 回答者の属性

(1) 性別

回答者を性別で見ると、「男性」(43.7%)が4割台半ば、「女性」(56.3%)が5割台半ばとなっている。



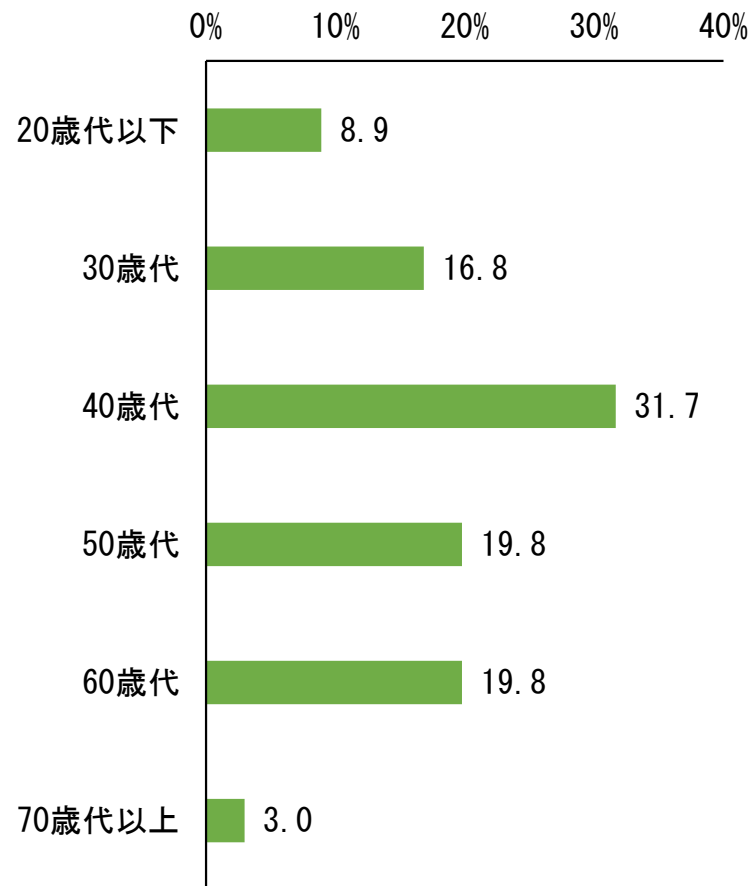
※無回答がある場合、無回答を除く

1. 回答者の属性

(2) 年代別

回答者を年代別で見ると、「40歳代」(31.7%)の割合が約3割台前半で最も高く、以下「50歳代」と「60歳代」(各19.8%)、「30歳代」(16.8%)、「20歳代以下」(8.9%)などとなっている。

(n=101)



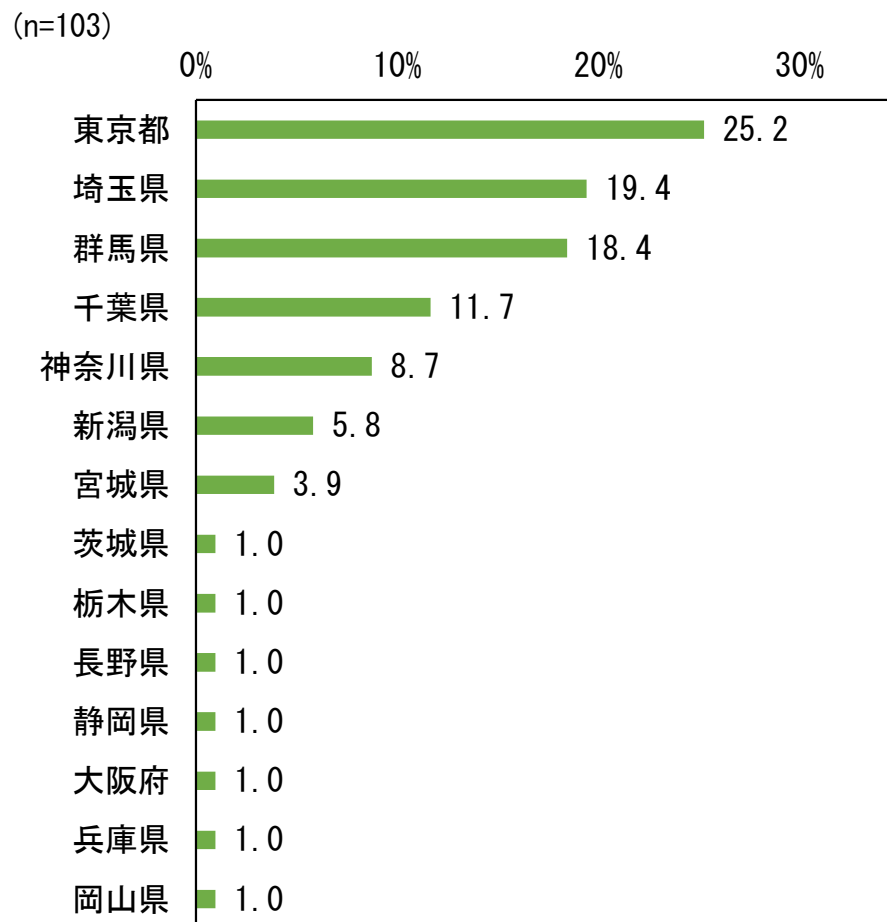
※無回答がある場合、無回答を除く

1. 回答者の属性

(3) 現住所

回答者を現住所別にみると、「東京都」(25.2%)の割合が2割台半ばで最も高く、以下「埼玉県」(19.4%)、「群馬県」(18.4%)、「千葉県」(11.7%)などとなっている。

また、市町村別の状況は次頁のとおりとなっている。



※無回答がある場合、無回答を除く

1. 回答者の属性

都道府県	市町村	度数
茨城県	無回答	1
栃木県	那須塩原市	2
	下野市	1
	佐野市	1
	宇都宮市	1
	足利市	1
	無回答	2
	群馬県	吉岡町
みなかみ町		2
みどり市		2
前橋市		19
藤岡市		3
東吾妻郡		1
沼田市		3
富岡市		1
館林市		3
高崎市		20
昭和村		1
渋川市		4
桐生市		1
甘楽町		1
太田市		6
伊勢崎市		9
安中市		1
無回答	10	

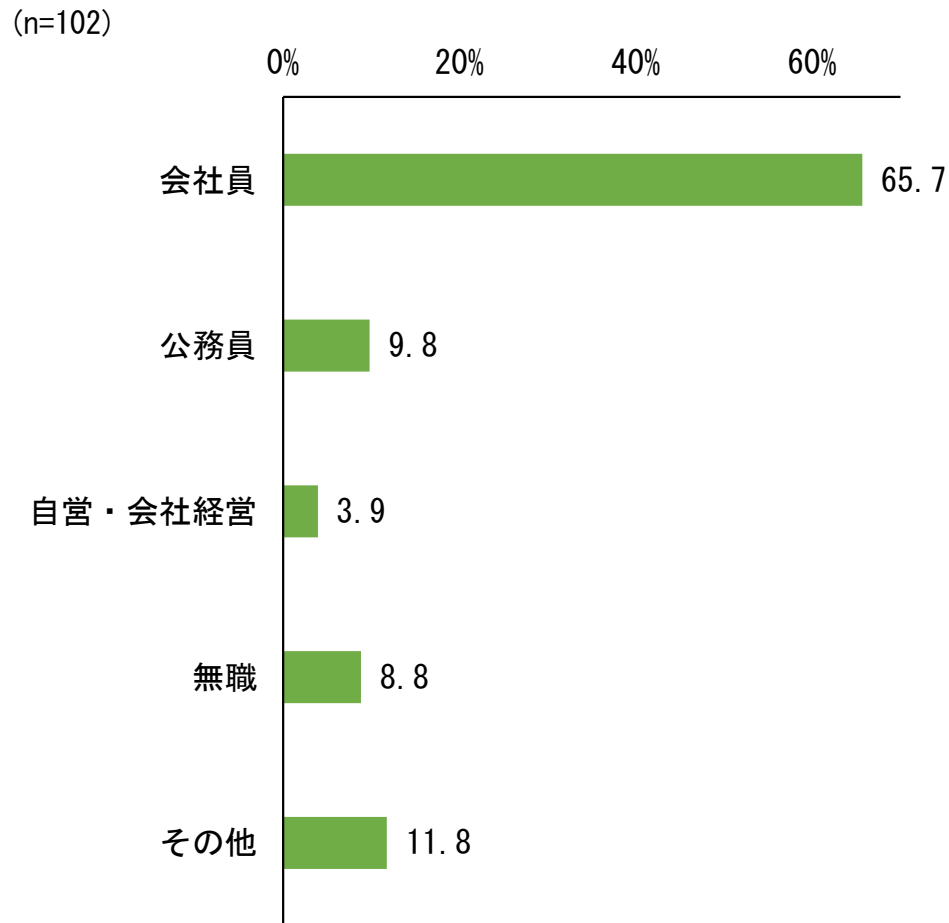
都道府県	市町村	度数
埼玉県	和光市	1
	所沢市	1
	越谷市	1
	行田市	1
	川越市	1
	春日部市	2
	伊奈町	1
	上尾市	1
	無回答	10
	千葉県	流山市
柏市		1
市川市		1
我孫子市		1
無回答		8
東京都		三鷹市
	町田市	1
	府中市	1
	練馬区	2
	江戸川区	1
	足立区	1
	無回答	22
神奈川県	横浜市	4
	藤沢市	1
	茅ヶ崎市	1
	相模原市	2

都道府県	市町村	度数
神奈川県	無回答	2
新潟県	新潟市	2
	無回答	2
山梨県	無回答	3
長野県	無回答	1
静岡県	藤枝市	1
	無回答	1

1. 回答者の属性

(4) 職業

回答者を職業別にみると、「会社員」(65.7%)の割合が6割台半ばで最も高く、以下「その他」(11.8%)、「公務員」(9.8%)、「無職」(8.8%)などとなっている。

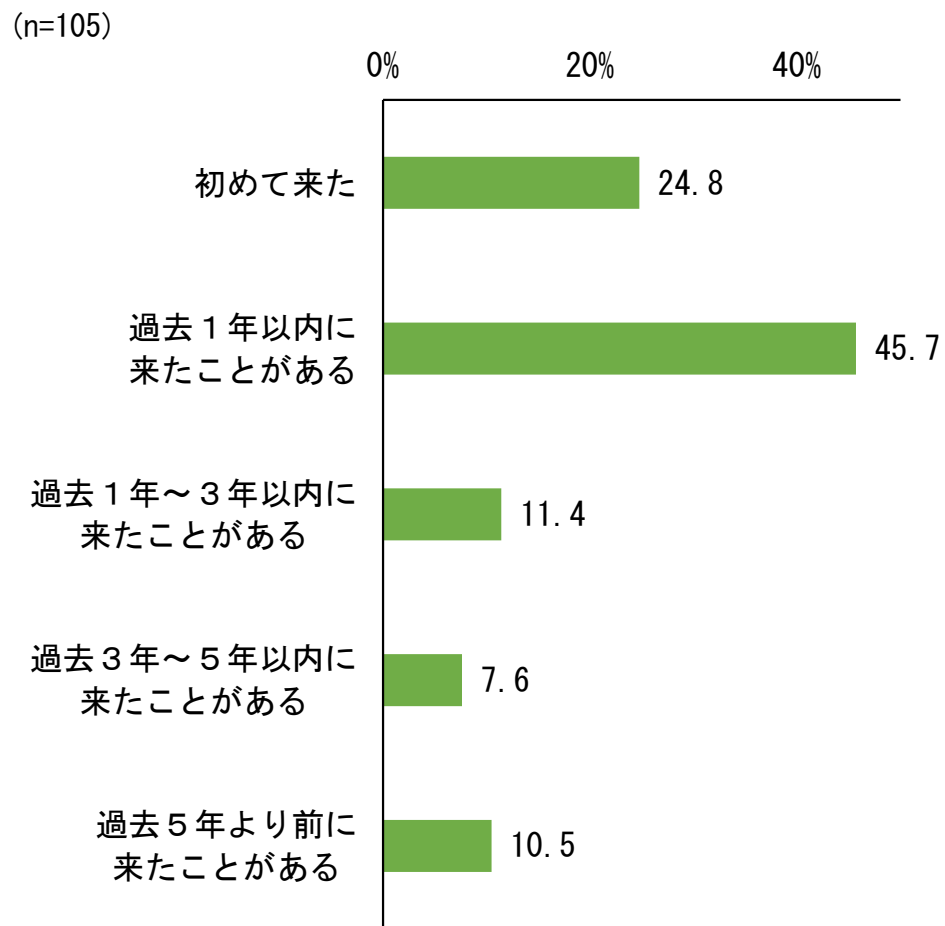


※無回答がある場合、無回答を除く

2. みなかみ町への来訪経験

これまでの“みなかみ町”への来訪経験を尋ねたところ、「初めて来た」（24.8%）とする割合が2割台半ばとなっている。

一方、「過去1年以内に来たことがある」（45.7%）の割合が4割台半ばとなっており、以下「過去1年～3年以内に来たことがある」（11.4%）、「過去3年～5年以内に来たことがある」（7.6%）、「過去5年より前に来たことがある」（10.5%）などとなっている。

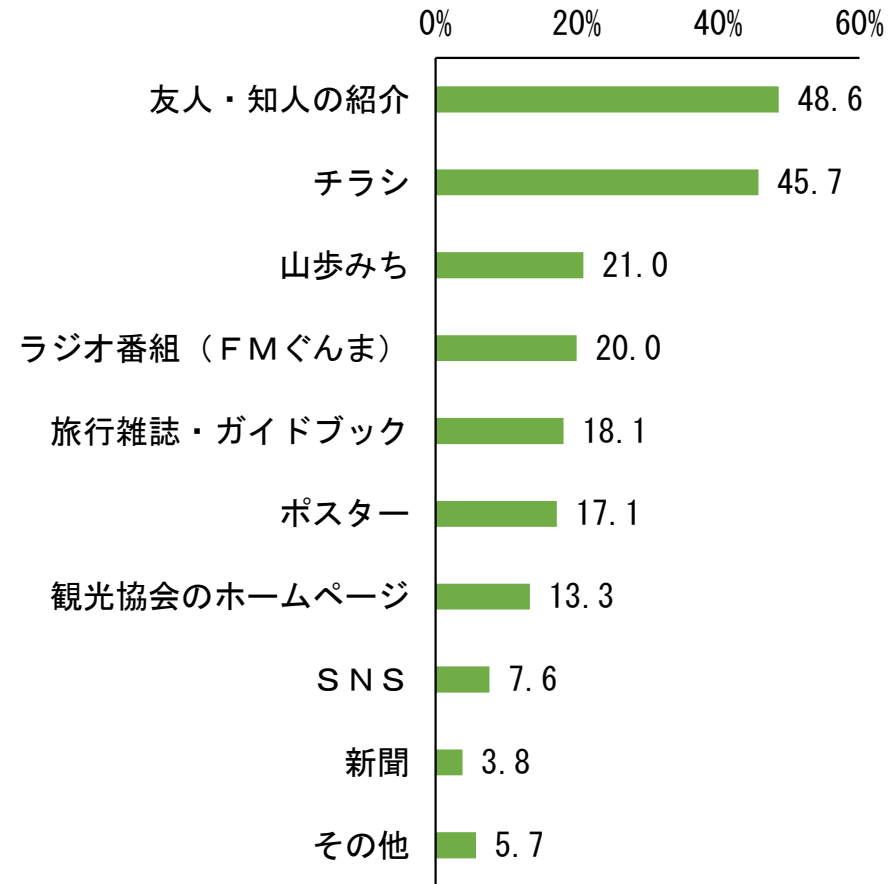


※無回答がある場合、無回答を除く

3. 本イベントの情報源

本イベントの開催を知るきっかけとなった情報源を尋ねたところ（複数回答）、「友人・知人の紹介」（48.6%）と「チラシ」（45.7%）の割合が高くなっている。以下「山歩みち」（21.0%）、「ラジオ番組（FMぐんま）」（20.0%）、「ポスター」（17.1%）、「観光協会のホームページ」（13.3%）などとなっている。

(n=105)

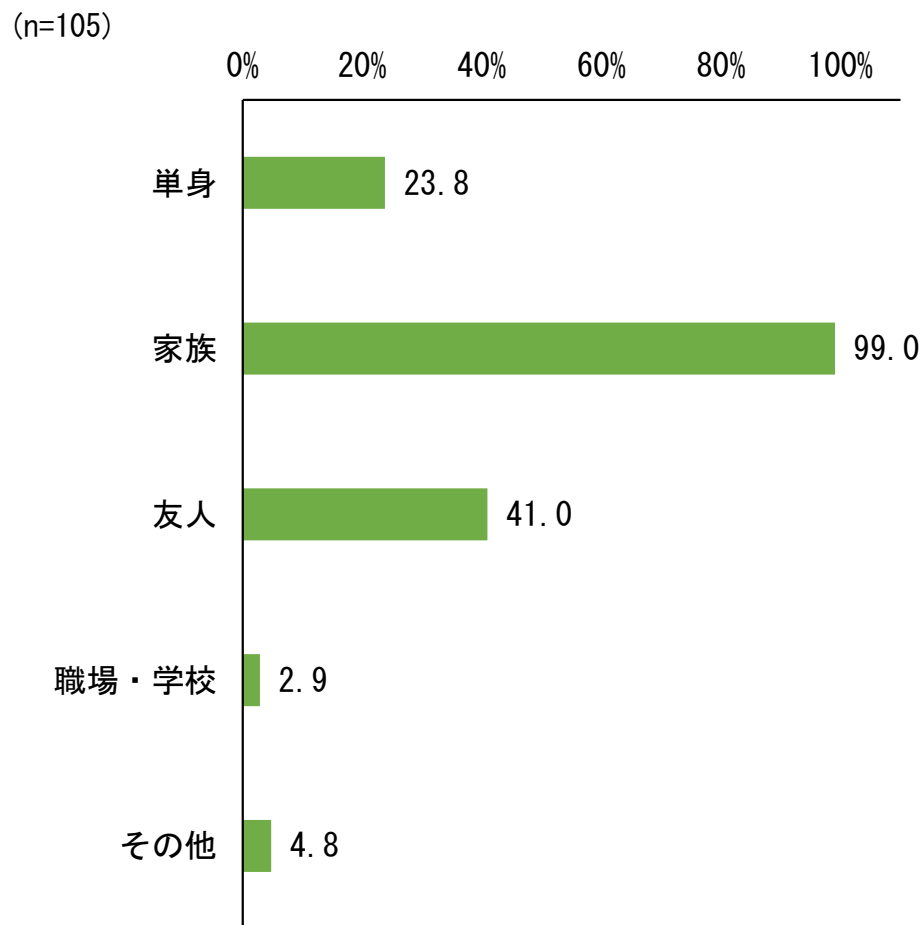


※無回答がある場合、無回答を除く

4. 本イベントへの同行者

(1) 同行者の属性

本イベントへの同行者の属性を尋ねたところ（複数回答）、「家族」（99.0%）の割合が最も高く、以下「友人」（41.0%）、「单身」（23.8%）などとなっている。

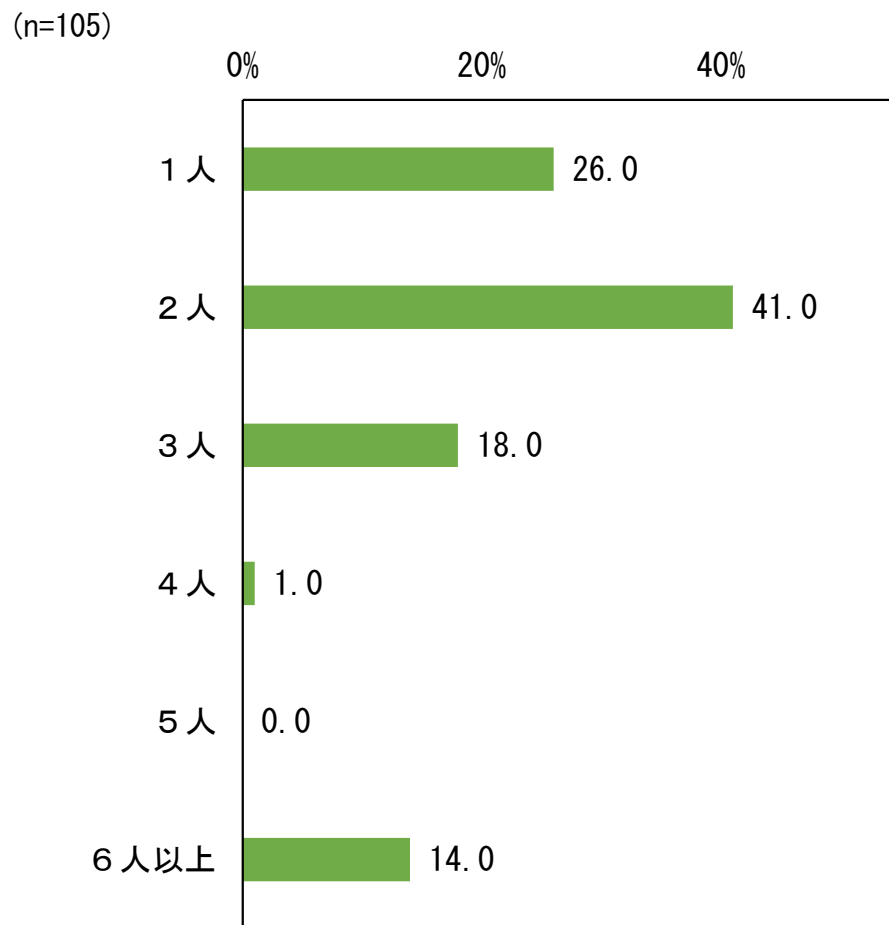


※無回答がある場合、無回答を除く

4. 本イベントへの同行者

(2) 同行者の人数

本イベントへの同行者の人数（回答者を含む）を尋ねたところ、「2人」（41.0%）の割合が約4割で最も高く、以下「1人」（26.0%）、「3人」（18.0%）、「6人以上」（14.0%）などとなっている。



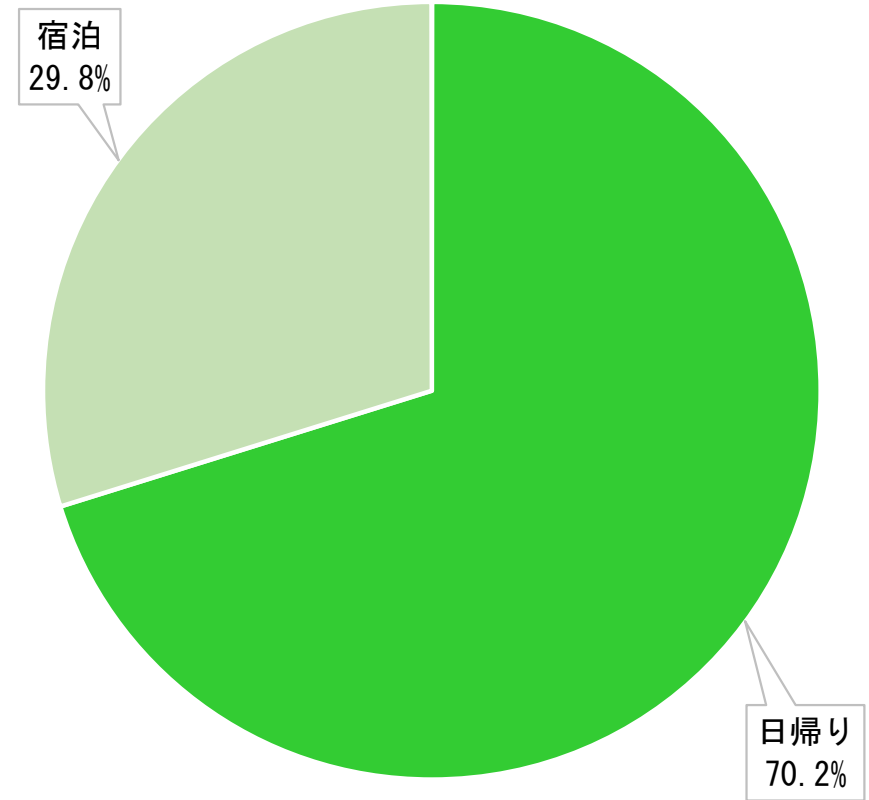
※無回答がある場合、無回答を除く

5. 日帰り・宿泊の状況

(1) 日帰り・宿泊の別

日帰り・宿泊の別を尋ねたところ、「日帰り」(70.2%)の割合が約7割、「宿泊」(29.8%)の割合が約3割となっている。

(n=104)

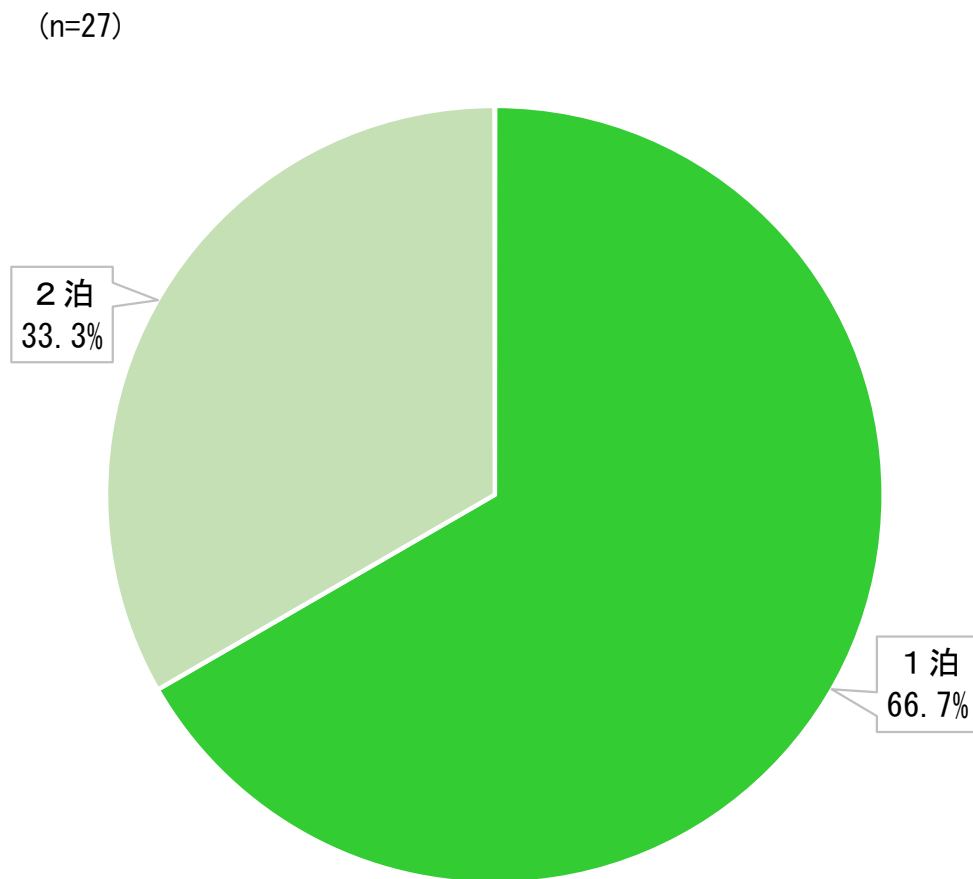


※無回答がある場合、無回答を除く

5. 日帰り・宿泊の状況

(2) 宿泊数

(1) で『宿泊』と回答した人に対し、宿泊数を尋ねたところ、「1泊」(66.7%)が6割台半ば、「2泊」(33.3%)が3割台前半となっている。



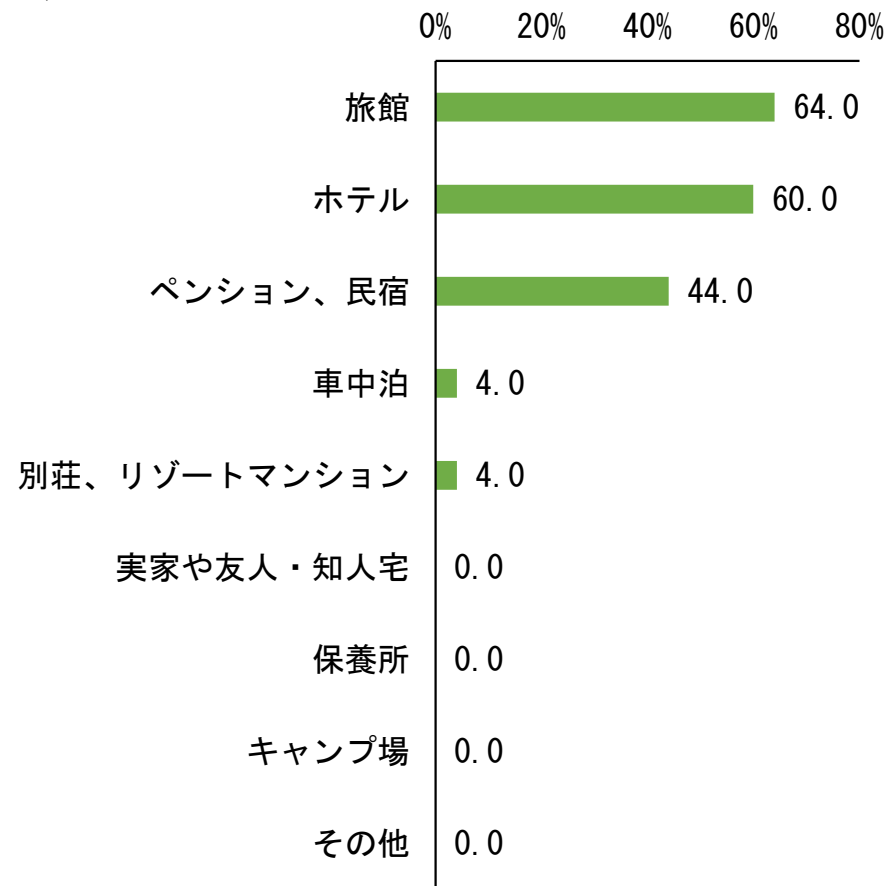
※無回答がある場合、無回答を除く

5. 日帰り・宿泊の状況

(3) 宿泊した施設

(1) で『宿泊』と回答した人に対し、宿泊した施設を尋ねたところ（複数回答）、「旅館」（64.0%）と「ホテル」（60.0%）がそれぞれ6割台で高くなっている。次いで「ペンション、民宿」（44.0%）が4割台半ばなどとなっている。

(n=25)



※無回答がある場合、無回答を除く

6. 本イベント来訪に要した費用

本イベントに要した旅行費用を尋ねたところ、1人あたりの平均額で『日帰り客』が4,916円、『宿泊客』が28,003円、『日帰り客』と『宿泊客』を合わせた合計（参考）が23,282円となっている。

	日帰り客 (n=68)	宿泊客 (n=27)	合計（参考） (n=95)
交通費	3,401	6,531	4,290
宿泊費	-	16,491	16,491
土産代	477	1,796	852
飲食費	730	1,871	1,054
入場料	160	1,075	420
その他	149	238	174
合計	4,916	28,003	23,282

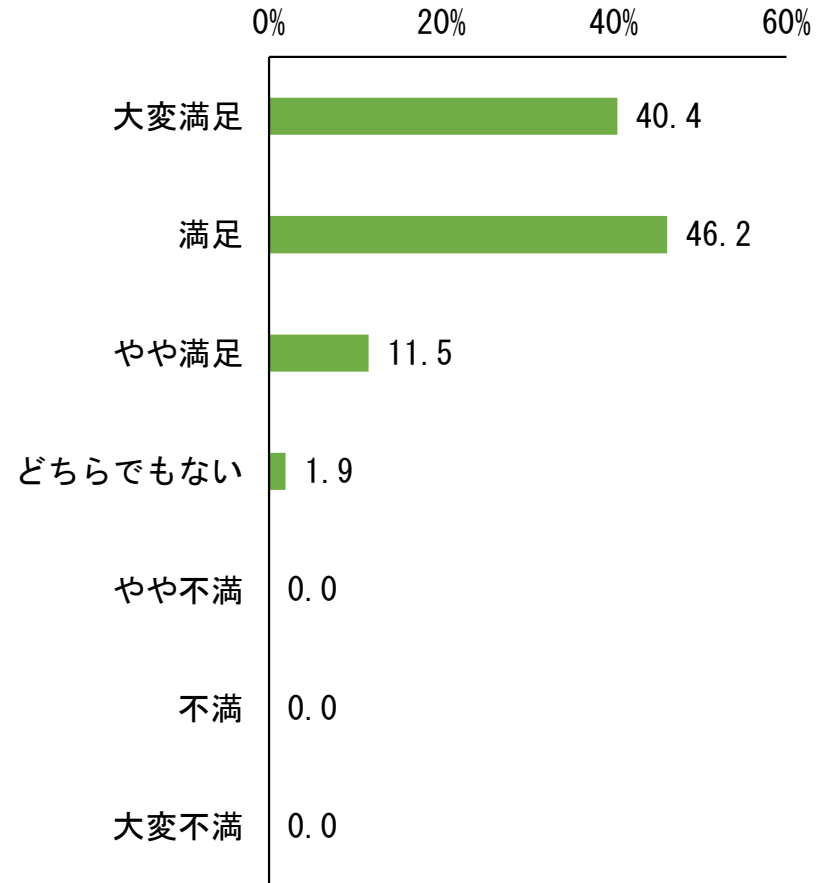
※無回答を除く。合計（参考）の宿泊費は宿泊客の平均である

7. 本イベントに対する評価と再来訪意向

(1) 本イベントに対する評価

本イベントに対する評価を尋ねたところ、「大変満足」(40.4%)と「満足」(46.2%)の割合を合わせると8割台半ばとなっている。残りは「やや満足」(11.5%)、「どちらでもない」(1.9%)となっている。

(n=104)

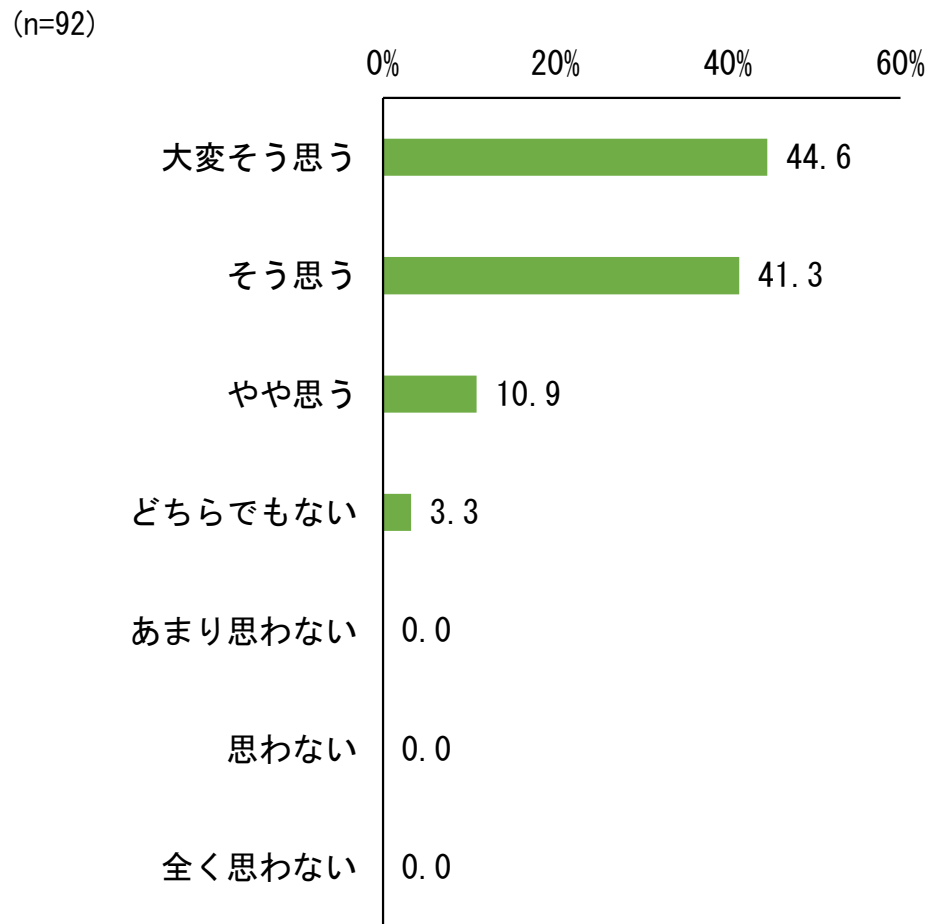


※無回答がある場合、無回答を除く

7. 本イベントに対する評価と再来訪意向

(2) 再来訪意向

本イベントへの再来訪意向を尋ねたところ、「大変そう思う」(44.6%)と「そう思う」(41.3%)の割合を合わせると8割台半ばとなっている。残りは「やや思う」(10.9%)、「どちらでもない」(3.3%)となっている。



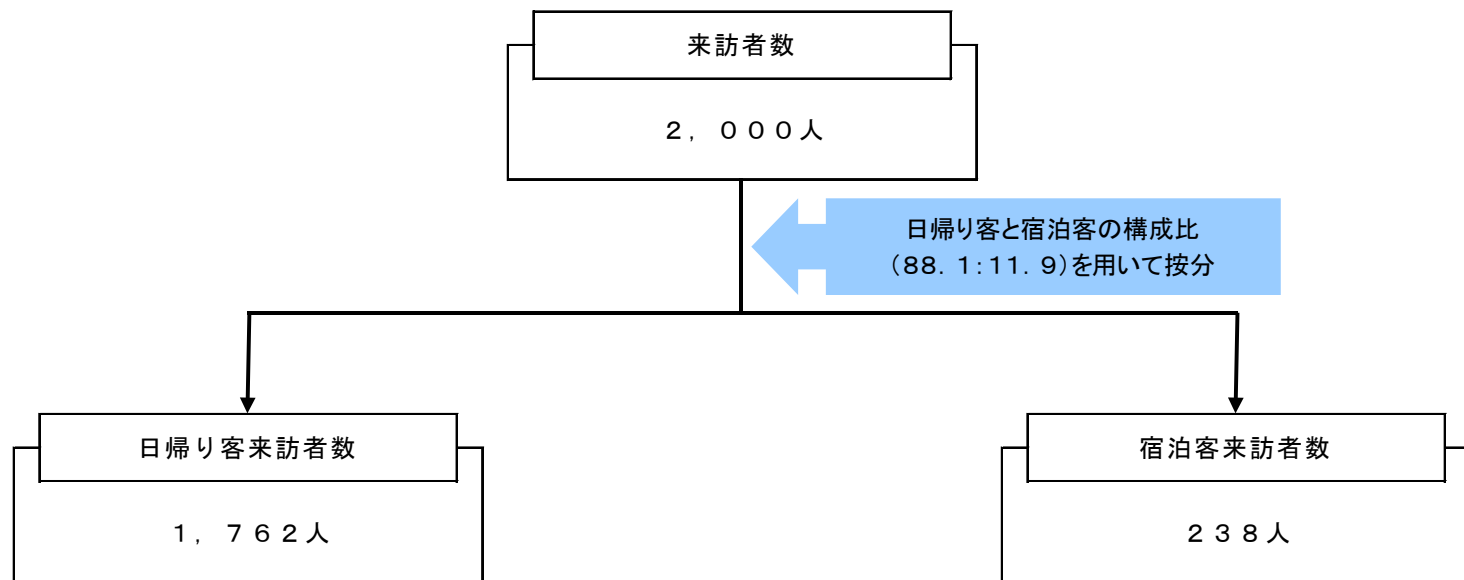
※無回答がある場合、無回答を除く

8. 経済波及効果の推計結果

(1) 消費支出額の推計

① 日帰り客と宿泊客の来訪者数の推計

本イベントの来訪者数は2,000人となっている。この来訪者数を群馬県観光局観光物産課「平成28年 観光客数・消費額調査（推計）結果」で公表されている群馬県内の観光入込客数の『日帰り客』と『宿泊客』の構成比（88.1：11.9）を用いて按分すると、『日帰り客』の来訪者数は1,762人、『宿泊客』の来訪者数は238人と推計される。



8. 経済波及効果の推計結果

②来訪者 1 人あたりの消費支出額の推計（84頁の再掲）

来訪者 1 人あたりの消費支出には、交通費、宿泊費、土産代等が考えられる。来訪者へのアンケート調査の結果をもとに『日帰り客』『宿泊客』それぞれについて、費目ごとの 1 人あたりの消費支出額を推計する。

『日帰り客』『宿泊客』の費目ごとの消費支出額は以下の通りである。

	日帰り客 (n=68)	宿泊客 (n=27)	合計（参考） (n=95)
交通費	3,401	6,531	4,290
宿泊費	-	16,491	16,491
土産代	477	1,796	852
飲食費	730	1,871	1,054
入場料	160	1,075	420
その他	149	238	174
合計	4,916	28,003	23,282

※無回答を除く。合計（参考）の宿泊費は宿泊客の平均である。（再掲）

8. 経済波及効果の推計結果

③ 来訪者全体の消費支出額の推計

①で算定した『日帰り客』『宿泊客』それぞれの来訪者数に、②で算定した費目ごとの単価をそれぞれ乗じ、来訪者全体の費目ごとの消費支出額を推計する。『日帰り客』『宿泊客』それぞれの費目ごとの消費支出額は以下の通りで、来訪者全体の消費支出額は15,328千円と推計される。

(単位：千円)

	日帰り客 (1,762人)	宿泊客 (238人)
交通費	5,992	1,554
宿泊費	-	3,925
土産代	841	428
飲食費	1,286	445
入場料	282	256
その他	262	57
合計	8,663	6,665
消費支出額	15,328	

8. 経済波及効果の推計結果

(2) 推計モデルを使った経済波及効果の推計

(1)の③で算定された消費支出額を群馬県産業連関表の推計モデルに投入し、最終需要増加額と直接効果、1次・2次間接波及効果を推計し、経済波及効果を推計した。産業ごとの波及効果は以下の通りである。

なお、(1)の③で算定された消費支出額は15,328千円となるが、消費支出額から流通マージン(商業マージン及び国内貨物運賃)と、県外での交通費(交通費の1/2を県外で支出したとみなす)を控除した11,554千円が最終需要増加額となる。また、推計の計算手順は参考資料に掲載している。

(単位：千円)

部門分類	最終需要増加額	生産誘発額			
		直接効果	1次間接波及効果	2次間接波及効果	経済波及効果
農林水産業	178	45	57	14	116
鉱業	0	0	3	1	3
飲食品	762	99	135	47	281
繊維製品	155	2	1	1	3
パルプ・紙・木製品	15	2	22	4	29
化学製品	11	1	6	4	11
石油・石炭製品	774	21	15	3	39
プラスチック・ゴム	0	0	16	5	21
窯業・土石製品	18	2	2	1	5
鉄鋼	0	0	1	0	2
非鉄金属	0	0	1	1	1
金属製品	0	0	8	2	10
はん用機械	0	0	2	0	2
生産用機械	0	0	2	0	2
業務用機械	0	0	2	1	2
電子部品	0	0	6	2	9
電気機械	6	1	2	4	6
情報・通信機器	8	0	0	0	0
輸送機械	0	0	14	29	43

部門分類	最終需要増加額	生産誘発額			
		直接効果	1次間接波及効果	2次間接波及効果	経済波及効果
その他の製造工業製品	123	25	22	10	57
建設	0	0	90	36	126
電力・ガス・熱供給	0	0	185	61	247
水道	0	0	78	20	98
廃棄物処理	0	0	68	6	74
商業	0	317	339	233	889
金融・保険	0	0	99	140	238
不動産	0	0	174	568	742
運輸・郵便	2,975	2,203	385	112	2,699
情報通信	2	1	111	74	186
公務	0	0	12	7	19
教育・研究	78	62	14	40	115
医療・福祉	43	43	5	108	156
その他の非営利団体サービス	13	13	30	28	72
対事業所サービス	109	67	499	97	663
对个人サービス	6,284	5,332	74	276	5,682
事務用品	0	0	20	3	23
分類不明	0	0	53	11	65
全産業 合計	11,554	8,235	2,551	1,949	12,735

8. 経済波及効果の推計結果

(3) 経済波及効果の推計結果

推計の手順としては、はじめに消費支出額から直接効果の推計を行ない、その直接効果に基づいて産業連関表を利用した1次間接波及効果(直接効果によって生じた原材料の他産業への経済波及効果)と2次間接波及効果(直接効果と1次間接波及効果によって生じた雇用者所得が消費に向かうことによる経済波及効果)を算出した。

群馬県産業連関表を利用した推計の結果、本イベントの開催がもたらした群馬県内への経済波及効果は、1次間接波及効果2,551千円、2次間接波及効果が1,949千円となり、直接効果8,019千円と合わせた経済波及効果の総額は12,735千円と算定された。

	推計金額
①直接効果	8,235 千円
②1次間接波及効果	2,551 千円
③2次間接波及効果	1,949 千円
④経済波及効果 総額 (①+②+③)	12,735 千円
⑤生産誘発倍率 (④÷①)	1.55 倍

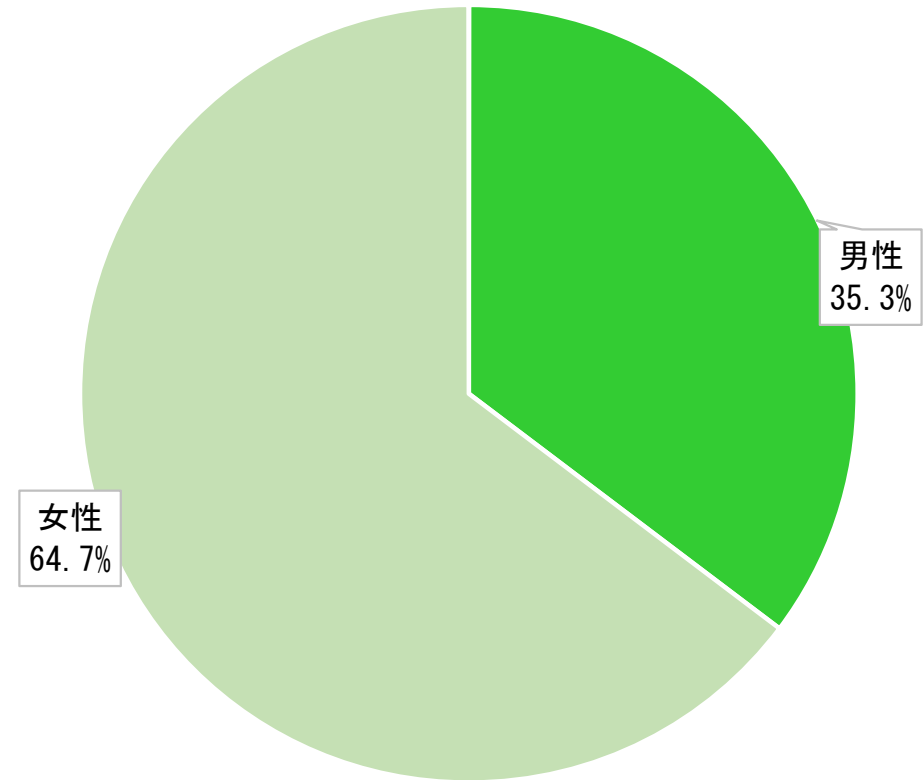
VI. 赤谷湖花火大会

1. 回答者の属性

(1) 性別

回答者を性別で見ると、「男性」(35.3%)が3割台半ば、「女性」(64.7%)が6割台半ばとなっている。

(n=34)



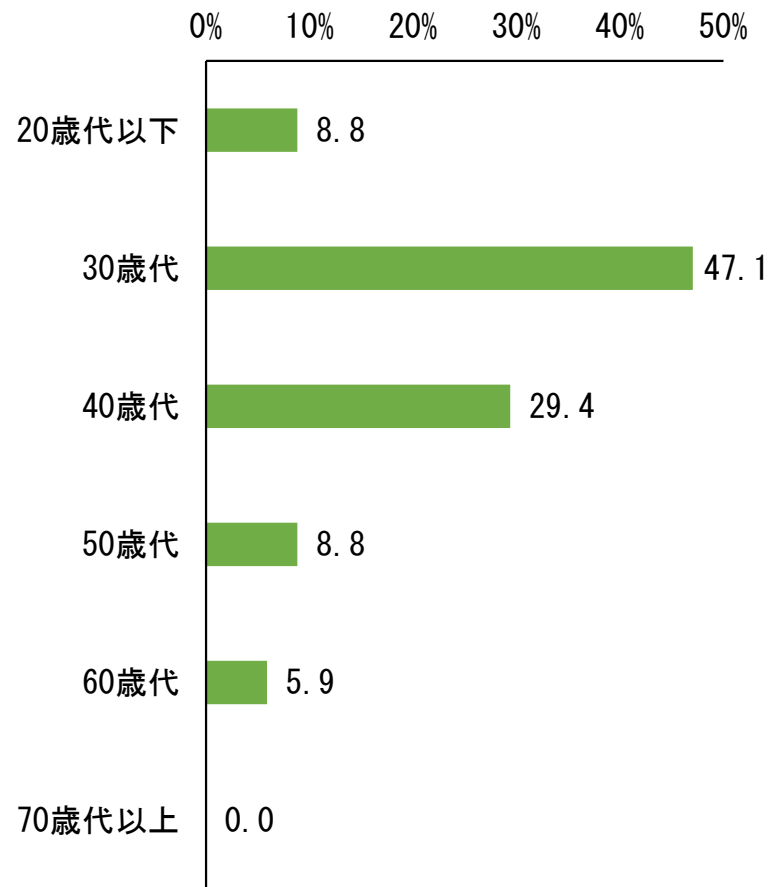
※無回答がある場合、無回答を除く

1. 回答者の属性

(2) 年代別

回答者を年代別で見ると、「30歳代」(47.1%)の割合が4割台後半で最も高く、以下「40歳代」(29.4%)、「20歳代以下」と「50歳代」(各8.8%)、「60歳代」(5.9%)となっている。

(n=34)



※無回答がある場合、無回答を除く

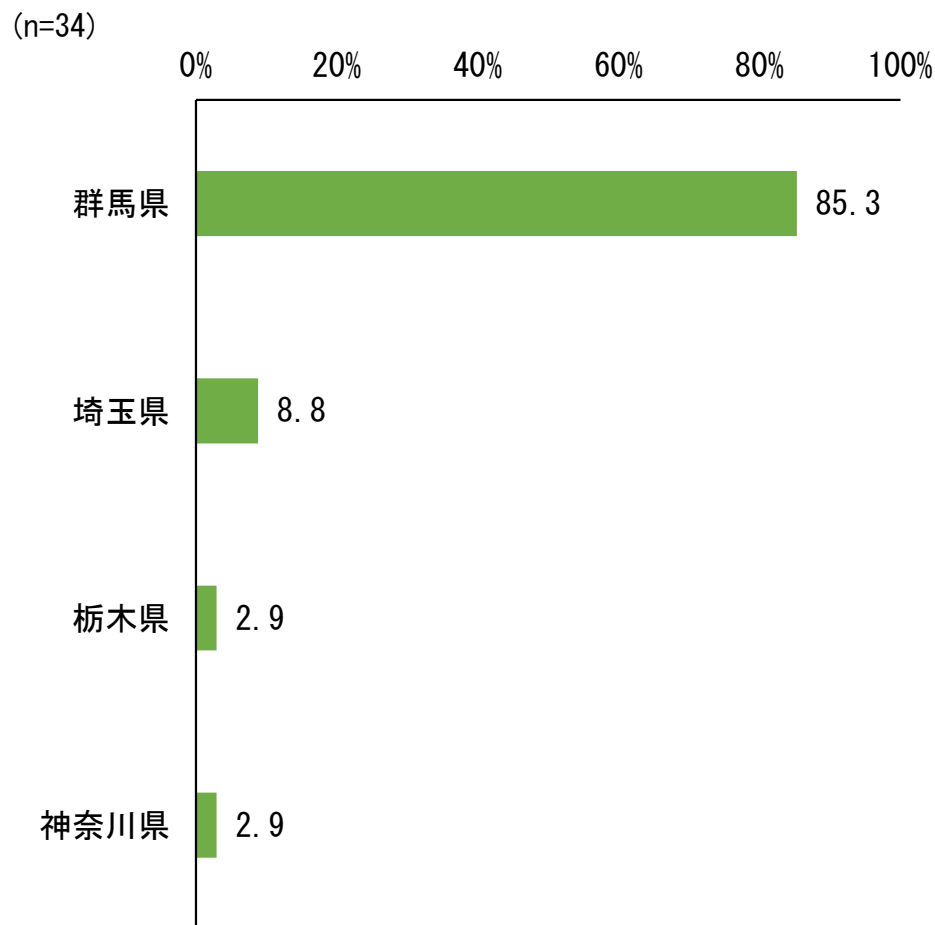
1. 回答者の属性

(3) 現住所

回答者を現住所別にみると、「群馬県」(85.3%)の割合が8割台半ばで最も高く、以下「埼玉県」(8.8%)、「栃木県」と「神奈川県」(各2.9%)となっている。

また、市町村別の状況は以下のとおりとなっている。

都道府県	市町村	度数
神奈川県	横浜市	1
栃木県	足利市	1
群馬県	みなかみ町	20
	前橋市	1
	沼田市	3
	高崎市	1
	渋川市	1
	邑楽郡	1
	伊勢崎市	2
埼玉県	児玉郡	1
	比企郡	1
	無回答	1

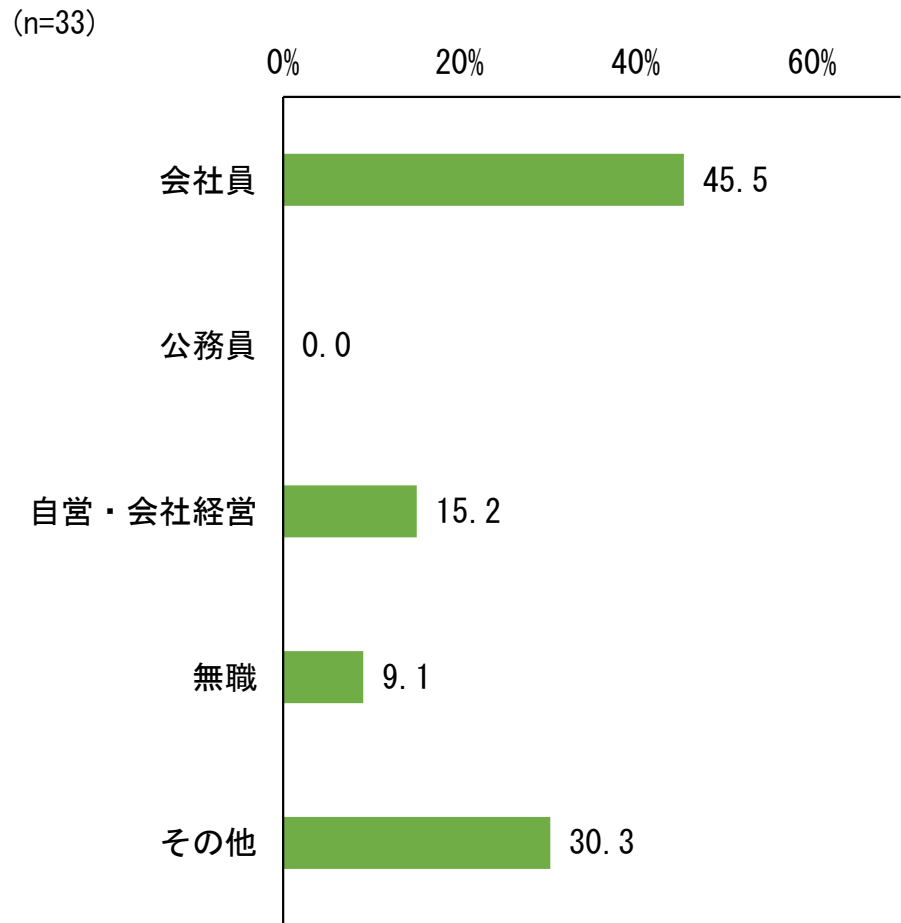


※無回答がある場合、無回答を除く

1. 回答者の属性

(4) 職業

回答者を職業別にみると、「会社員」(45.5%)の割合が4割台半ばで最も高く、以下「その他」(30.3%)、「自営・会社経営」(15.2%)、「無職」(9.1%)となっている。

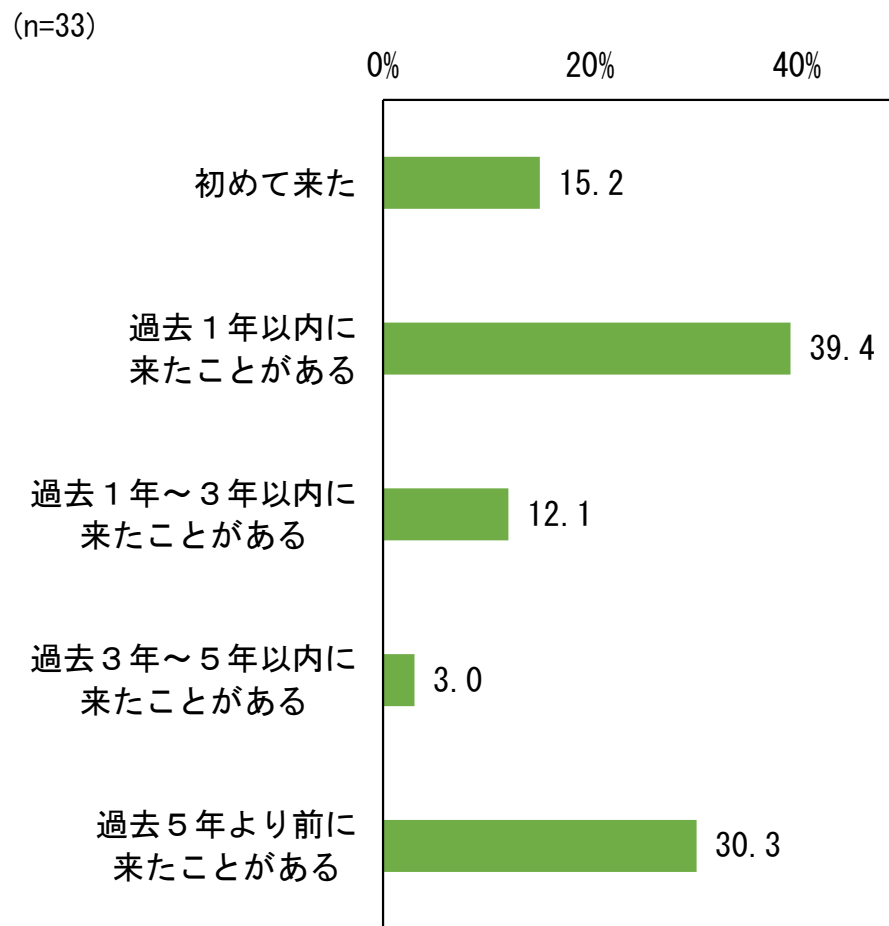


※無回答がある場合、無回答を除く

2. みなかみ町への来訪経験

これまでの“みなかみ町”への来訪経験を尋ねたところ、「初めて来た」（15.2%）とする割合が1割台半ばとなっている。

一方、「過去1年以内に来たことがある」（39.4%）の割合が約4割となっており、以下「過去5年より前に来たことがある」（30.3%）、「過去1年～3年以内に来たことがある」（12.1%）などとなっている。



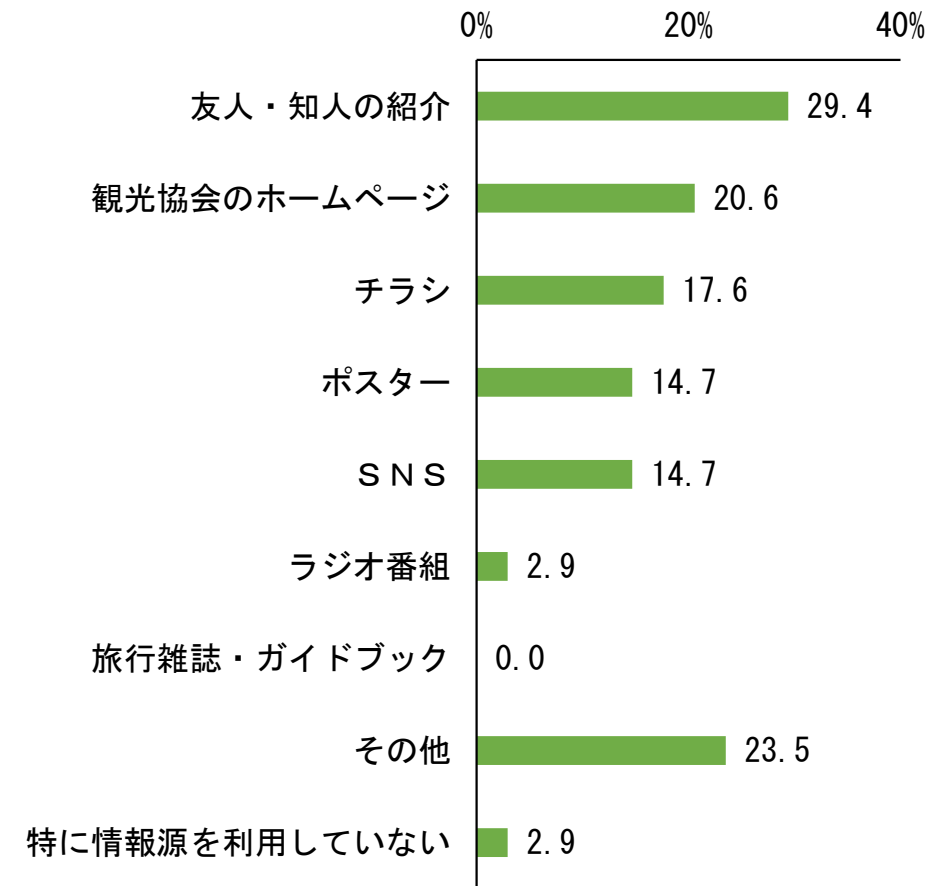
※無回答がある場合、無回答を除く

3. 本イベントの情報源

本イベントの開催を知るきっかけとなった情報源を尋ねたところ（複数回答）、「友人・知人の紹介」（29.4%）の割合が最も高くなっている。以下「観光協会のホームページ」（20.6%）、「チラシ」（17.6%）、「ポスター」と「SNS」（各14.7%）などとなっている。

「その他」では「地元」との回答が多くなっている。

(n=34)

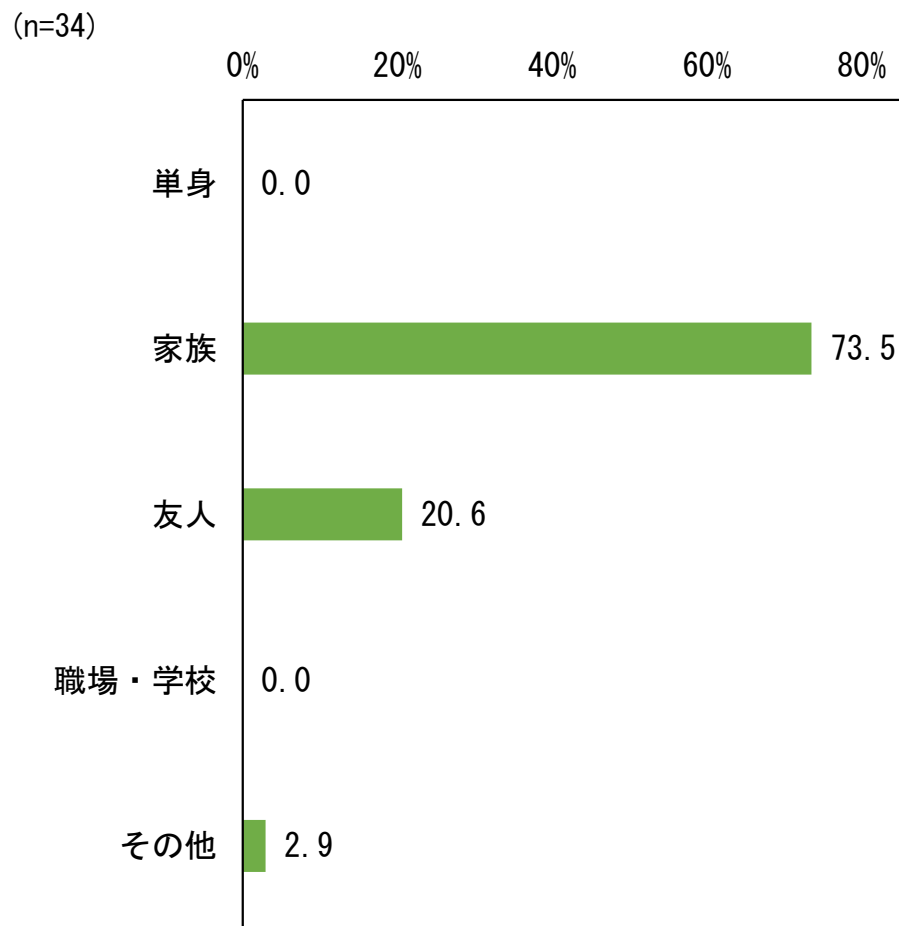


※無回答がある場合、無回答を除く

4. 本イベントへの同行者

(1) 同行者の属性

本イベントへの同行者の属性を尋ねたところ（複数回答）、「家族」（73.5%）の割合が最も高く、以下「友人」（20.6%）、「その他」（2.9%）となっている。

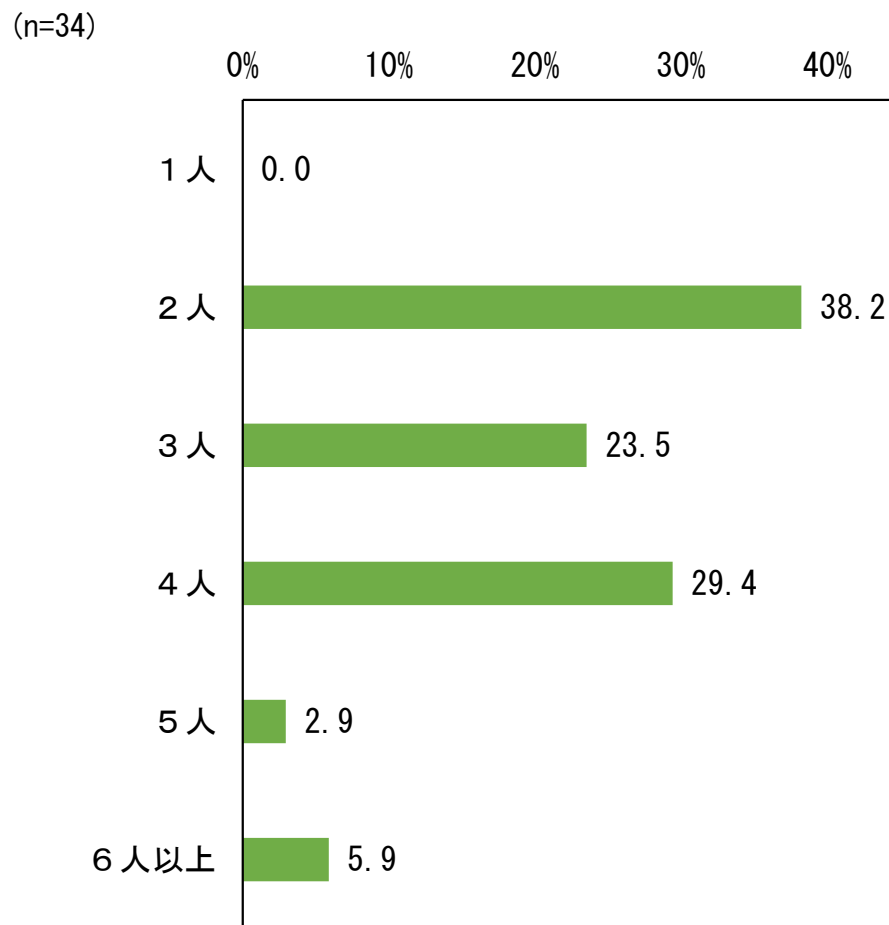


※無回答がある場合、無回答を除く

4. 本イベントへの同行者

(2) 同行者の人数

本イベントへの同行者の人数（回答者を含む）を尋ねたところ、「2人」（38.2%）の割合が約4割で最も高く、以下「4人」（29.4%）、「3人」（23.5%）などとなっている。

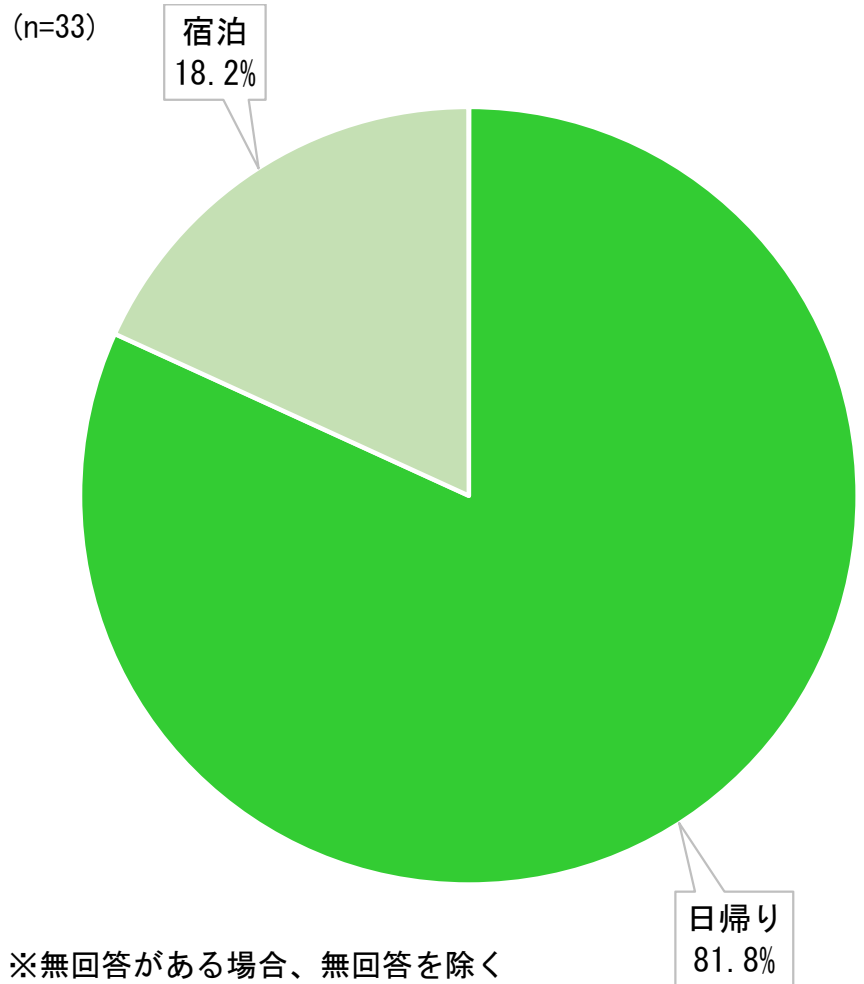


※無回答がある場合、無回答を除く

5. 日帰り・宿泊の状況

(1) 日帰り・宿泊の別

日帰り・宿泊の別を尋ねたところ、「日帰り」(81.8%)の割合が約8割、「宿泊」(18.2%)の割合が約2割となっている。

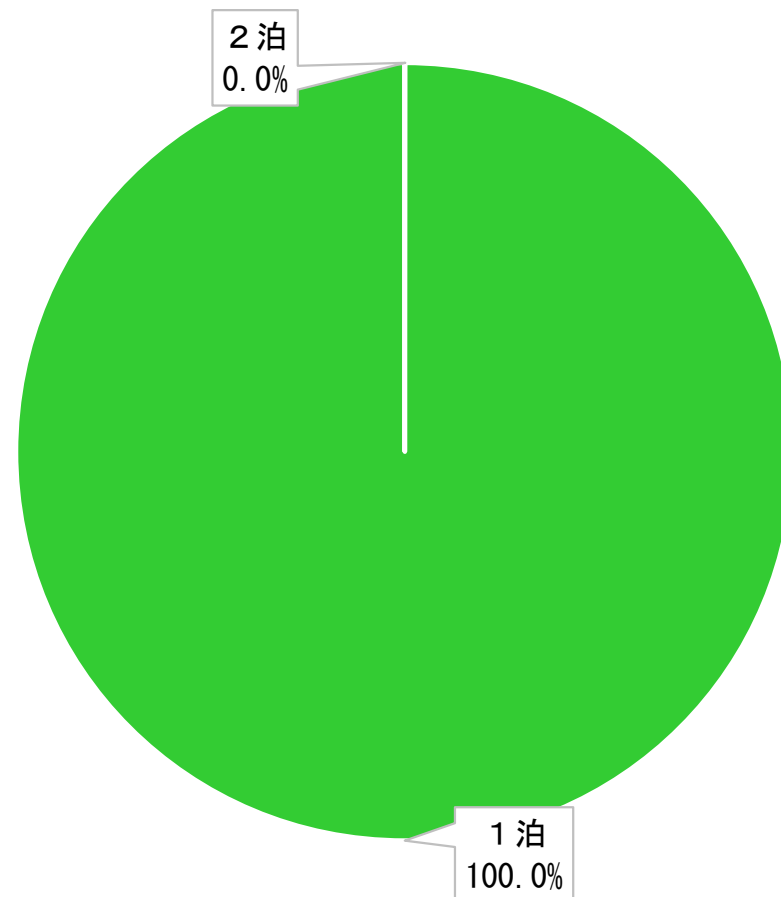


5. 日帰り・宿泊の状況

(2) 宿泊数

(1) で『宿泊』と回答した人に対し、宿泊数を尋ねたところ、「1泊」(100.0%)のみとなっている。

(n=3)



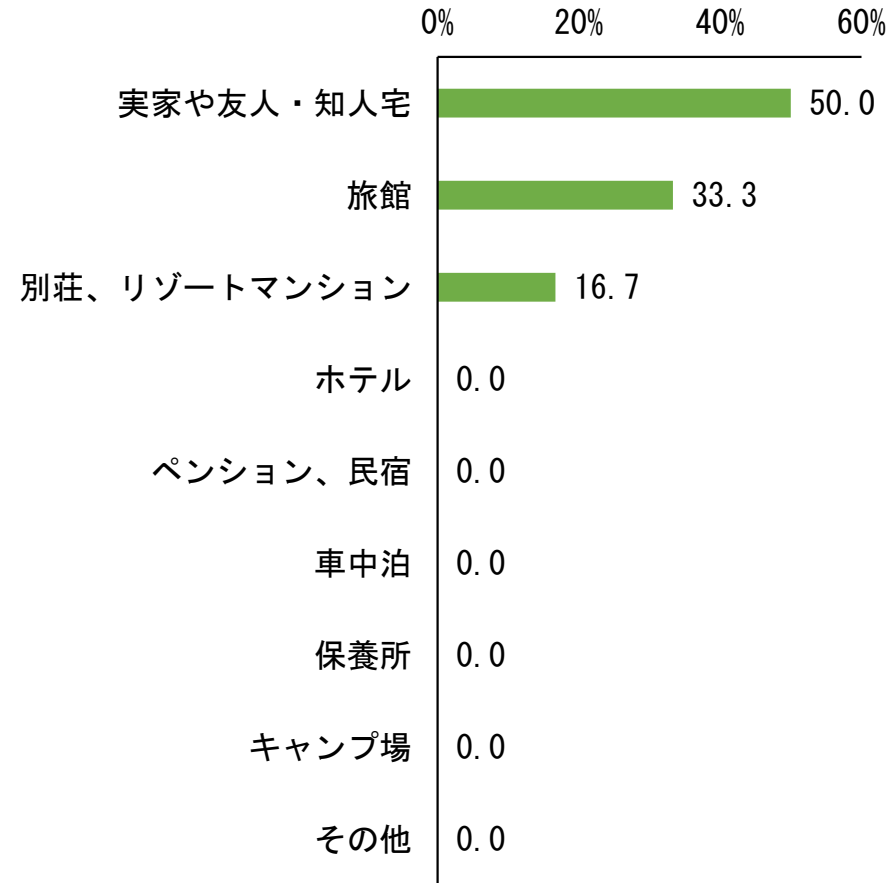
※無回答がある場合、無回答を除く

5. 日帰り・宿泊の状況

(3) 宿泊した施設

(1) で『宿泊』と回答した人に対し、宿泊した施設を尋ねたところ（複数回答）、「実家や友人・知人宅」（50.0%）の割合が最も高く、以下「旅館」（33.3%）、「別荘、リゾートマンション」（16.7%）となっている。

(n=6)



※無回答がある場合、無回答を除く

6. 本イベント来訪に要した費用

本イベントに要した旅行費用を尋ねたところ、1人あたりの平均額で『日帰り客』が1,205円、『宿泊客』が10,125円、『日帰り客』と『宿泊客』を合わせた合計（参考）が7,372円となっている。

	日帰り客 (n=22)	宿泊客 (n=6)	合計（参考） (n=28)
交通費	368	458	387
宿泊費	-	5,417	5,417
土産代	45	1,250	304
飲食費	761	3,000	1,241
入場料	0	0	0
その他	30	0	24
合計	1,205	10,125	7,372

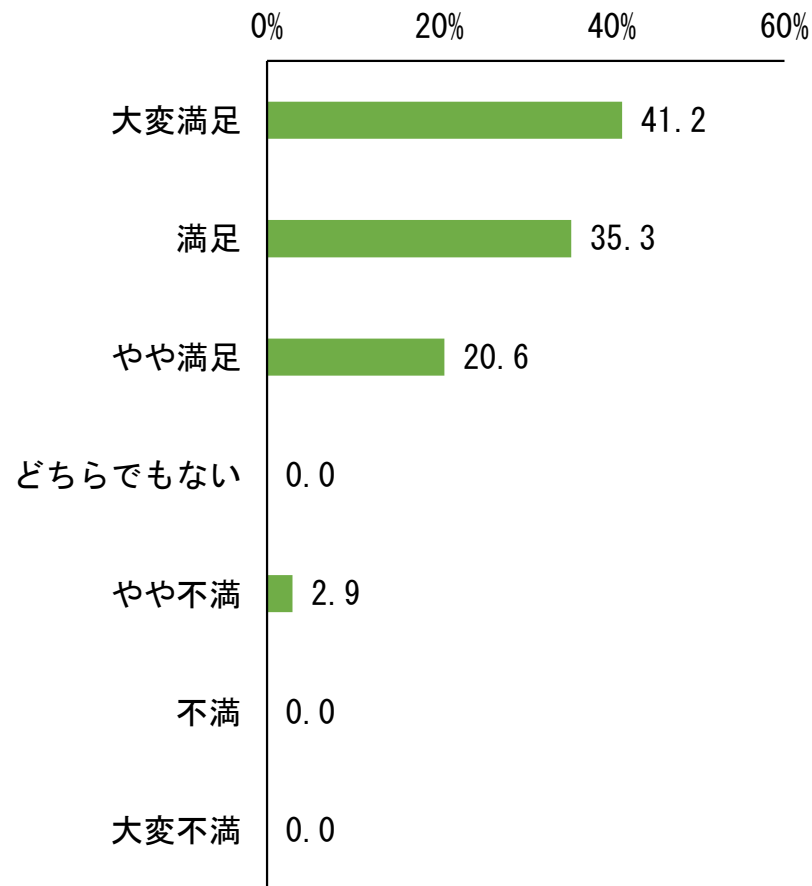
※無回答を除く。合計（参考）の宿泊費は宿泊客の平均である

7. 本イベントに対する評価と再来訪意向

(1) 本イベントに対する評価

本イベントに対する評価を尋ねたところ、「大変満足」(41.2%)と「満足」(35.3%)の割合を合わせると7割台半ばとなっている。残りは「やや満足」(20.6%)、「やや不満」(2.9%)となっている。

(n=34)

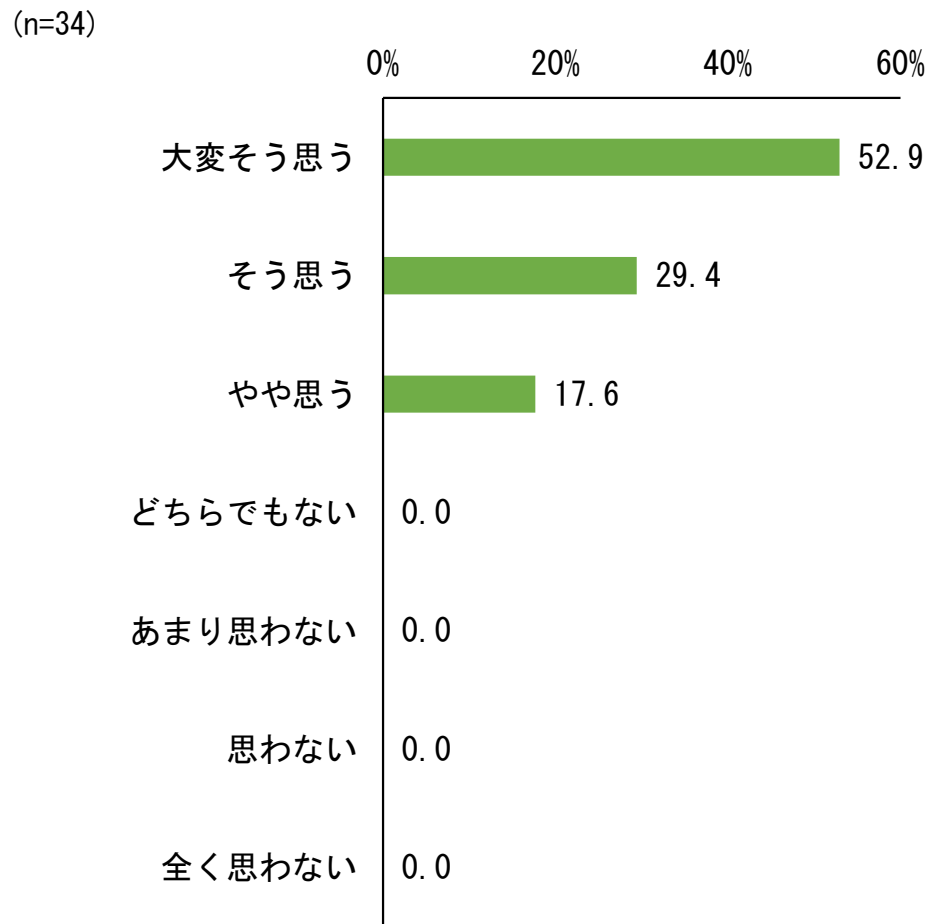


※無回答がある場合、無回答を除く

7. 本イベントに対する評価と再来訪意向

(2) 再来訪意向

本イベントへの再来訪意向を尋ねたところ、「大変そう思う」(52.9%)と「そう思う」(29.4%)の割合を合わせると8割台前半となっている。残りは「やや思う」(17.6%)となっている。



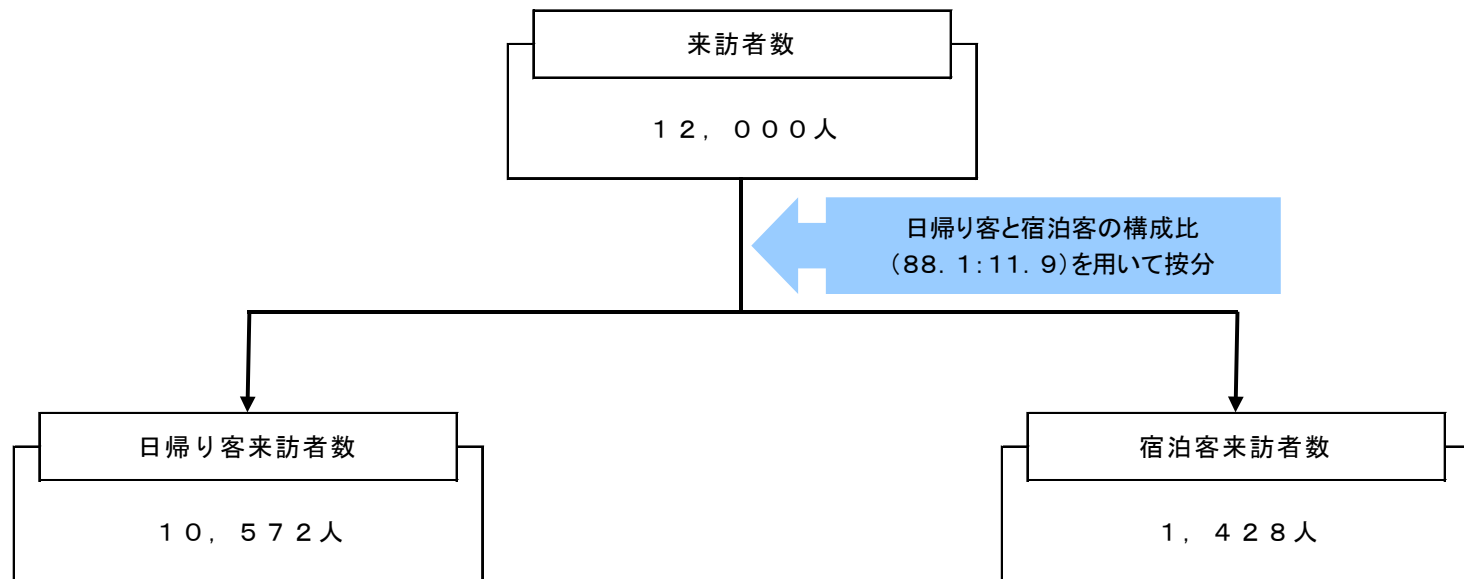
※無回答がある場合、無回答を除く

8. 経済波及効果の推計結果

(1) 消費支出額の推計

① 日帰り客と宿泊客の来訪者数の推計

本イベントの来訪者数は12,000人となっている。この来訪者数を群馬県観光局観光物産課「平成28年 観光客数・消費額調査（推計）結果」で公表されている群馬県内の観光入込客数の『日帰り客』と『宿泊客』の構成比（88.1：11.9）を用いて按分すると、『日帰り客』の来訪者数は10,572人、『宿泊客』の来訪者数は1,428人と推計される。



8. 経済波及効果の推計結果

② 来訪者 1 人あたりの消費支出額の推計（104頁の再掲）

来訪者 1 人あたりの消費支出には、交通費、宿泊費、土産代等が考えられる。来訪者へのアンケート調査の結果をもとに『日帰り客』『宿泊客』それぞれについて、費目ごとの 1 人あたりの消費支出額を推計する。『日帰り客』『宿泊客』の費目ごとの消費支出額は以下の通りである。

	日帰り客 (n=22)	宿泊客 (n=6)	合計（参考） (n=28)
交通費	368	458	387
宿泊費	-	5,417	5,417
土産代	45	1,250	304
飲食費	761	3,000	1,241
入場料	0	0	0
その他	30	0	24
合計	1,205	10,125	7,372

※無回答を除く。合計（参考）の宿泊費は宿泊客の平均である。（再掲）

8. 経済波及効果の推計結果

③来訪者全体の消費支出額の推計

①で算定した『日帰り客』『宿泊客』それぞれの来訪者数に、②で算定した費目ごとの単価をそれぞれ乗じ、来訪者全体の費目ごとの消費支出額を推計する。『日帰り客』『宿泊客』それぞれの費目ごとの消費支出額は以下の通りで、来訪者全体の消費支出額は27,197千円と推計される。

(単位：千円)

	日帰り客 (10,572人)	宿泊客 (1,428人)
交通費	3,888	655
宿泊費	-	7,735
土産代	481	1,785
飲食費	8,049	4,284
入場料	0	0
その他	320	0
合計	12,738	14,459
消費支出額	27,197	

8. 経済波及効果の推計結果

(2) 推計モデルを使った経済波及効果の推計

(1)の③で算定された消費支出額を群馬県産業連関表の推計モデルに投入し、最終需要増加額と直接効果、1次・2次間接波及効果を推計し、経済波及効果を推計した。産業ごとの波及効果は以下の通りである。

なお、(1)の③で算定された消費支出額は27,197千円となるが、消費支出額から流通マージン(商業マージン及び国内貨物運賃)と、県外での交通費(交通費の1/2を県外で支出したとみなす)を控除した24,926千円が最終需要増加額となる。また、推計の計算手順は参考資料に掲載している。

(単位：千円)

部門分類	最終需要増加額	生産誘発額			
		直接効果	1次間接波及効果	2次間接波及効果	経済波及効果
農林水産業	277	71	173	32	275
鉱業	0	0	6	2	8
飲食品	1,421	184	427	107	718
繊維製品	234	2	2	2	6
パルプ・紙・木製品	26	4	50	9	64
化学製品	25	2	15	9	26
石油・石炭製品	480	13	17	6	37
プラスチック・ゴム	0	0	35	11	46
窯業・土石製品	39	4	6	1	11
鉄鋼	0	0	2	1	3
非鉄金属	0	0	2	1	3
金属製品	0	0	18	4	22
はん用機械	0	0	3	1	3
生産用機械	0	0	3	1	4
業務用機械	0	0	4	1	6
電子部品	0	0	11	5	16
電気機械	16	2	3	9	14
情報・通信機器	24	0	0	0	0
輸送機械	0	0	21	66	87

部門分類	最終需要増加額	生産誘発額			
		直接効果	1次間接波及効果	2次間接波及効果	経済波及効果
その他の製造工業製品	204	41	58	24	123
建設	0	0	188	81	269
電力・ガス・熱供給	0	0	522	138	660
水道	0	0	210	46	256
廃棄物処理	0	0	206	14	220
商業	0	468	894	527	1,890
金融・保険	0	0	181	316	498
不動産	0	0	403	1,286	1,690
運輸・郵便	1,767	1,342	831	253	2,427
情報通信	2	1	276	167	444
公務	0	0	23	15	38
教育・研究	0	0	30	89	119
医療・福祉	38	38	5	244	287
その他の非営利団体サービス	0	0	86	64	150
対事業所サービス	75	46	859	220	1,126
对个人サービス	20,297	17,224	232	626	18,082
事務用品	0	0	48	7	56
分類不明	0	0	100	26	126
全産業合計	24,926	19,442	5,952	4,414	29,809

8. 経済波及効果の推計結果

(3) 経済波及効果の推計結果

推計の手順としては、はじめに消費支出額から直接効果の推計を行ない、その直接効果に基づいて産業連関表を利用した1次間接波及効果(直接効果によって生じた原材料の他産業への経済波及効果)と2次間接波及効果(直接効果と1次間接波及効果によって生じた雇用者所得が消費に向かうことによる経済波及効果)を算出した。

群馬県産業連関表を利用した推計の結果、本イベントの開催がもたらした群馬県内への経済波及効果は、1次間接波及効果5,952千円、2次間接波及効果が4,414千円となり、直接効果19,442千円と合わせた経済波及効果の総額は29,809千円と算定された。

ただし、経済波及効果の推計結果における注意点として、アンケート調査の回答者(特に宿泊客)のサンプル数が少ないため、来訪者全体の傾向を反映していない可能性があることに留意する必要がある。

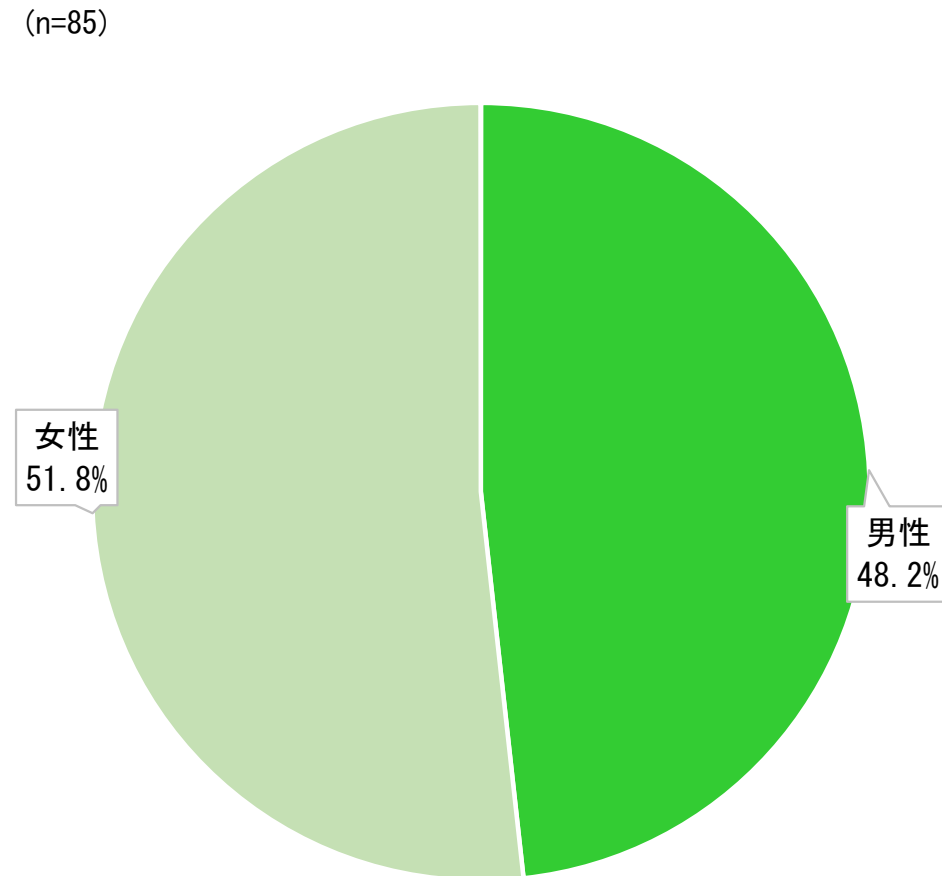
	推計金額
①直接効果	19,442 千円
②1次間接波及効果	5,952 千円
③2次間接波及効果	4,414 千円
④経済波及効果 総額 (①+②+③)	29,809 千円
⑤生産誘発倍率 (④÷①)	1.53 倍

VII. 天空のナイトクルージング〔10月〕

1. 回答者の属性

(1) 性別

回答者を性別で見ると、「男性」(48.2%)、「女性」(51.8%)とも、約5割となっている。



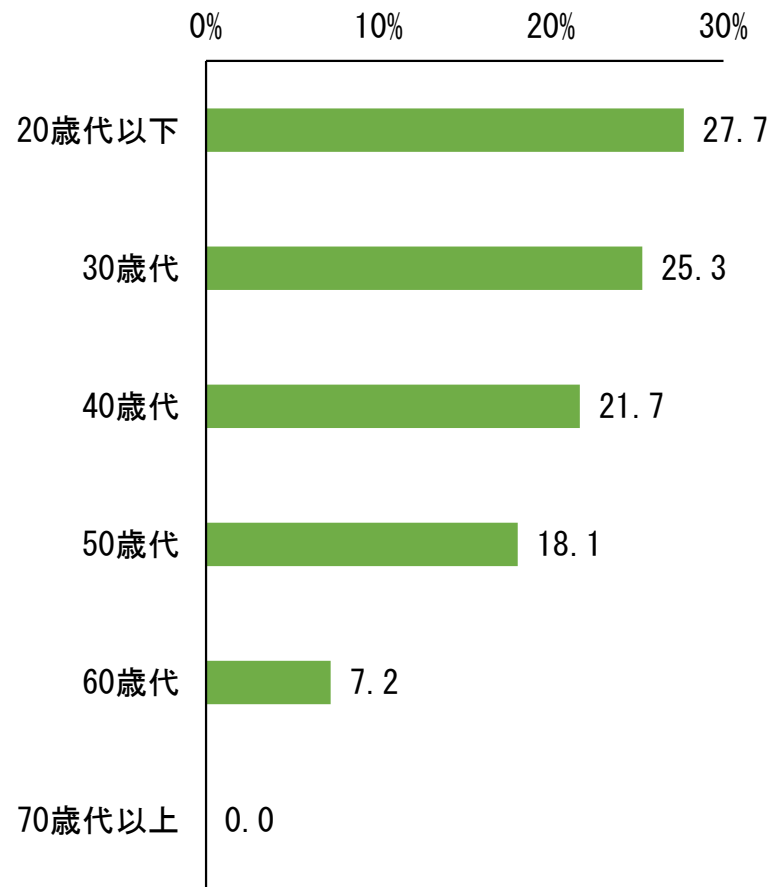
※無回答がある場合、無回答を除く

1. 回答者の属性

(2) 年代別

回答者を年代別で見ると、「20歳代以下」(27.7%)の割合が2割台後半で最も高く、以下「30歳代」(25.3%)、「40歳代」(21.7%)、「50歳代」(18.1%)などとなっている。

(n=83)



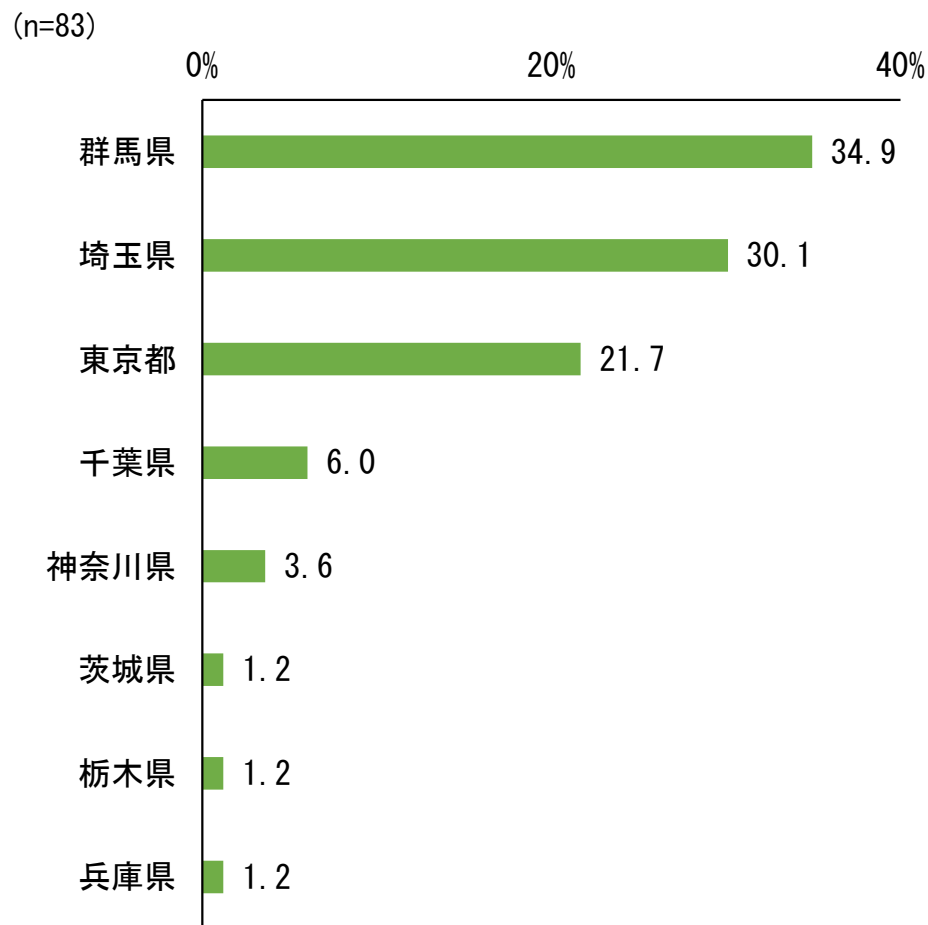
※無回答がある場合、無回答を除く

1. 回答者の属性

(3) 現住所

回答者を現住所別にみると、「群馬県」(34.9%)の割合が3割台半ばで最も高く、以下「埼玉県」(30.1%)、「東京都」(21.7%)などとなっている。

また、市町村別の状況は次頁のとおりとなっている。



※無回答がある場合、無回答を除く

1. 回答者の属性

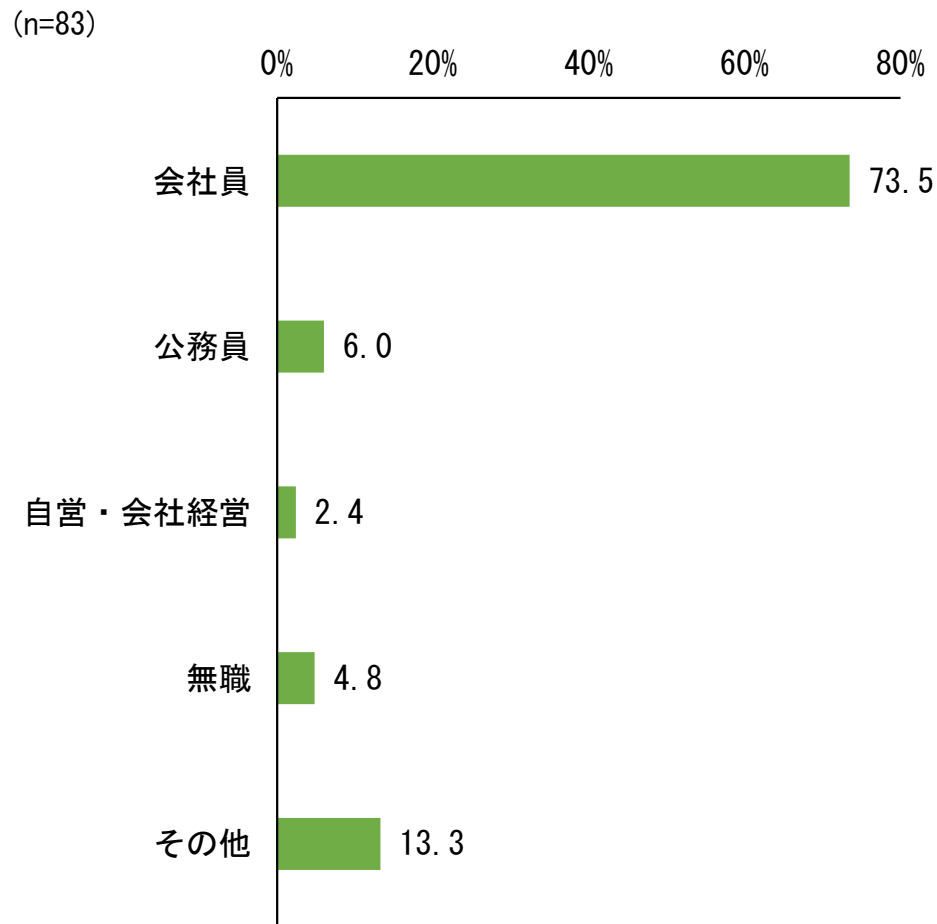
都道府県	市町村	度数
茨城県	水戸市	1
栃木県	無回答	1
群馬県	みなかみ町	1
	前橋市	6
	沼田市	2
	玉林町	1
	高崎市	6
	渋川市	1
	桐生市	1
	片品村	1
	太田市	1
	伊勢崎市	3
	安中市	1
	無回答	5
	埼玉県	和光市
本庄市		1
日高市		1
所沢市		1
草加市		1
志木市		1
さいたま市		3
鴻巣市		1
熊谷市		2
久喜市		1
北本市		1
川越市		1
川口市		4
春日部市		2
無回答		4

都道府県	市町村	度数
千葉県	松戸市	1
	習志野市	1
	千葉市	1
	柏市	1
東京都	浦安市	1
	目黒区	2
	三鷹市	1
	練馬区	2
	西東京市	1
	墨田区	1
	杉並区	1
	板橋区	3
	足立区	2
	無回答	5
	神奈川県	横浜市
綾瀬市		1
兵庫県	明石市	1

1. 回答者の属性

(4) 職業

回答者を職業別にみると、「会社員」(73.5%)の割合が7割台前半で特に高く、以下「その他」(13.3%)、「公務員」(6.0%)、「無職」(4.8%)などとなっている。



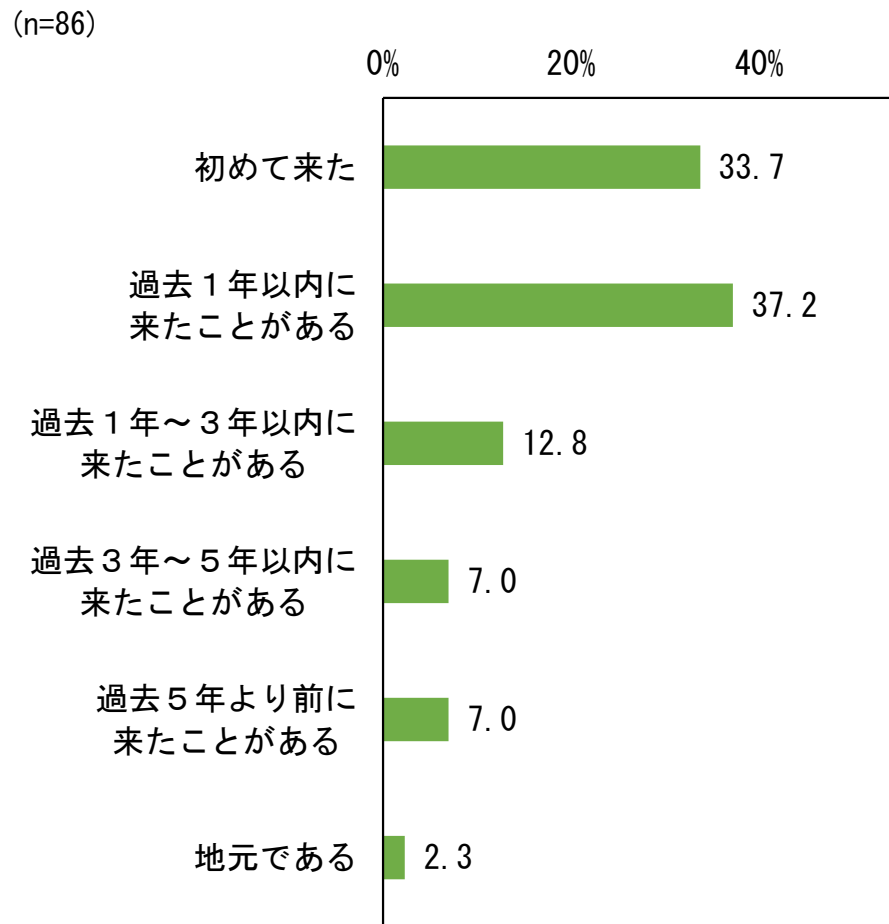
※無回答がある場合、無回答を除く

2. みなかみ町への来訪経験

これまでの“みなかみ町”への来訪経験を尋ねたところ、「初めて来た」（33.7%）とする割合が3割台前半となっている。

一方、「過去1年以内に来たことがある」（37.2%）の割合が3割台後半となっており、以下「過去1年～3年以内に来たことがある」（12.8%）、「過去3年～5年以内に来たことがある」と「過去5年より前に来たことがある」（各7.0%）となっている。

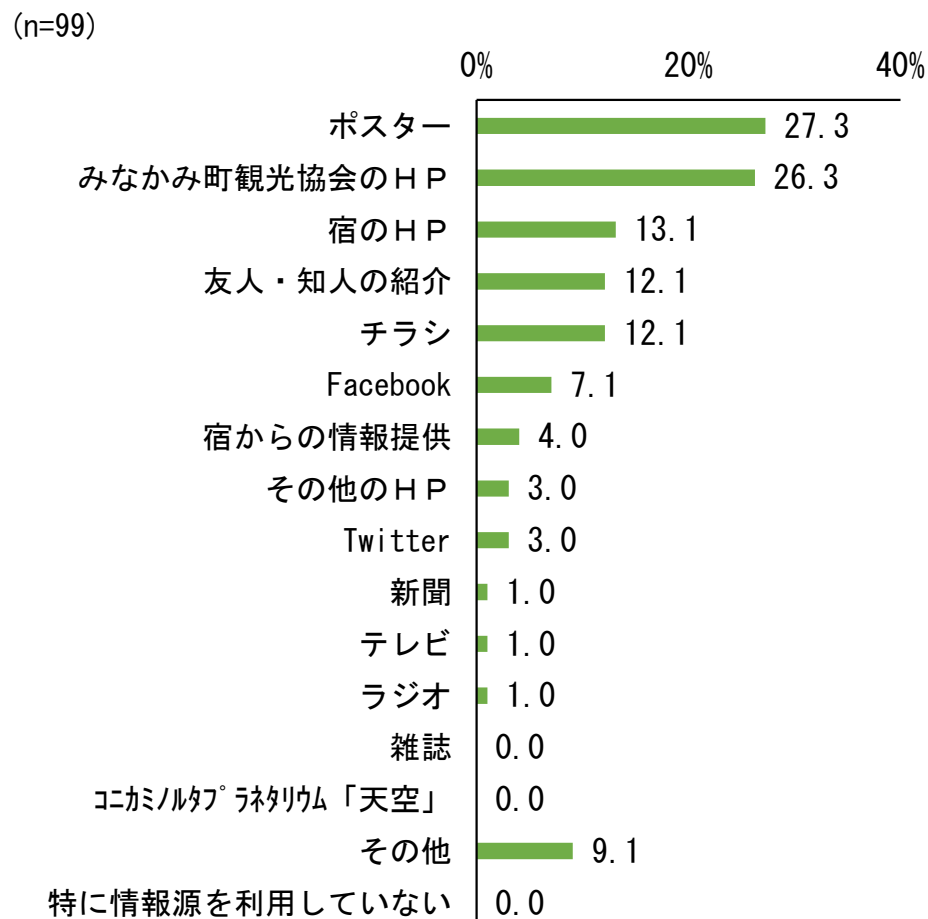
また、「地元である」（2.3%）は1割に満たない。



※無回答がある場合、無回答を除く

3. 本イベントの情報源

本イベントの開催を知るきっかけとなった情報源を尋ねたところ（複数回答）、「ポスター」（27.3%）と「みなかみ町観光協会のHP」（26.3%）の割合が2割台半ばで高くなっている。以下「宿のHP」（13.1%）、「友人・知人の紹介」と「チラシ」（各12.1%）などとなっている。

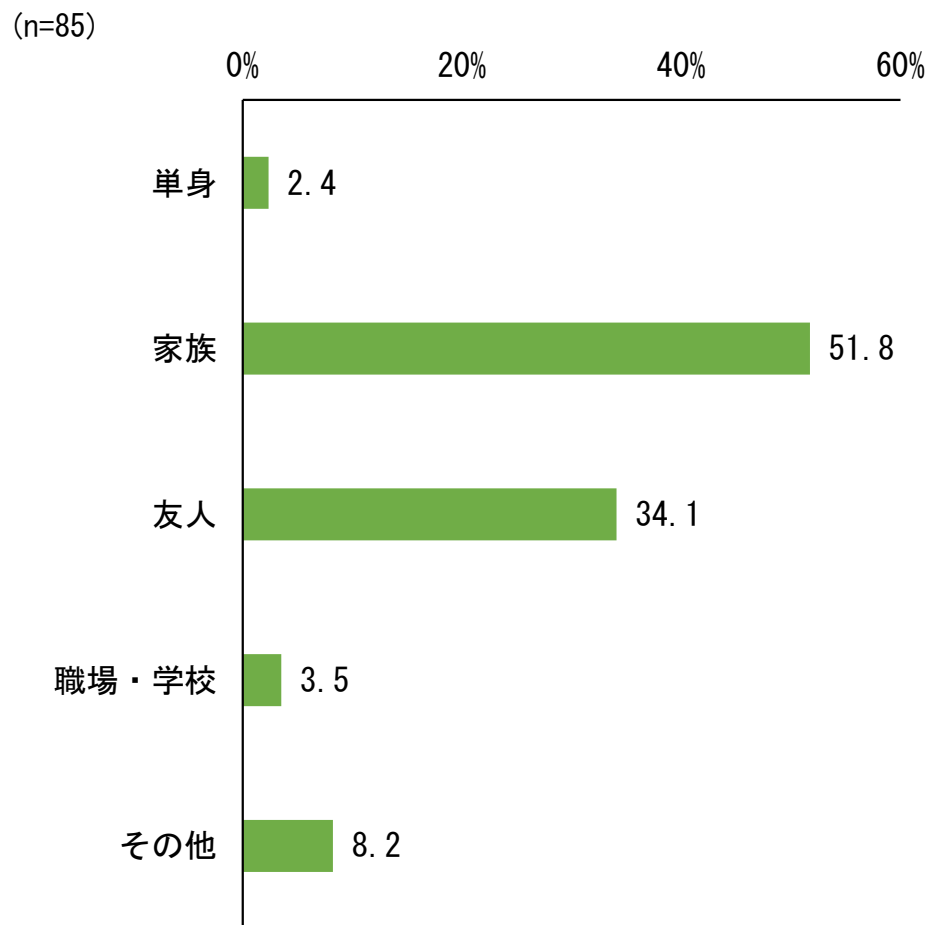


※無回答がある場合、無回答を除く

4. 本イベントへの同行者

(1) 同行者の属性

本イベントへの同行者の属性を尋ねたところ（複数回答）、「家族」（51.8%）の割合が約5割で最も高く、以下「友人」（34.1%）、「その他」（8.2%）などとなっている。

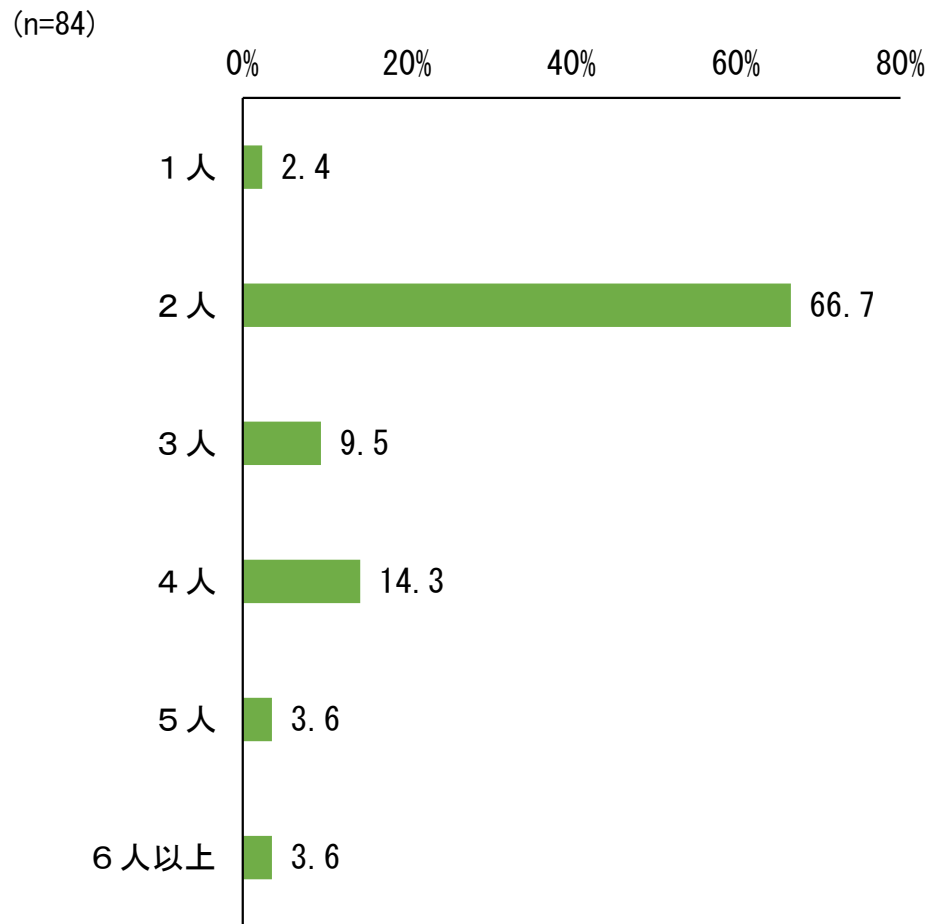


※無回答がある場合、無回答を除く

4. 本イベントへの同行者

(2) 同行者の人数

本イベントへの同行者の人数（回答者を含む）を尋ねたところ、「2人」（66.7%）の割合が6割台半ばで最も高く、以下「4人」（14.3%）、「3人」（9.5%）などとなっている。



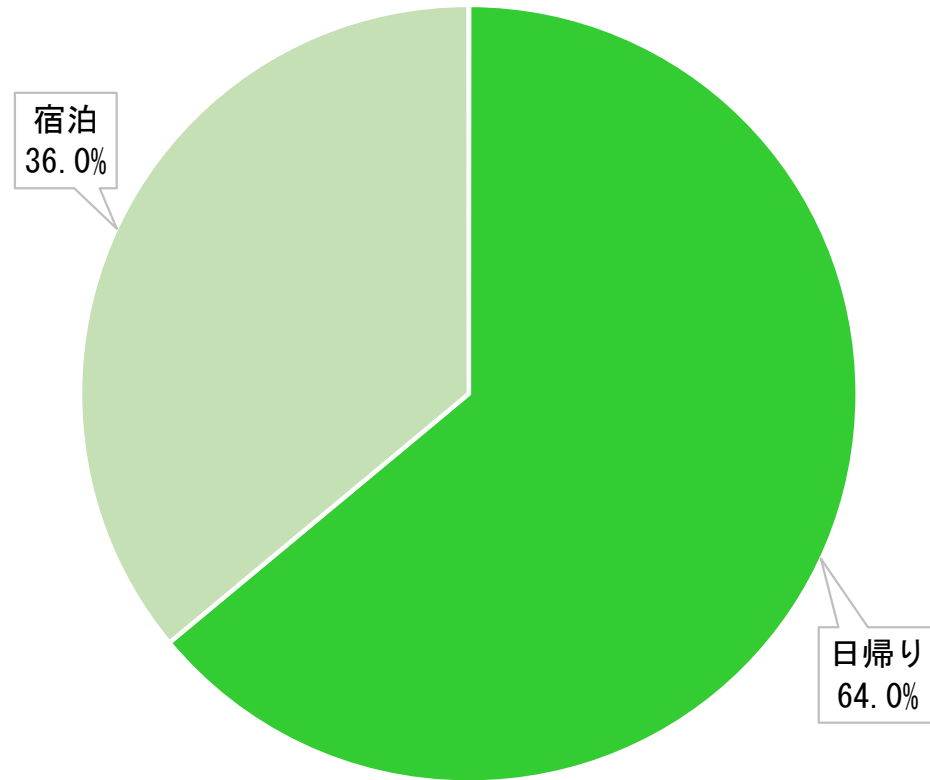
※無回答がある場合、無回答を除く

5. 日帰り・宿泊の状況

(1) 日帰り・宿泊の別

日帰り・宿泊の別を尋ねたところ、「日帰り」(64.0%)の割合が6割台半ば、「宿泊」(36.0%)の割合が3割台半ばとなっている。

(n=86)



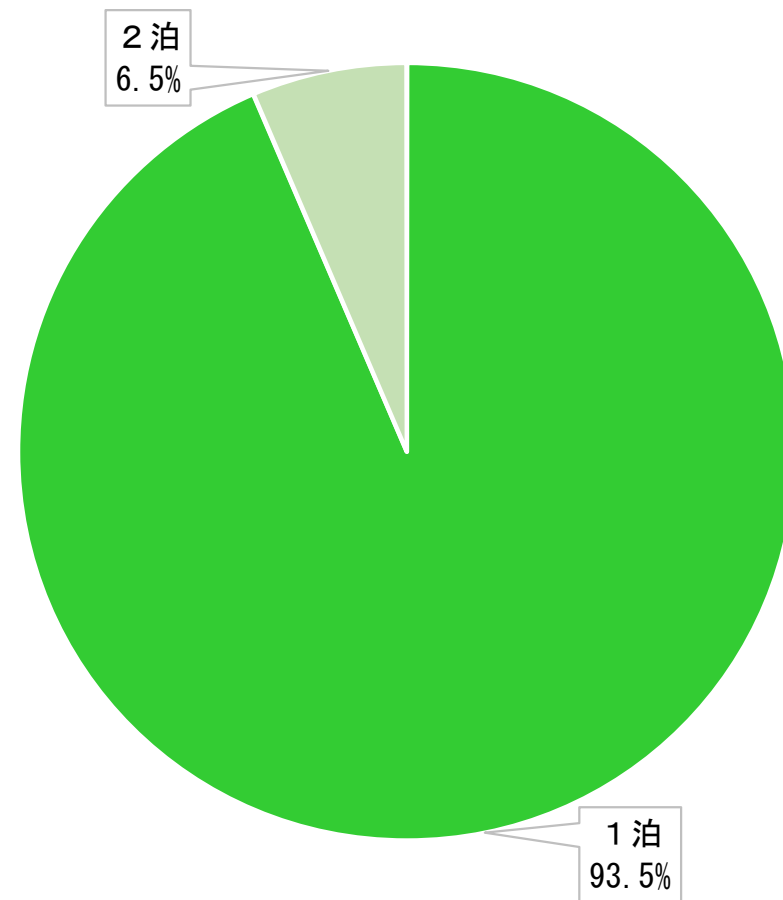
※無回答がある場合、無回答を除く

5. 日帰り・宿泊の状況

(2) 宿泊数

(1) で『宿泊』と回答した人に対し、宿泊数を尋ねたところ、「1泊」(93.5%)の割合が9割台前半で、「2泊」(6.5%)は1割に満たない。

(n=31)



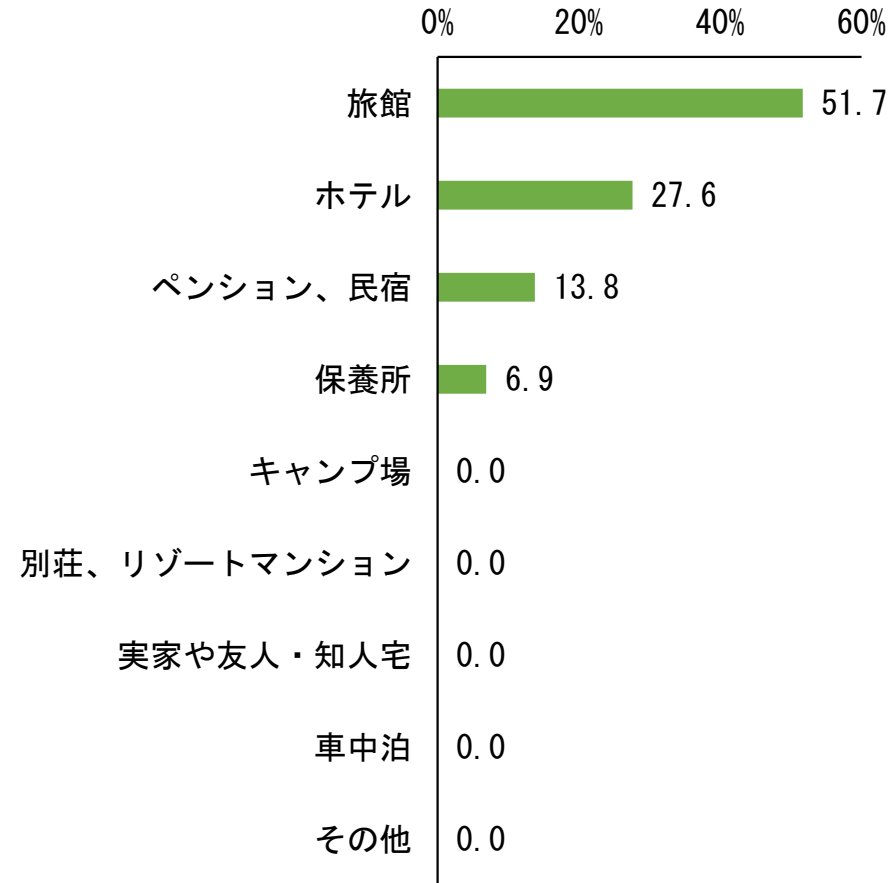
※無回答がある場合、無回答を除く

5. 日帰り・宿泊の状況

(3) 宿泊した施設

(1) で『宿泊』と回答した人に対し、宿泊した施設を尋ねたところ（複数回答）、「旅館」（51.7%）の割合が5割台前半、「ホテル」（27.6%）が2割台後半、「ペンション、民宿」（13.8%）が1割台半ばなどとなっている。

(n=29)



※無回答がある場合、無回答を除く

6. 本イベント来訪に要した費用

本イベントに要した旅行費用を尋ねたところ、1人あたりの平均額で『日帰り客』が5,444円、『宿泊客』が18,258円、『日帰り客』と『宿泊客』を合わせた合計（参考）が21,877円となっている。

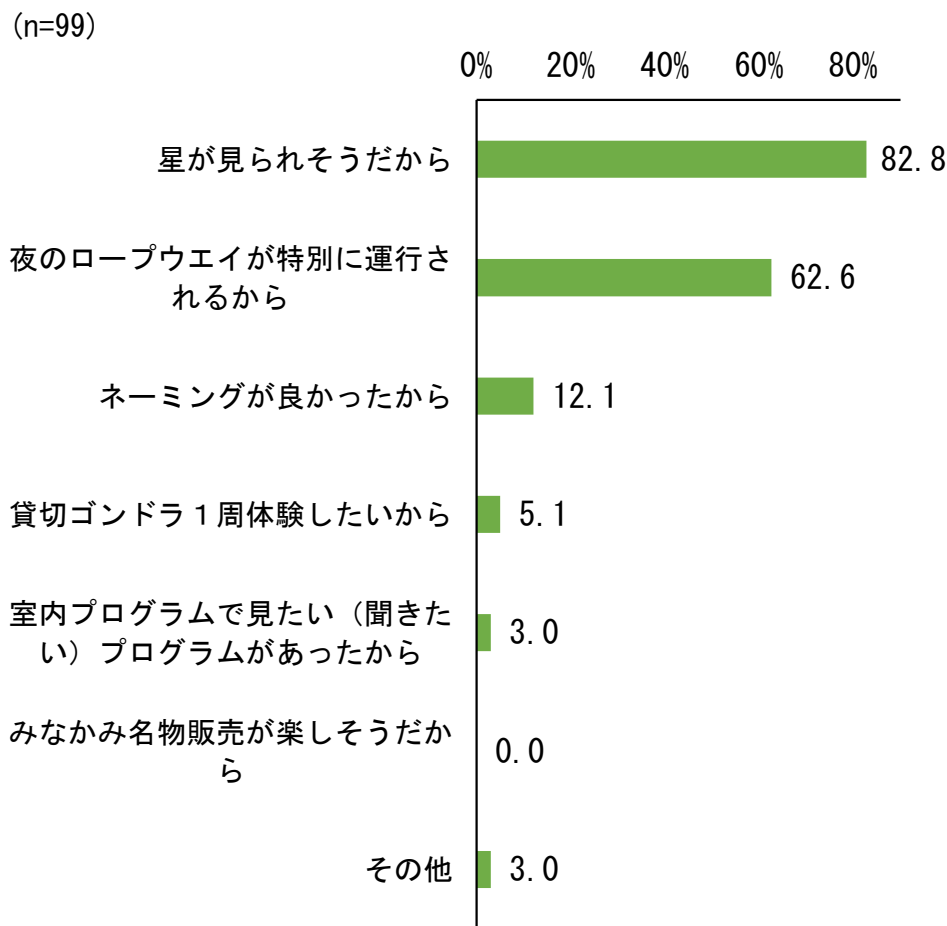
	日帰り客 (n=17)	宿泊客 (n=20)	合計（参考） (n=37)
交通費	785	1,642	1,486
宿泊費	-	12,075	14,550
土産代	882	954	1,329
飲食費	1,208	1,713	1,867
入場料	2,376	825	1,935
その他	191	1,050	709
合計	5,444	18,258	21,877

※無回答を除く。合計（参考）の宿泊費は宿泊客の平均である

7. 本イベントへの参加理由

本イベントへの参加理由を尋ねたところ（複数回答）、「星が見られそうだから」（82.8%）の割合が8割前半で最も高く、次いで「夜のロープウェイが特別に運行されるから」（62.6%）が6割台前半を占め、この2つの理由が高くなっている。

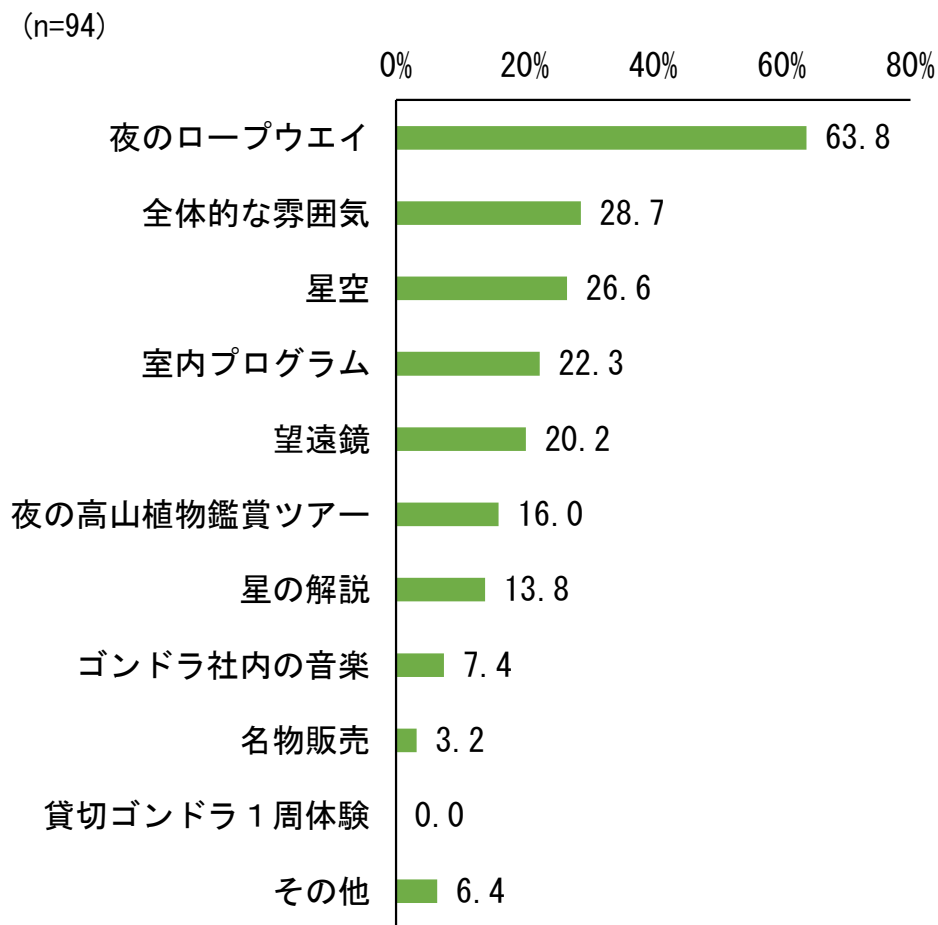
それら以外では「ネーミングが良かったから」（12.1%）、「貸切ゴンドラ1周体験したいから」（5.1%）などとなっている。



※無回答がある場合、無回答を除く

8. 本イベントで楽しかったプログラム

本イベントで楽しかったプログラムを尋ねたところ（複数回答）、「夜のロープウェイ」（63.8%）の割合が6割台半ばで最も高く、以下「全体的な雰囲気」（28.7%）、「星空」（26.6%）、「室内プログラム」（22.3%）、「望遠鏡」（20.2%）などとなっている。



※無回答がある場合、無回答を除く

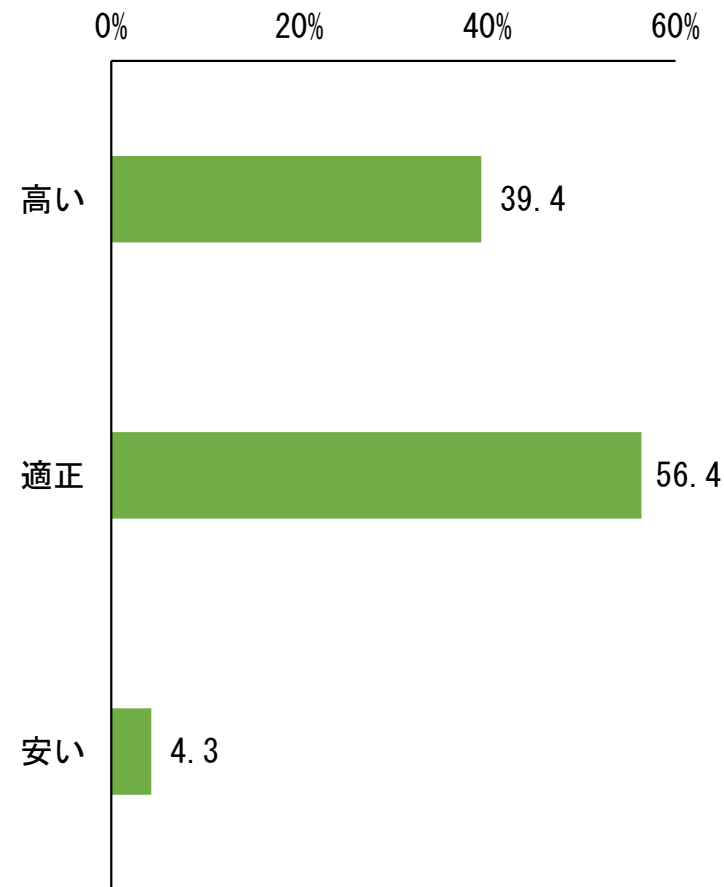
9. 参加費に対する感想

(1) 参加費に対する評価

参加費に対する評価を尋ねたところ、「適正」(56.4%)の割合が5割台半ばで最も高くなっている。

一方、「高い」(39.4%)の割合が約4割となっているのに対し、「安い」(4.3%)は1割に満たない。

(n=94)

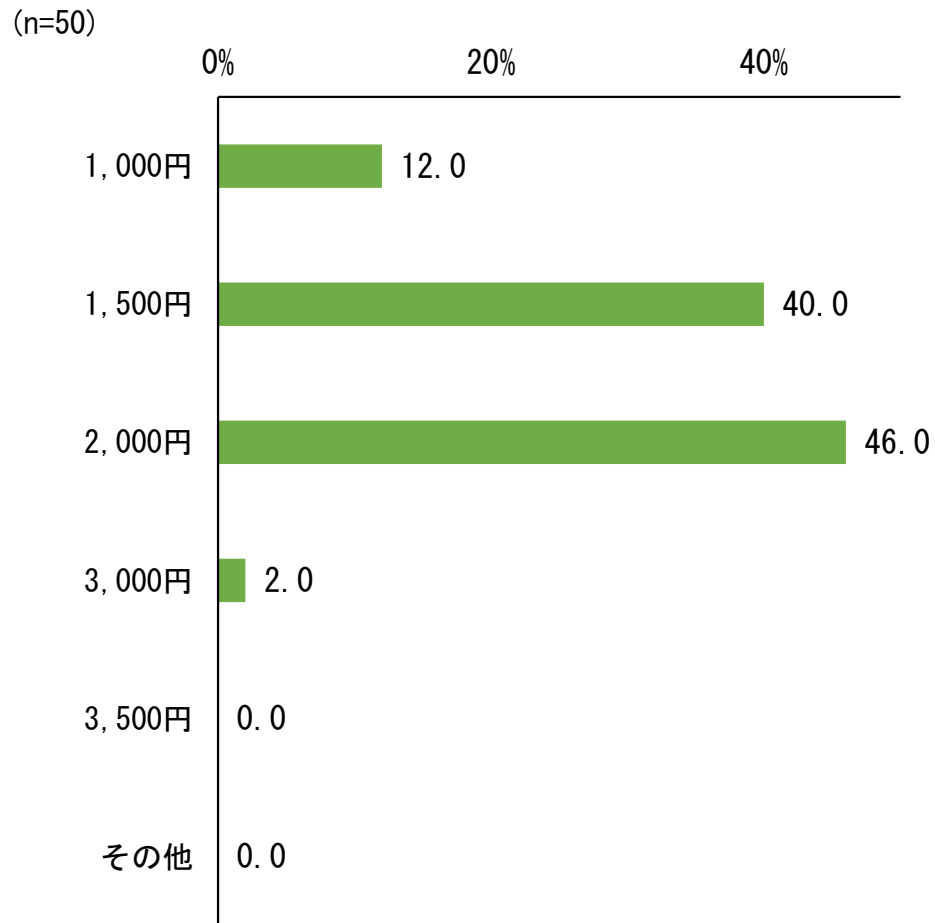


※無回答がある場合、無回答を除く

9. 参加費に対する感想

(2) 適正と思う価格

適正と思う参加費の価格を尋ねたところ、「2,000円」(46.0%)の割合が4割台半ばで最も高く、次いで「1,500円」(40.0%)が続いている。以下「1,000円」(12.0%)などとなっている。

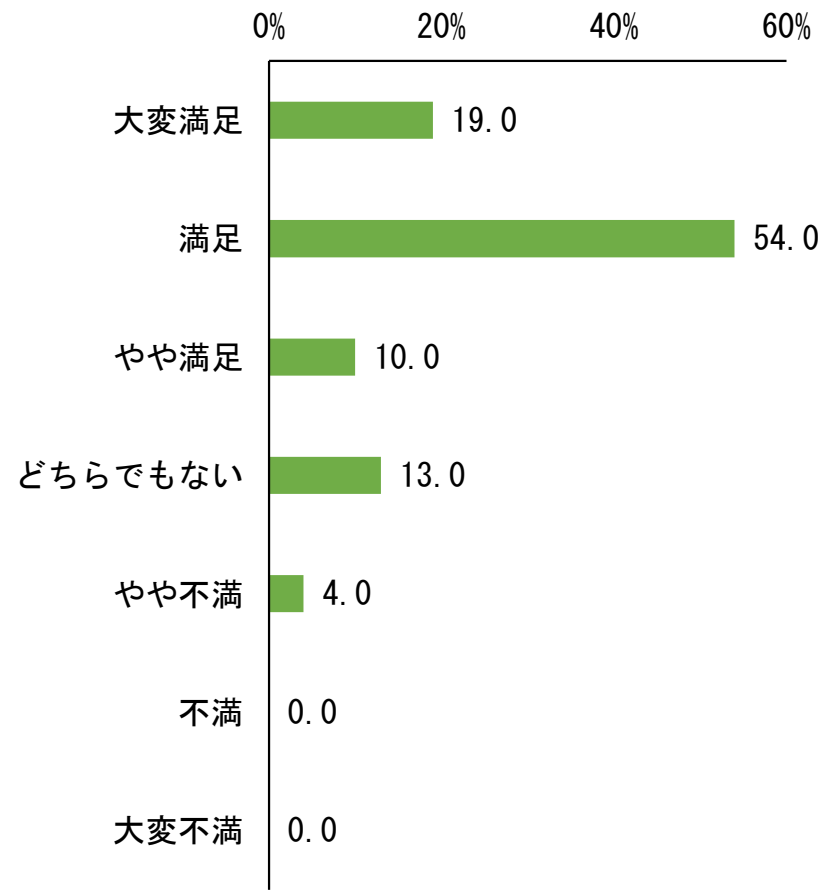


※無回答がある場合、無回答を除く

10. スタッフに対する評価

スタッフの対応についての評価を尋ねたところ、「大変満足」(19.0%)と「満足」(54.0%)の割合を合わせると7割台前半となっている。残りは「やや満足」(10.0%)、「どちらでもない」(13.0%)などとなっている。

(n=100)



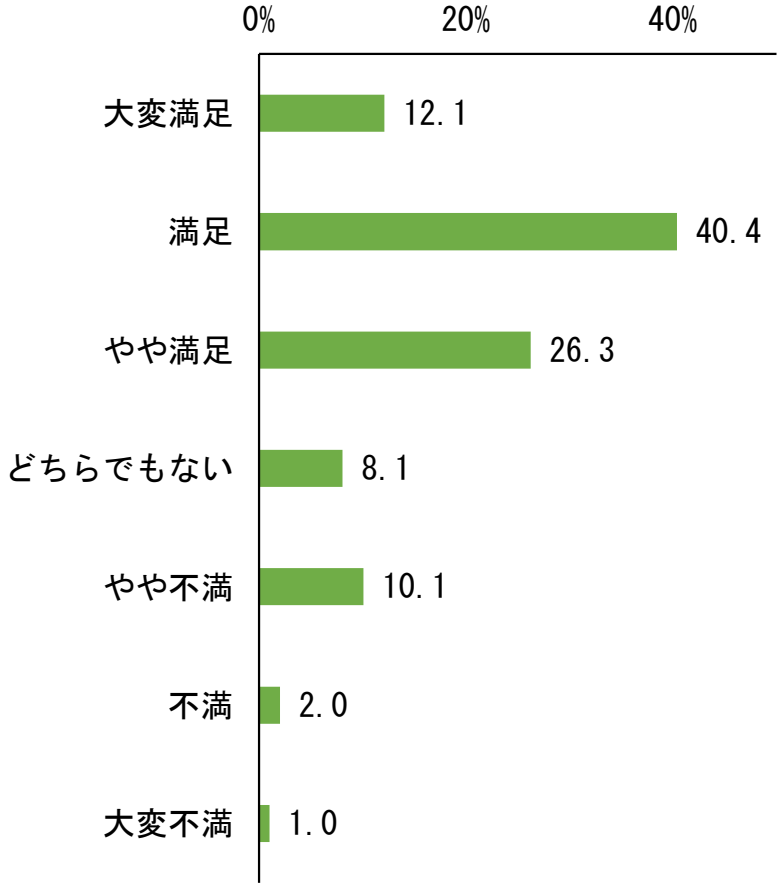
※無回答がある場合、無回答を除く

11. 本イベントに対する評価と再来訪意向

(1) 本イベントに対する評価

回答者全員に、本イベントに対する評価を尋ねたところ、「大変満足」(12.1%)と「満足」(40.4%)の割合を合わせると5割台前半となっているほか、「やや満足」(26.3%)が2割台半ばとなっている。残りは「どちらでもない」(8.1%)、「やや不満」(10.1%)、不満「2.0%」などとなっている。

(n=99)

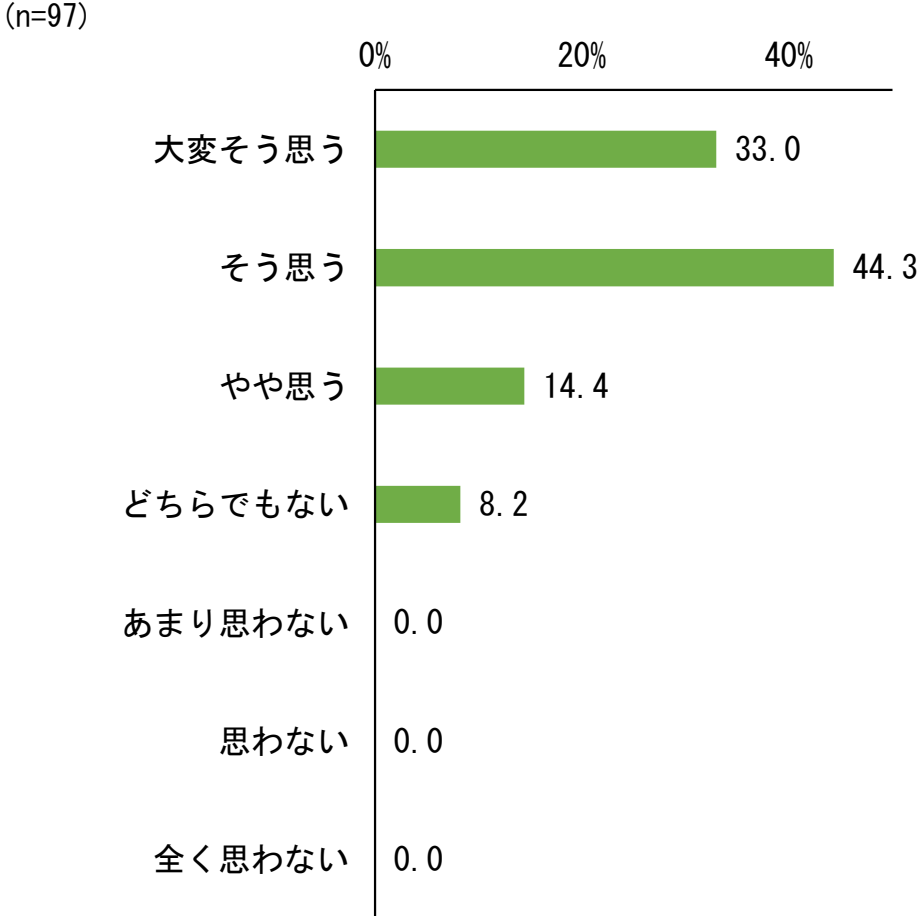


※無回答がある場合、無回答を除く

11. 本イベントに対する評価と再来訪意向

(2) 再来訪意向

本イベントへの再来訪意向を尋ねたところ、「大変そう思う」(33.0%)と「そう思う」(44.3%)を合わせると7割台後半を占めているほか、「やや思う」(14.4%)が1割台半ばを占めている。残りは「どちらでもない」(8.2%)となっている。



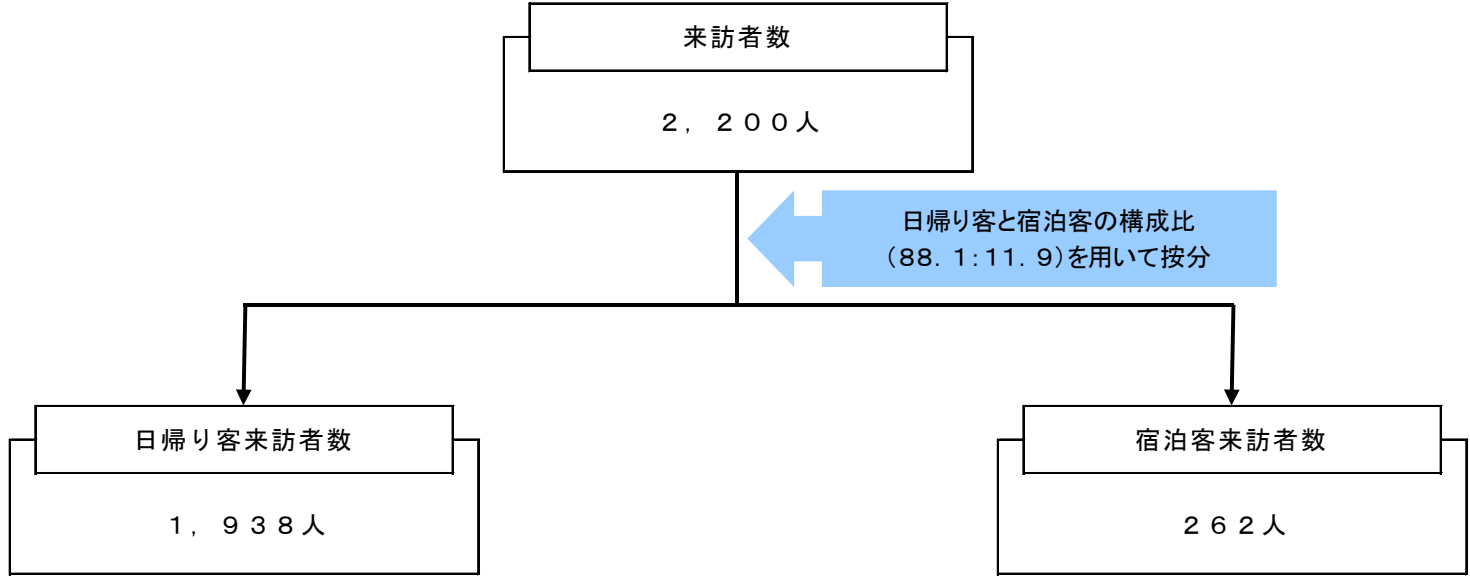
※無回答がある場合、無回答を除く

12. 経済波及効果の推計結果

(1) 消費支出額の推計

① 日帰り客と宿泊客の来訪者数の推計

本イベントの来訪者数は2,200人となっている。この来訪者数を群馬県観光局観光物産課「平成28年 観光客数・消費額調査(推計)結果」で公表されている群馬県内の観光入込客数の『日帰り客』と『宿泊客』の構成比(88.1:11.9)を用いて按分すると、『日帰り客』の来訪者数は1,938人、『宿泊客』の来訪者数は262人と推計される。



12. 経済波及効果の推計結果

② 来訪者 1 人あたりの消費支出額の推計（125頁の再掲）

来訪者 1 人あたりの消費支出には、交通費、宿泊費、土産代等が考えられる。来訪者へのアンケート調査の結果をもとに『日帰り客』『宿泊客』それぞれについて、費目ごとの 1 人あたりの消費支出額を推計する。

『日帰り客』『宿泊客』の費目ごとの消費支出額は以下の通りである。

	日帰り客 (n=17)	宿泊客 (n=20)	合計（参考） (n=37)
交通費	785	1,642	1,486
宿泊費	-	12,075	14,550
土産代	882	954	1,329
飲食費	1,208	1,713	1,867
入場料	2,376	825	1,935
その他	191	1,050	709
合計	5,444	18,258	21,877

※無回答を除く。合計（参考）の宿泊費は宿泊客の平均である。（再掲）

12. 経済波及効果の推計結果

③ 来訪者全体の消費支出額の推計

①で算定した『日帰り客』『宿泊客』それぞれの来訪者数に、②で算定した費目ごとの単価をそれぞれ乗じ、来訪者全体の費目ごとの消費支出額を推計する。『日帰り客』『宿泊客』それぞれの費目ごとの消費支出額は以下の通りで、来訪者全体の消費支出額は15,334千円と推計される。

(単位：千円)

	日帰り客 (1,938人)	宿泊客 (262人)
交通費	1,522	430
宿泊費	-	3,164
土産代	1,710	250
飲食費	2,342	449
入場料	4,606	216
その他	371	275
合計	10,550	4,784
消費支出額	15,334	

12. 経済波及効果の推計結果

(2) 推計モデルを使った経済波及効果の推計

(1)の③で算定された消費支出額を群馬県産業連関表の推計モデルに投入し、最終需要増加額と直接効果、1次・2次間接波及効果を推計し、経済波及効果を推計した。産業ごとの波及効果は以下の通りである。

なお、(1)の③で算定された消費支出額は15,334千円となるが、消費支出額から流通マージン(商業マージン及び国内貨物運賃)と、県外での交通費(交通費の1/2を県外で支出したとみなす)を控除した14,358千円が最終需要増加額となる。また、推計の計算手順は参考資料に掲載している。

(単位：千円)

部門分類	最終需要増加額	生産誘発額			
		直接効果	1次間接波及効果	2次間接波及効果	経済波及効果
農林水産業	353	90	92	19	201
鉱業	0	0	3	1	4
飲食料品	1,152	149	219	63	431
繊維製品	257	3	1	1	5
パルプ・紙・木製品	24	4	29	6	39
化学製品	14	1	9	5	16
石油・石炭製品	199	5	10	4	19
プラスチック・ゴム	0	0	21	6	27
窯業・土石製品	25	2	3	1	6
鉄鋼	0	0	1	1	2
非鉄金属	0	0	1	1	2
金属製品	0	0	10	3	13
はん用機械	0	0	2	0	2
生産用機械	0	0	2	1	2
業務用機械	0	0	2	1	3
電子部品	0	0	7	3	10
電気機械	8	1	2	5	8
情報・通信機器	8	0	0	0	0
輸送機械	0	0	12	39	51

部門分類	最終需要増加額	生産誘発額			
		直接効果	1次間接波及効果	2次間接波及効果	経済波及効果
その他の製造工業製品	196	39	34	14	88
建設	0	0	108	47	155
電力・ガス・熱供給	0	0	280	82	361
水道	0	0	113	27	140
廃棄物処理	0	0	106	8	115
商業	0	400	475	311	1,185
金融・保険	0	0	103	186	289
不動産	0	0	221	758	978
運輸・郵便	1,070	827	463	149	1,439
情報通信	5	2	157	98	257
公務	0	0	15	9	24
教育・研究	581	460	18	53	531
医療・福祉	103	103	5	144	252
その他の非営利団体サービス	87	86	45	38	169
対事業所サービス	69	42	497	130	668
対個人サービス	10,205	8,660	119	369	9,148
事務用品	0	0	28	4	32
分類不明	0	0	64	15	79
全産業合計	14,358	10,875	3,277	2,600	16,753

12. 経済波及効果の推計結果

(3) 経済波及効果の推計結果

推計の手順としては、はじめに消費支出額から直接効果の推計を行ない、その直接効果に基づいて産業連関表を利用した1次間接波及効果(直接効果によって生じた原材料の他産業への経済波及効果)と2次間接波及効果(直接効果と1次間接波及効果によって生じた雇用者所得が消費に向かうことによる経済波及効果)を算出した。

群馬県産業連関表を利用した推計の結果、本イベントの開催がもたらした群馬県内への経済波及効果は、1次間接波及効果3,277千円、2次間接波及効果が2,600千円となり、直接効果10,875千円と合わせた経済波及効果の総額は16,753千円と算定された。

ただし、経済波及効果の推計結果における注意点として、アンケート調査の回答者(特に宿泊客)のサンプル数が少ないため、来訪者全体の傾向を反映していない可能性があることに留意する必要がある。

	推計金額
①直接効果	10,875 千円
②1次間接波及効果	3,277 千円
③2次間接波及効果	2,600 千円
④経済波及効果 総額 (①+②+③)	16,753 千円
⑤生産誘発倍率 (④÷①)	1.54 倍

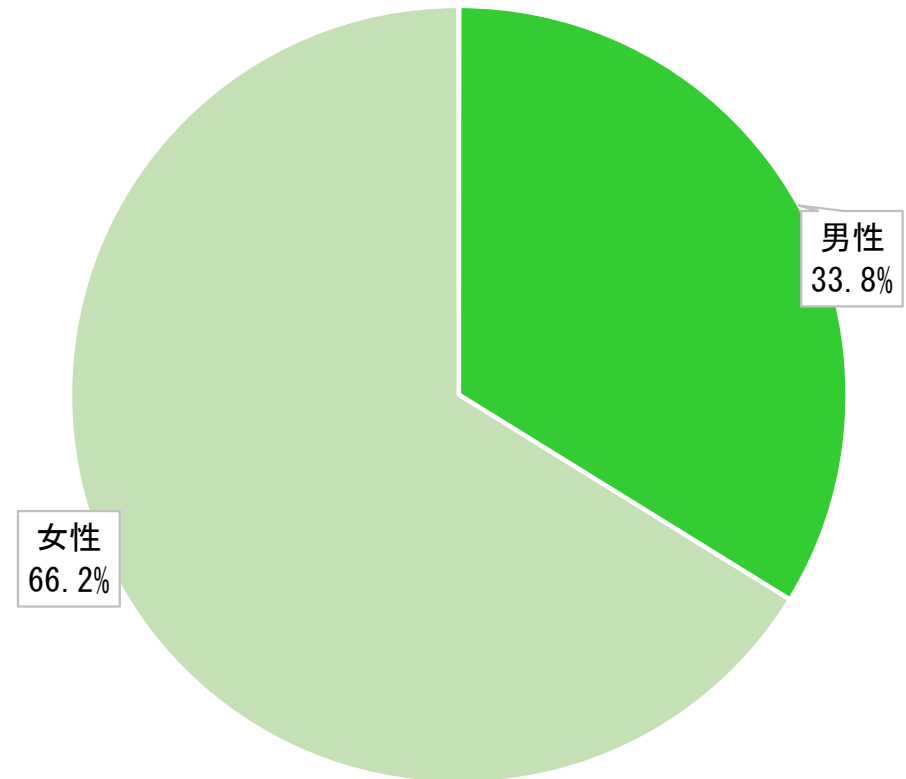
VIII. 藤原雪まつり

1. 回答者の属性

(1) 性別

回答者を性別で見ると、「男性」(33.8%)が3割台半ば、「女性」(66.2%)が6割台半ばとなっている。

(n=68)



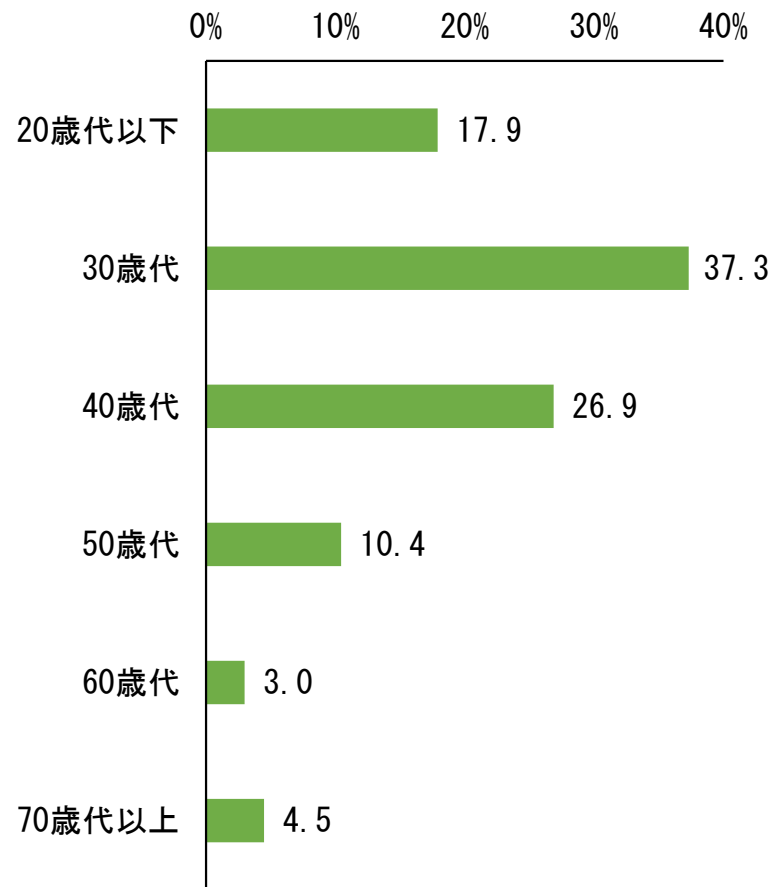
※無回答がある場合、無回答を除く

1. 回答者の属性

(2) 年代別

回答者を年代別で見ると、「30歳代」(37.3%)の割合が3割台後半で最も高く、以下「40歳代」(26.9%)、「20歳代以下」(17.9%)、「50歳代」(10.4%)などとなっている。

(n=67)



※無回答がある場合、無回答を除く

1. 回答者の属性

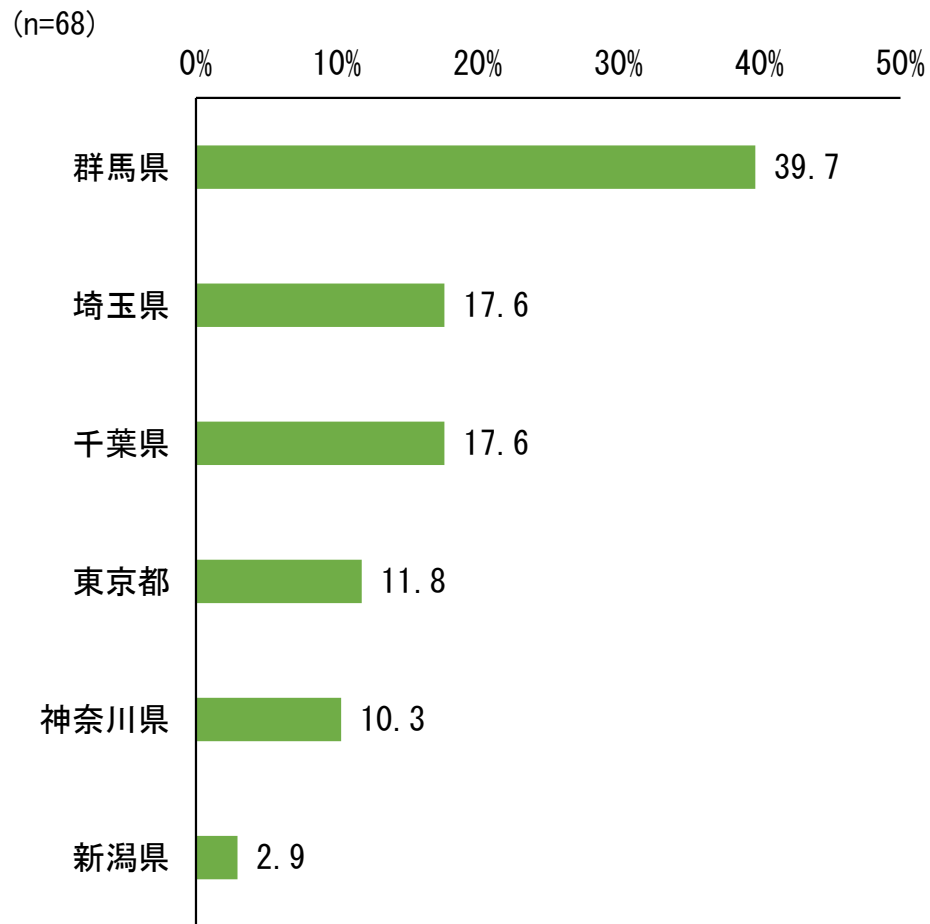
(3) 現住所

回答者を現住所別にみると、「群馬県」(39.7%)の割合が約4割で最も高く、以下「埼玉県」と「千葉県」(各17.6%)、「東京都」(11.8%)、「神奈川県」(10.3%)などとなっている。

また、市町村別の状況は以下のとおりとなっている。

都道府県	市町村	度数
群馬県	伊勢崎市	3
	太田市	1
	桐生市	2
	昭和村	1
	高崎市	5
	沼田市	1
	前橋市	2
	みどり市	2
	無回答	10
埼玉県	さいたま市	1
	所沢市	1
	吉川市	1
	無回答	9

都道府県	市町村	度数
千葉県	千葉市	1
	無回答	11
東京都	八王子市	1
	無回答	7
神奈川県	座間市	2
	川崎市	1
	無回答	4
新潟県	無回答	2

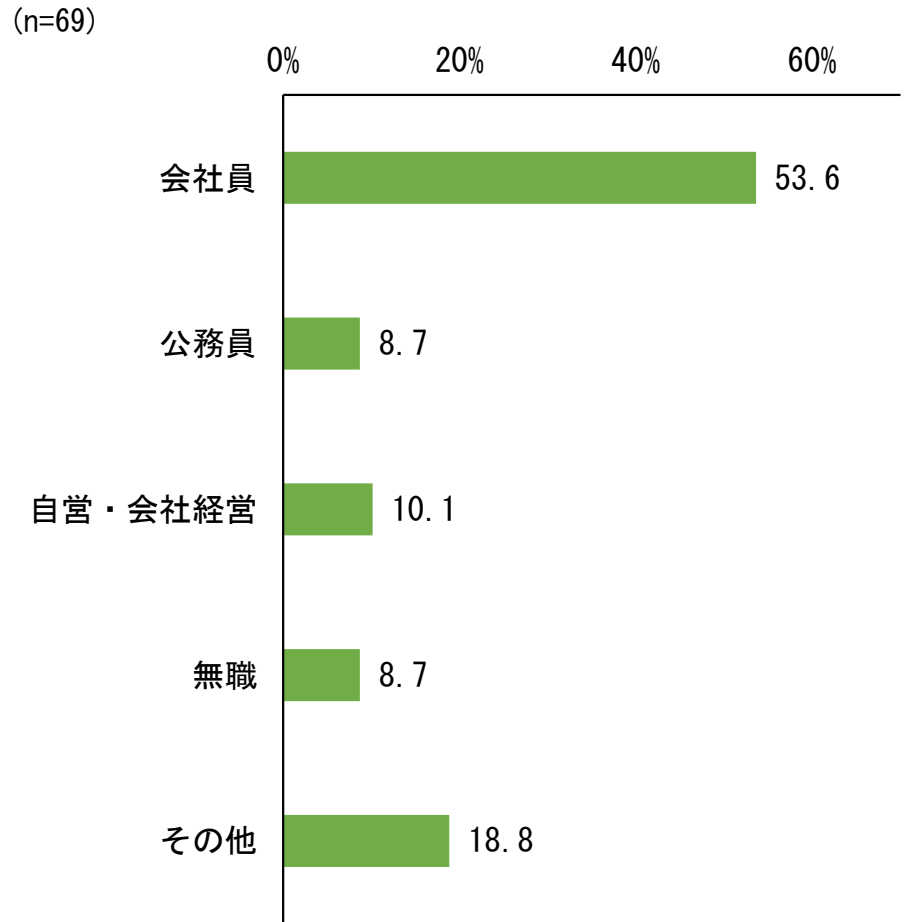


※無回答がある場合、無回答を除く

1. 回答者の属性

(4) 職業

回答者を職業別にみると、「会社員」(53.6%)の割合が5割台半ばで最も高く、以下「その他」(18.8%)、「自営・会社経営」(10.1%)、「公務員」と「無職」(各8.7%)となっている。

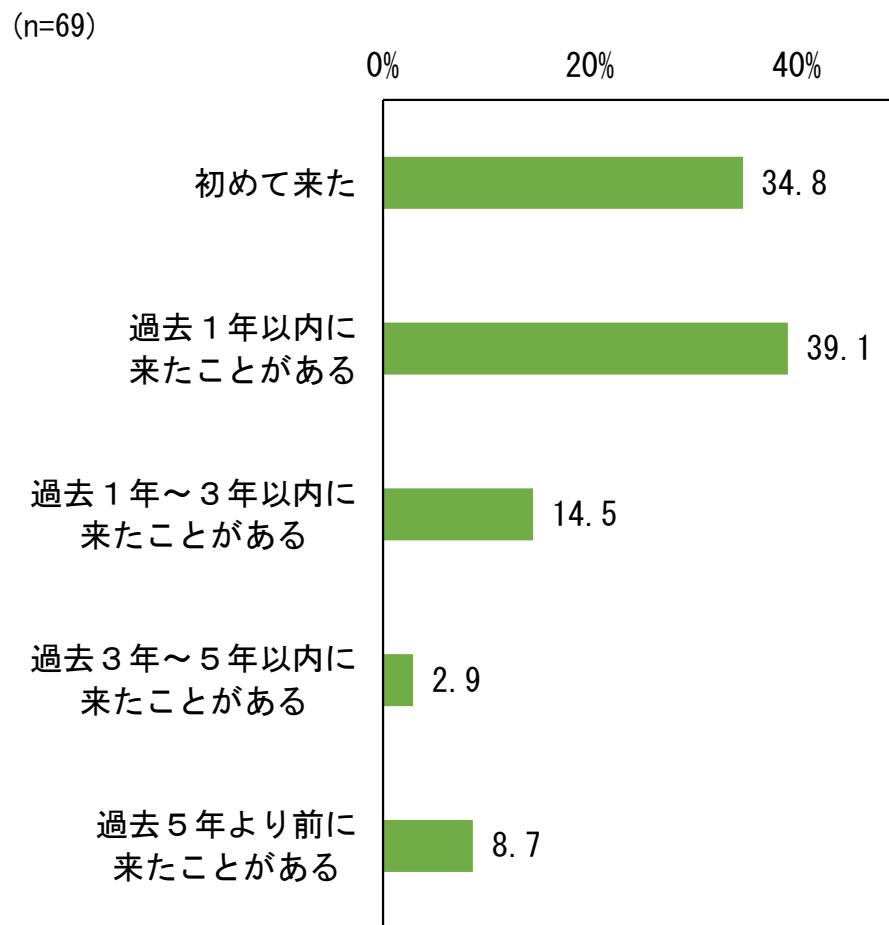


※無回答がある場合、無回答を除く

2. みなかみ町への来訪経験

これまでの“みなかみ町”への来訪経験を尋ねたところ、「初めて来た」（34.8%）とする割合が3割台半ばとなっている。

一方、「過去1年以内に来たことがある」（39.1%）の割合が約4割となっており、以下「過去1年～3年以内に来たことがある」（14.5%）、「過去5年より前に来たことがある」（8.7%）などとなっている。



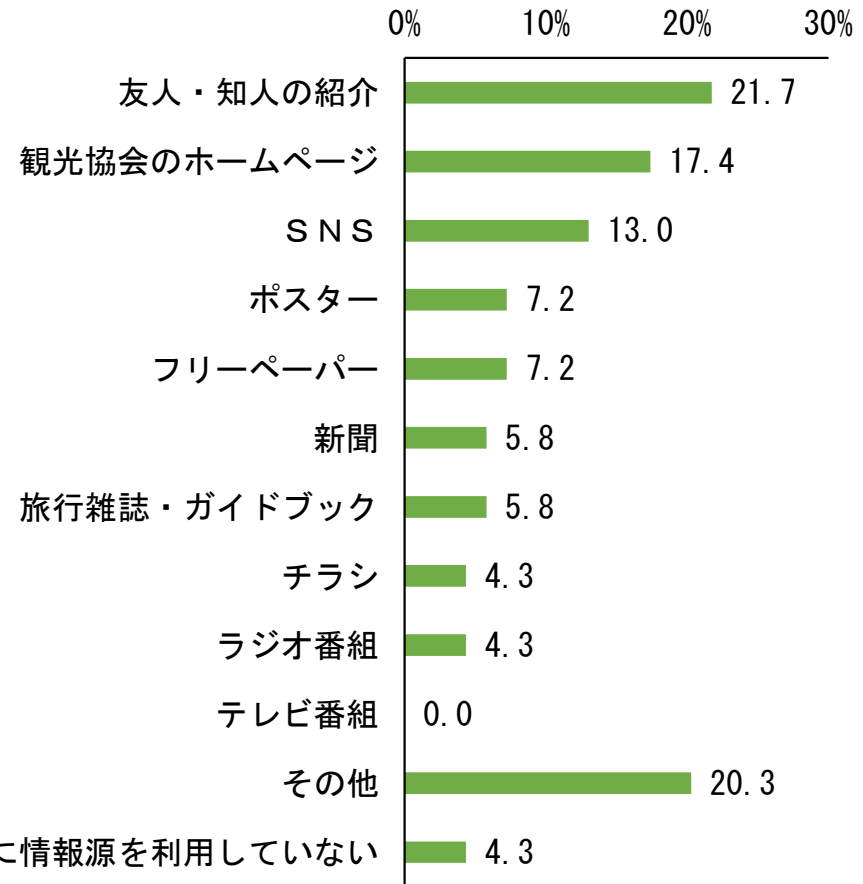
※無回答がある場合、無回答を除く

3. 本イベントの情報源

本イベントの開催を知るきっかけとなった情報源を尋ねたところ（複数回答）、「友人・知人の紹介」（21.7%）の割合が最も高くなっている。以下「その他」（20.3%）、「観光協会のホームページ」（17.4%）、「SNS」（13.0%）、「ポスター」と「フリーペーパー」（各7.2%）などとなっている。

「その他」では「スキー場のポスター」や「旅行サイト」「JAFクーポン」などの回答がみられる。

(n=69)

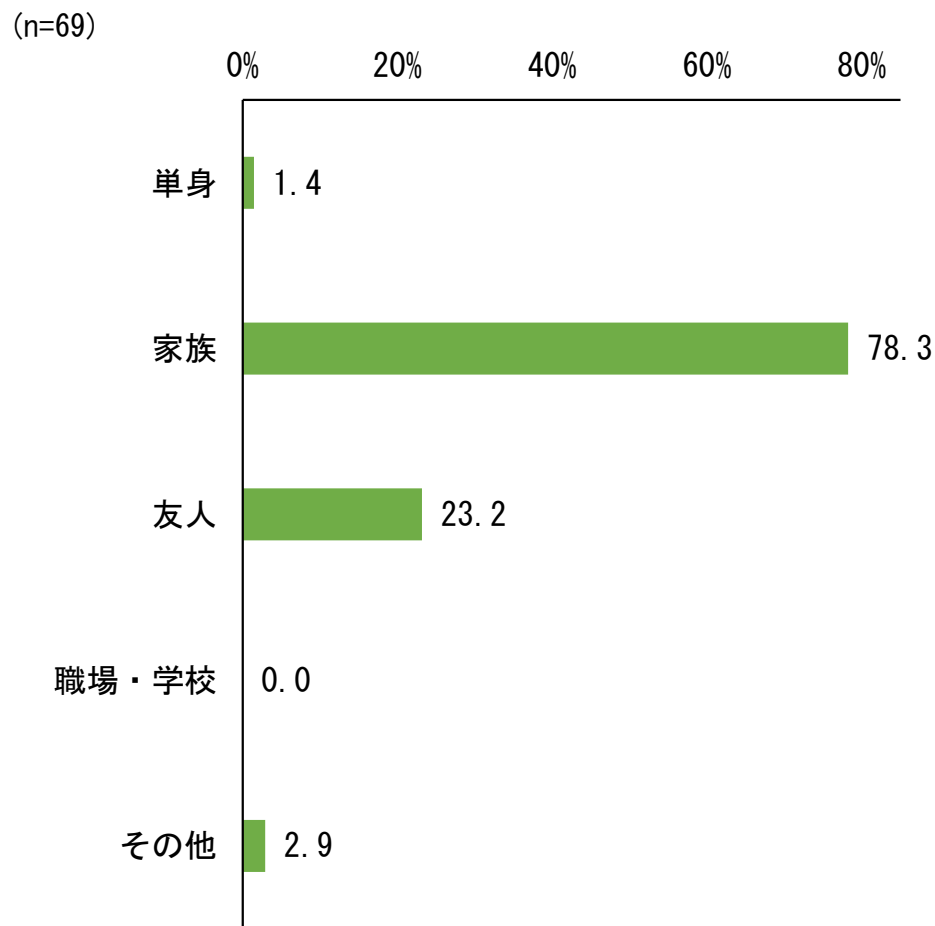


※無回答がある場合、無回答を除く

4. 本イベントへの同行者

(1) 同行者の属性

本イベントへの同行者の属性を尋ねたところ（複数回答）、「家族」（78.3%）の割合が最も高く、以下「友人」（23.2%）、「その他」（2.9%）、「単身」（1.4%）となっている。

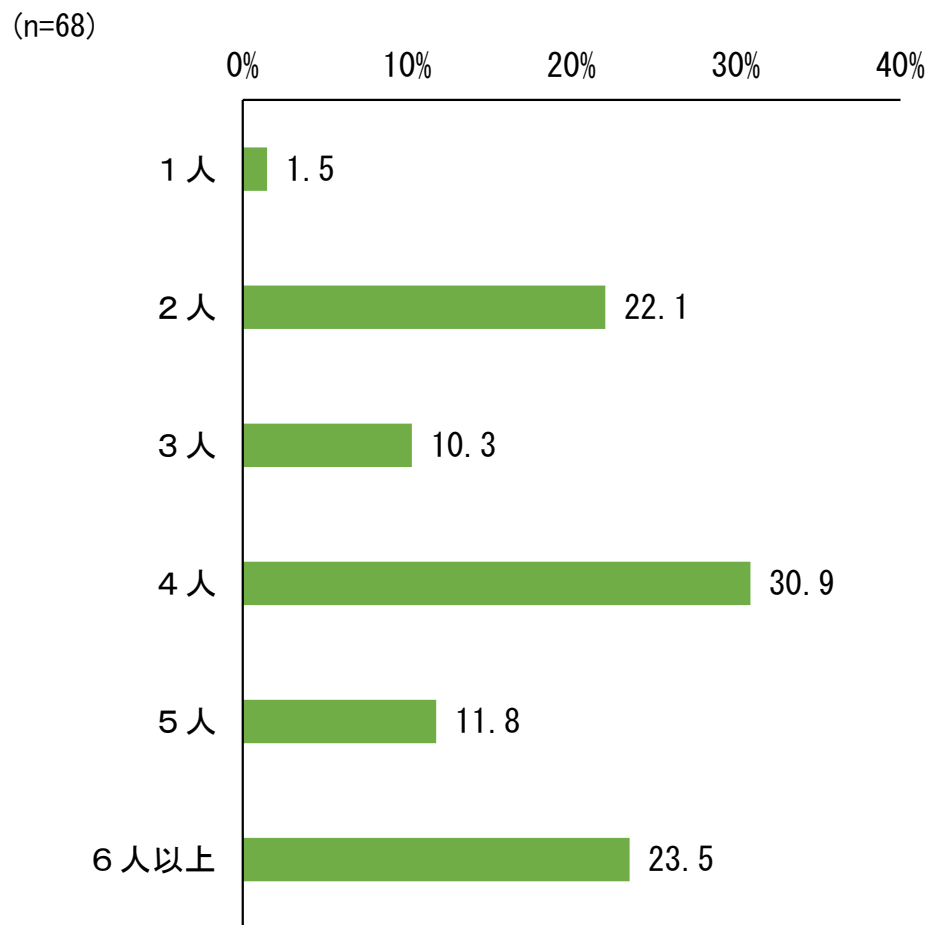


※無回答がある場合、無回答を除く

4. 本イベントへの同行者

(2) 同行者の人数

本イベントへの同行者の人数（回答者を含む）を尋ねたところ、「4人」（30.9%）の割合が約3割で最も高く、以下「6人以上」（23.5%）、「2人」（22.1%）などとなっている。



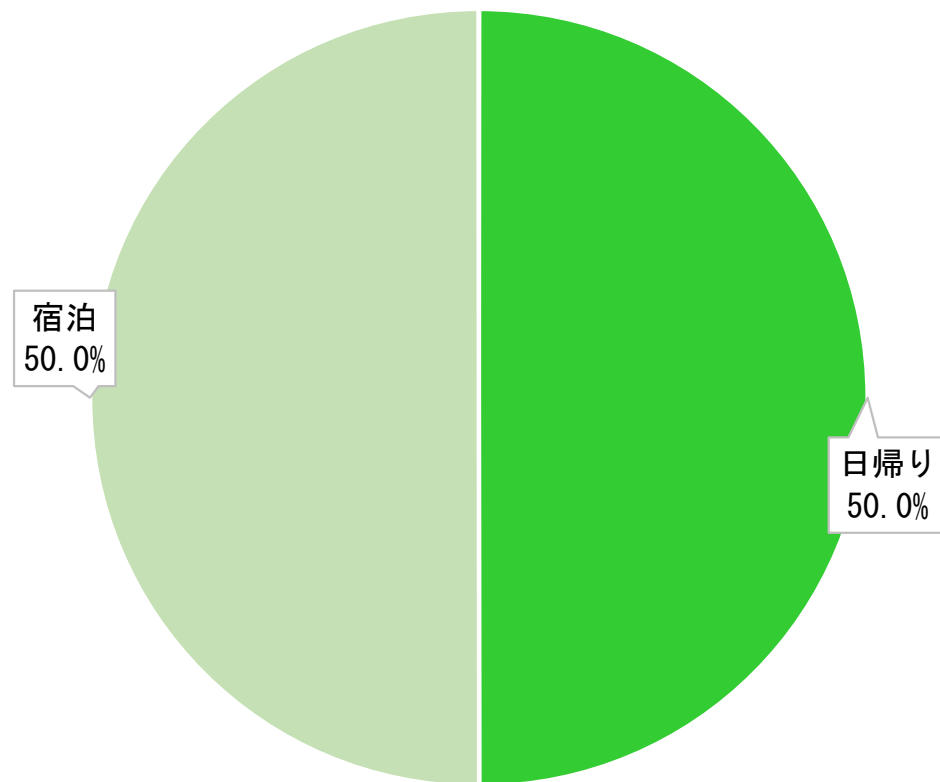
※無回答がある場合、無回答を除く

5. 日帰り・宿泊の状況

(1) 日帰り・宿泊の別

日帰り・宿泊の別を尋ねたところ、「日帰り」(50.0%)と「宿泊」(50.0%)の割合は、それぞれ5割となっている。

(n=70)



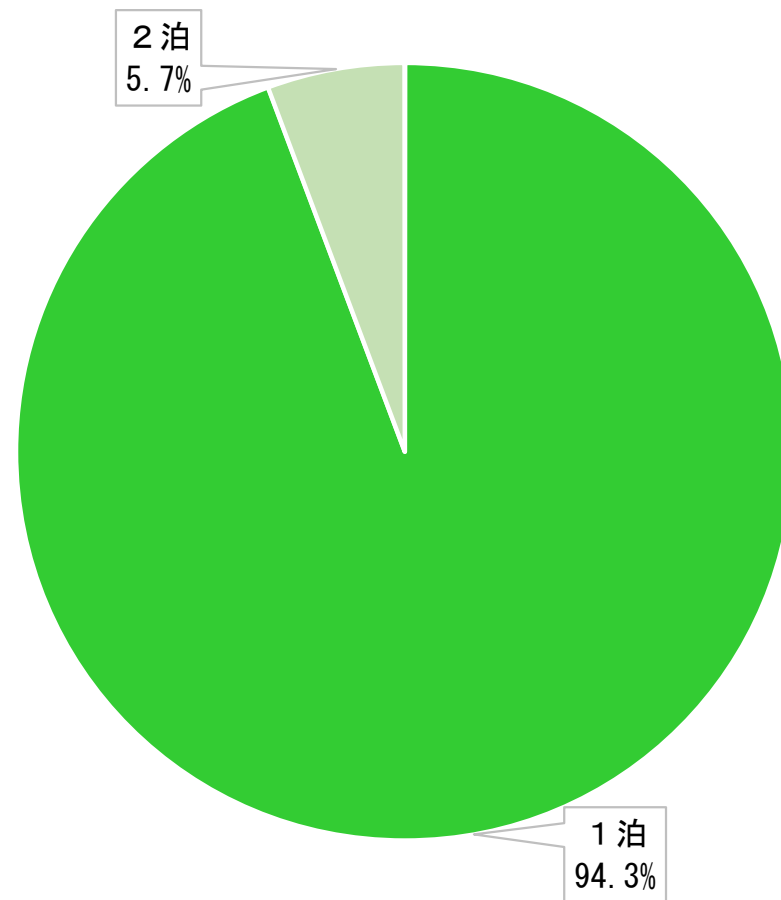
※無回答がある場合、無回答を除く

5. 日帰り・宿泊の状況

(2) 宿泊数

(1) で『宿泊』と回答した人に対し、宿泊数を尋ねたところ、「1泊」(94.3%)の割合が9割台半ば、「2泊」が5.7%となっている。

(n=35)



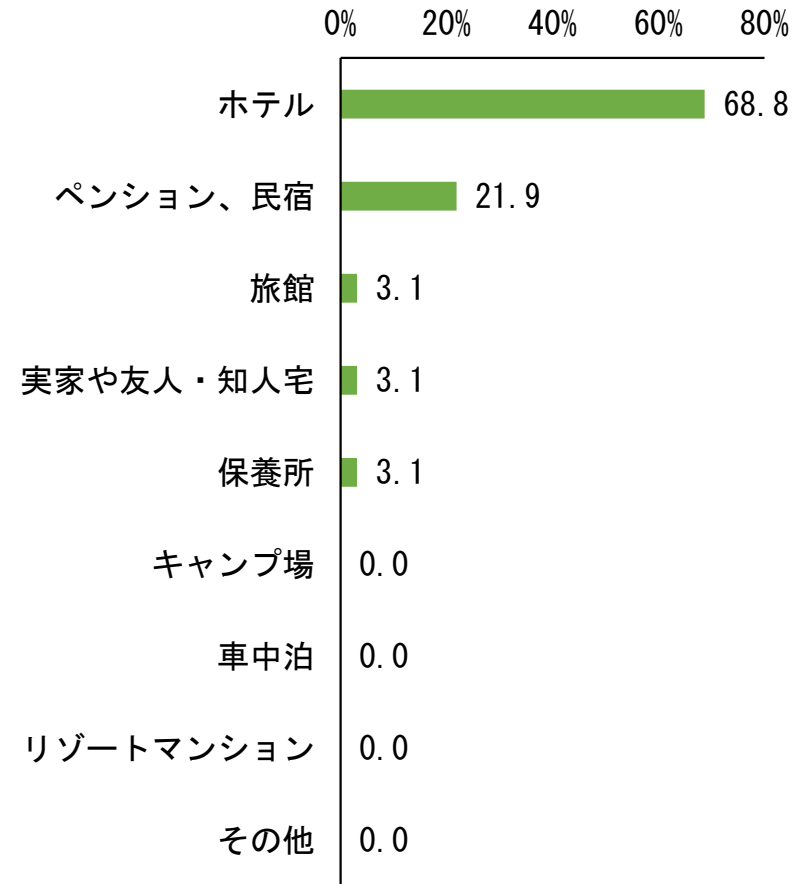
※無回答がある場合、無回答を除く

5. 日帰り・宿泊の状況

(3) 宿泊した施設

(1) で『宿泊』と回答した人に対し、宿泊した施設を尋ねたところ（複数回答）、「ホテル」（68.8%）の割合が最も高く、以下「ペンション、民宿」（21.9%）、「旅館」と「実家や友人・知人宅」と「保養所」（各3.1%）となっている。

(n=32)



※無回答がある場合、無回答を除く

6. 本イベント来訪に要した費用

本イベントに要した旅行費用を尋ねたところ、1人あたりの平均額で『日帰り客』が2,209円、『宿泊客』が14,374円、『日帰り客』と『宿泊客』を合わせた合計（参考）が3,881円となっている。

	日帰り客 (n=29)	宿泊客 (n=28)	合計（参考） (n=57)
交通費	671	1,585	1,120
宿泊費	-	8,760	-
土産代	288	1,317	794
飲食費	572	1,890	1,220
入場料	333	737	531
その他	345	86	218
合計	2,209	14,374	3,881

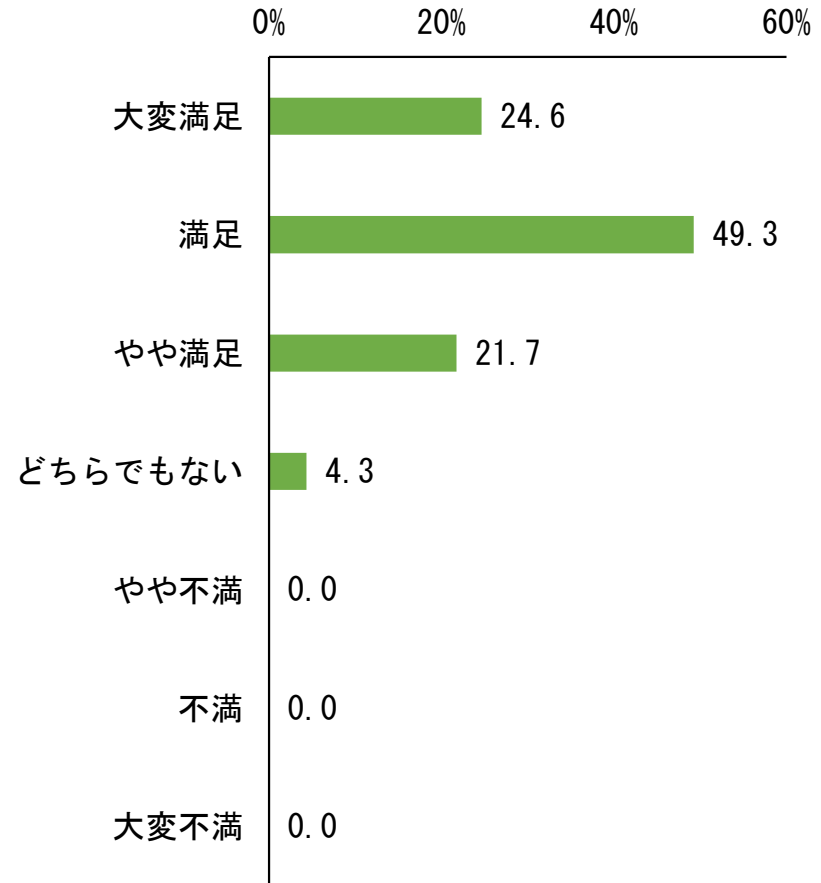
※無回答を除く。合計（参考）の宿泊費は宿泊客の平均である

7. 本イベントに対する評価と再来訪意向

(1) 本イベントに対する評価

本イベントに対する評価を尋ねたところ、「大変満足」(24.6%)と「満足」(49.3%)の割合を合わせると7割台半ばとなっている。残りは「やや満足」(21.7%)、「どちらでもない」(4.3%)となっている。

(n=69)

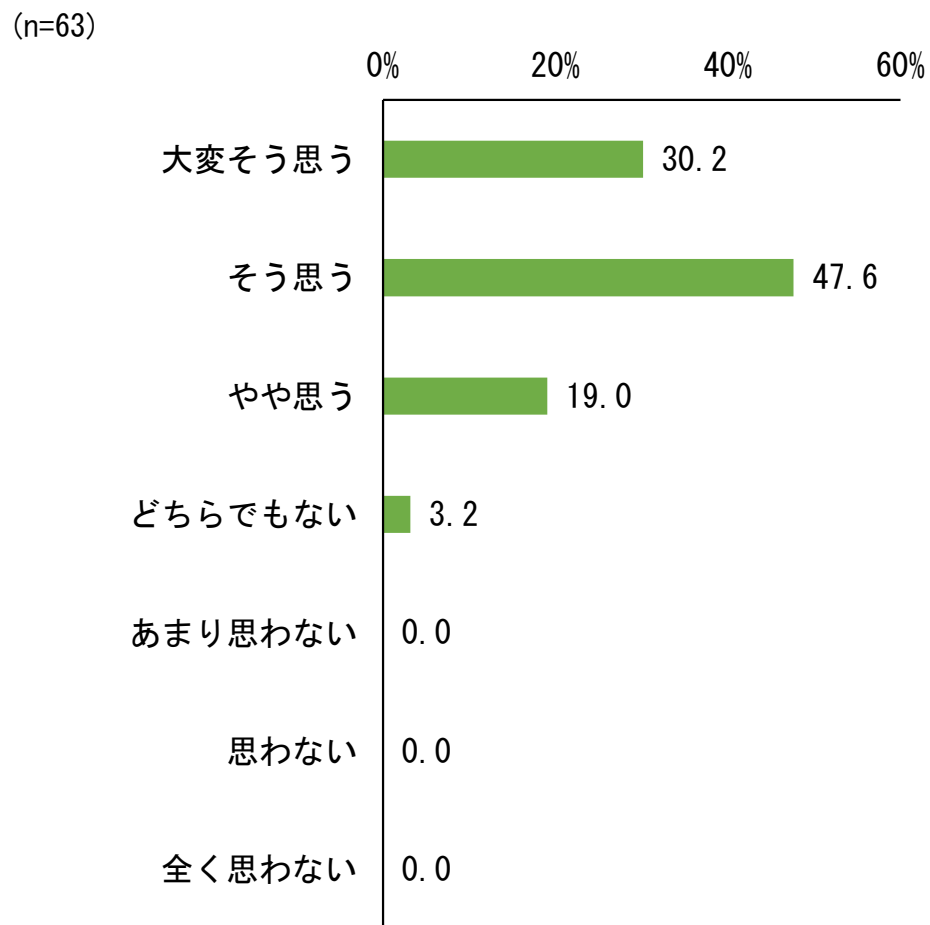


※無回答がある場合、無回答を除く

7. 本イベントに対する評価と再来訪意向

(2) 再来訪意向

本イベントへの再来訪意向を尋ねたところ、「大変そう思う」(30.2%)と「そう思う」(47.6%)の割合を合わせると約8割となっている。残りは「やや思う」(19.0%)、「どちらでもない」(3.2%)となっている。



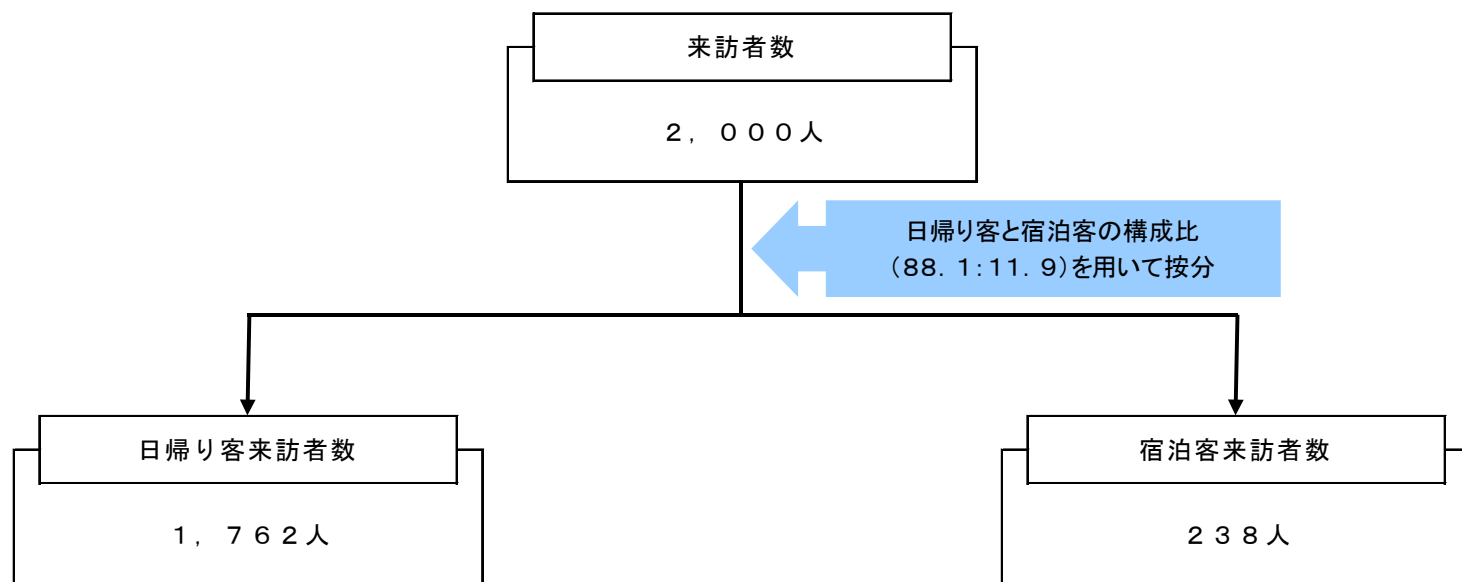
※無回答がある場合、無回答を除く

8. 経済波及効果の推計結果

(1) 消費支出額の推計

① 日帰り客と宿泊客の来訪者数の推計

本イベントの来訪者数は2,000人となっている。この来訪者数を群馬県観光局観光物産課「平成28年 観光客数・消費額調査（推計）結果」で公表されている群馬県内の観光入込客数の『日帰り客』と『宿泊客』の構成比（88.1：11.9）を用いて按分すると、『日帰り客』の来訪者数は1,762人、『宿泊客』の来訪者数は238人と推計される。



8. 経済波及効果の推計結果

②来訪者 1 人あたりの消費支出額の推計（150頁の再掲）

来訪者 1 人あたりの消費支出には、交通費、宿泊費、土産代等が考えられる。来訪者へのアンケート調査の結果をもとに『日帰り客』『宿泊客』それぞれについて、費目ごとの 1 人あたりの消費支出額を推計する。

『日帰り客』『宿泊客』の費目ごとの消費支出額は以下の通りである。

	日帰り客 (n=29)	宿泊客 (n=28)	合計（参考） (n=57)
交通費	671	1,585	1,120
宿泊費	-	8,760	-
土産代	288	1,317	794
飲食費	572	1,890	1,220
入場料	333	737	531
その他	345	86	218
合計	2,209	14,374	3,881

※無回答を除く。合計（参考）の宿泊費は宿泊客の平均である。（再掲）

8. 経済波及効果の推計結果

③ 来訪者全体の消費支出額の推計

①で算定した『日帰り客』『宿泊客』それぞれの来訪者数に、②で算定した費目ごとの単価をそれぞれ乗じ、来訪者全体の費目ごとの消費支出額を推計する。『日帰り客』『宿泊客』それぞれの費目ごとの消費支出額は以下の通りで、来訪者全体の消費支出額は7,313千円と推計される。

(単位：千円)

	日帰り客 (1,762人)	宿泊客 (238人)
交通費	1,182	377
宿泊費	-	2,085
土産代	507	314
飲食費	1,009	450
入場料	586	175
その他	608	20
合計	3,892	3,421
消費支出額	7,313	

8. 経済波及効果の推計結果

(2) 推計モデルを使った経済波及効果の推計

(1)の③で算定された消費支出額を群馬県産業連関表の推計モデルに投入し、最終需要増加額と直接効果、1次・2次間接波及効果を推計し、経済波及効果を推計した。産業ごとの波及効果は以下の通りである。

なお、(1)の③で算定された消費支出額は7,313千円となるが、消費支出額から流通マージン(商業マージン及び国内貨物運賃)と、県外での交通費(交通費の1/2を県外で支出したとみなす)を控除した6,533千円が最終需要増加額となる。また、推計の計算手順は参考資料に掲載している。

(単位：千円)

部門分類	最終需要増加額	生産誘発額			
		直接効果	1次間接波及効果	2次間接波及効果	経済波及効果
農林水産業	121	31	41	8	80
鉱業	0	0	1	0	2
飲食品	495	64	98	28	190
繊維製品	99	1	0	0	2
パルプ・紙・木製品	10	2	13	2	17
化学製品	7	1	5	2	7
石油・石炭製品	157	4	5	2	11
プラスチック・ゴム	0	0	9	3	12
窯業・土石製品	12	1	1	0	3
鉄鋼	0	0	1	0	1
非鉄金属	0	0	1	0	1
金属製品	0	0	5	1	6
はん用機械	0	0	1	0	1
生産用機械	0	0	1	0	1
業務用機械	0	0	1	0	2
電子部品	0	0	3	1	5
電気機械	4	1	1	2	4
情報・通信機器	5	0	0	0	0
輸送機械	0	0	6	17	24

部門分類	最終需要増加額	生産誘発額			
		直接効果	1次間接波及効果	2次間接波及効果	経済波及効果
その他の製造工業製品	79	16	15	6	37
建設	0	0	49	21	70
電力・ガス・熱供給	0	0	125	36	161
水道	0	0	51	12	63
廃棄物処理	0	0	48	4	51
商業	0	171	216	138	525
金融・保険	0	0	49	83	131
不動産	0	0	102	337	438
運輸・郵便	690	522	213	66	801
情報通信	4	2	70	44	115
公務	0	0	6	4	10
教育・研究	100	79	8	23	110
医療・福祉	77	77	4	64	144
その他の非営利団体サービス	16	16	20	17	53
対事業所サービス	71	43	236	58	337
対個人サービス	4,587	3,892	54	164	4,110
事務用品	0	0	12	2	14
分類不明	0	0	28	7	35
全産業合計	6,533	4,922	1,498	1,155	7,575

8. 経済波及効果の推計結果

(3) 経済波及効果の推計結果

推計の手順としては、はじめに消費支出額から直接効果の推計を行ない、その直接効果に基づいて産業連関表を利用した1次間接波及効果(直接効果によって生じた原材料の他産業への経済波及効果)と2次間接波及効果(直接効果と1次間接波及効果によって生じた雇用者所得が消費に向かうことによる経済波及効果)を算出した。

群馬県産業連関表を利用した推計の結果、本イベントの開催がもたらした群馬県内への経済波及効果は、1次間接波及効果1,498千円、2次間接波及効果が1,155千円となり、直接効果4,922千円と合わせた経済波及効果の総額は7,575千円と算定された。

	推計金額
①直接効果	4,922 千円
②1次間接波及効果	1,498 千円
③2次間接波及効果	1,155 千円
④経済波及効果 総額 (①+②+③)	7,575 千円
⑤生産誘発倍率 (④÷①)	1.54 倍

IX. II～VIIIのイベントの主な指標一覧

● II～IIIのイベントの主な指標一覧

イベント名	来訪者数	アンケート サンプル数	満足度（大変 満足+満足）	日帰り客 1人あたり 消費額	宿泊客 1人あたり 消費額	経済波及 効果総額
天空のナイトクルージング〔5月〕	2,000人	36人	68.8%	4,174円	27,900円	14,829千円
アウトドアフェスティバル	4,000人	7人	100.0%	3,888円	33,333円	28,801千円
ホテル鑑賞の夕べ	4,000人	8人	87.5%	3,833円	1,750円	12,370千円
谷川岳山の日イベント	2,000人	105人	86.6%	4,916円	28,003円	12,735千円
赤谷湖花火大会	12,000人	34人	76.5%	1,205円	10,125円	29,809千円
天空のナイトクルージング〔10月〕	2,200人	100人	52.5%	5,444円	18,258円	16,753千円
藤原雪まつり	2,000人	70人	73.9%	2,209円	14,374円	7,575千円
【参考】2017年度 天空のナイトクルージング〔5月〕	300人	95人	74.1%	5,333円	21,089円	2,166千円
【参考】2017年度 月夜野ホテルの夕べ	8,000人	26人	95.8%	2,493円	4,525円	17,888千円
【参考】2017年度 谷川岳ウィーク	2,160人	98人	64.1%	4,745円	23,992円	11,175千円
【参考】2017年度 赤谷湖上花火大会	14,500人	45人	93.3%	2,646円	11,971円	54,241千円
【参考】2017年度 アウトドアフェスティバル	2,000人	12人	50.0%	2,278円	15,250円	7,827千円
【参考】2017年度 天空のナイトクルージング〔秋〕	2,590人	229人	54.2%	5,149円	21,290円	18,426千円
【参考】2017年度 藤原雪まつり	1,000人	70人	95.7%	3,719円	15,904円	5,444千円

みなかみ町観光協会様

**『町内イベントにおけるアンケート調査
並びに経済波及効果推計結果』**

報 告 書

平成31年3月